

南城市体育施設等再編基本計画



令和3年3月
南城市教育委員会

目次

序章 計画策定の趣旨

- 1. 計画の背景と目的..... 1
- 2. 計画の枠組み..... 2

第1章 現在の利用状況

- 1. 体育施設利用状況..... 5
- 2. 市民意向調査..... 20
- 3. 公園・緑地再整備計画市民アンケート調査..... 24
- 4. 体育施設利用者ヒアリング調査..... 30
- 5. 体育施設利用者アンケート調査..... 31
- 6. 小中学校体育館利用状況..... 39

第2章 将来利用需要の検討

- 1. スポーツ人口及びスポーツ参加者数..... 43
- 2. 各施設の周辺人口..... 45
- 3. 隣接の体育施設状況及びアクセス条件..... 47

第3章 課題の整理と再編の基本方針

- 1. 課題の整理..... 51
- 2. 再編のための基本方針..... 54

第4章 再編の方向と段階的な実施

- 1. 再編の方向..... 55
- 2. 機能の整理..... 62
- 3. 段階的な再編の実施..... 64

第5章 今後の進め方について

- 1. 今後の進め方について..... 67

資料編

- 1. 計画策定の体制と経過..... 69
- 2. 南城市体育施設等再編基本計画諮問書・答申書..... 71

序章 計画策定の趣旨

1. 計画の背景と目的

(1) 背景

本市は旧町村時代に各町村で公共施設等の整備を進めてきた経緯があり、平成の合併後、それらの中には機能が重複した状態で残った施設や、老朽化が進行している施設もあります。そのため、各施設の維持管理や利用者の安全を確保するための修繕、老朽化に伴う建て替え等に要する巨額の費用の確保が課題となっています。

このような状況下において、平成 28 年度に公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針等を定めることを目的として、「公共施設等総合管理計画」を策定しました。さらに、平成 29 年度には総合管理計画の基本方針に基づく施設類型ごとの今後の取り組みや方向性を定めた「南城市公共施設適正配置計画」を策定しました。

一方、体育施設に関連する調査として、「南城市スポーツ推進計画」と市内の公園・緑地の再整備の検討が進められていることから、体育施設等の適正な配置、スポーツの推進、公園緑地の再整備という視点で総合的に検討する必要があります。

これらのことから、本市の体育施設等の機能の整理を行い、各施設の方向性を示すための「南城市体育施設等再編基本計画」を策定します。

(2) 目的

本計画は、施設の利用率を高めるとともに利用者の総合的な満足度の向上を図るため、計画の背景を踏まえて市内体育施設の機能整理を行い、現在の配置を基本として、各機能の全部もしくは一部を変更する等の各体育施設の方向性を提示することを目的とします。

(3) 対象施設

対象施設は「南城市公共施設適正配置計画（平成 30 年 3 月：南城市）」によるスポーツ・レクリエーション施設（52 ページ）とします。しかし、一部の施設は一連の施設であるものや既に閉鎖されている施設、区管理の施設を除外した下記の施設とし、南城市体育施設条例に基づく正式名称で表記します。

- | | | |
|-------------|------------------|-------------|
| ・南城市陸上競技場 | ・南城市玉城野球場 | ・南城市玉城庭球場 |
| ・南城市玉城総合体育館 | ・大里内原公園 | ・南城市営新開球場 |
| ・富祖崎公園 | ・南城市さしきスポ・レクセンター | ・南城市知念屋外運動場 |
| ・南城市知念屋外庭球場 | ・南城市志喜屋漁港多目的広場 | ・南城市知念体育館 |

※本計画書内では、各施設名は関連する計画やアンケート票等により異なった表現の部分もあります。

2. 計画の枠組み

(1) 調査方法

利用者需要を基本としたマーケティング的な視点で、現状の需要をもとに将来的な需要を予測するため、次の各項目を分析します。

①現状の需要

- ・ 施設の稼働率（登録団体及び個人の予約、個人利用のチケット販売数）
- ・ 登録団体及び個人のアンケート調査
- ・ 市民アンケート調査（スポーツ推進計画及び公園・緑地再整備計画時のアンケート）
- ・ 利用者ヒアリング調査（スポーツ推進計画時のヒアリング）

②将来の需要予測

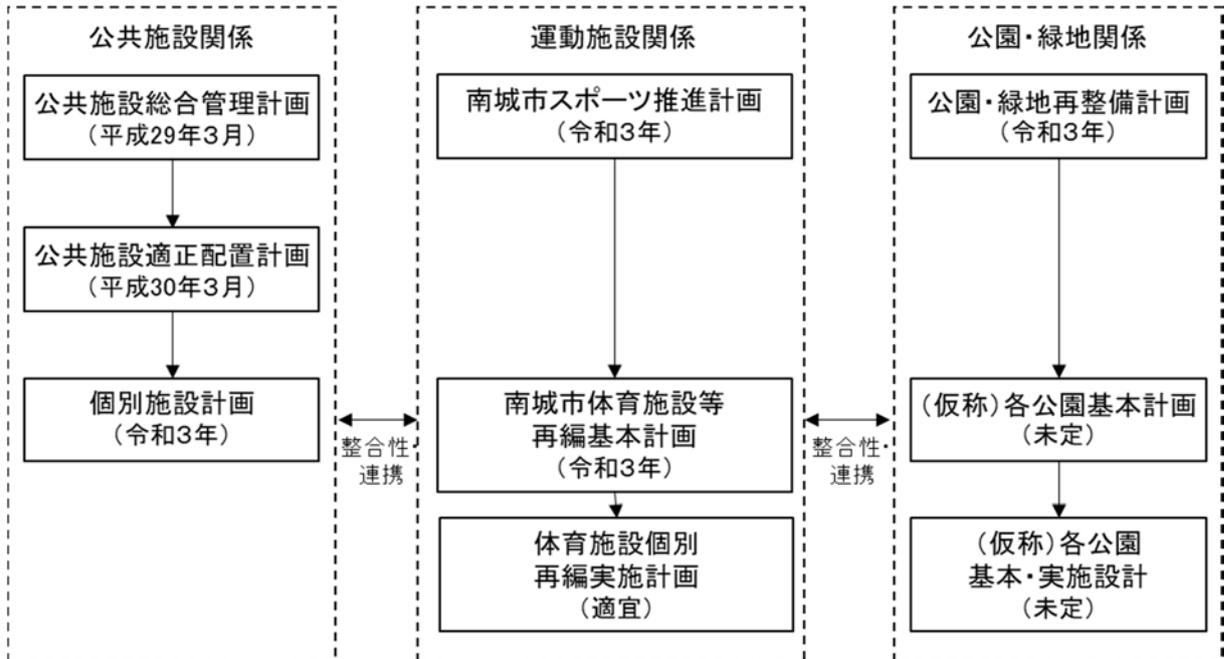
- ・ 施設周辺の現状及び将来人口規模や人口構成
- ・ 種目別スポーツ人口（全国及び南城市小中学校生の部活動等種目別人数）
- ・ 隣接する町の類似施設による影響
- ・ 南部東道路整備によるアクセス性向上の影響

(2) 調査・検討作業の条件

- ①本調査・検討の結果は、前述の目的で述べたように方向性を示すことであり、それぞれの具体的な対応については他の関連する計画や調査結果に委ねることとします。
- ②目標期間は「南城市スポーツ推進計画」と同様のおおむね10年間とします。
- ③施設の新たな整備が発生する総合的な統廃合については検討の対象外とします。その理由は、総合的な統廃合には過大な整備費がかかり、この要素を入れた場合には検討作業がより複雑になるため、時間をかけてより慎重に検討しなければならないためです。
- ④施設の機能変更もしくは一部の追加整備などで整備費の投入が必要になる場合があります。その点については利用率の向上や満足度などの効果を含めて総合的に比較し検討するべきであり、整備費や維持管理費に係る費用の一部をPPP（public private partnership：官民パートナーシップ、官民連携）等の民間事業者による整備や運営を行う事業手法も考えられることから、本検討作業ではその可能性を考慮した機能の見直しを行います。
- ⑤各体育施設には公園区域内のものとそれ以外のものがあり、それによって目的が多少異なります。公園内の体育施設の機能の見直しについては公園としての機能を考慮した検討を行います。
- ⑥各体育施設やその付帯施設の老朽化等は検討の対象項目とはしません。
- ⑦各体育施設の民間団体等への運営協力などの稼働率向上策については、あくまで稼働率向上のための可能性のある方法の1つとして扱います。

(3) 各関連計画との関連性

本計画と他の関連計画及び調査の関連について次のように位置づけします。



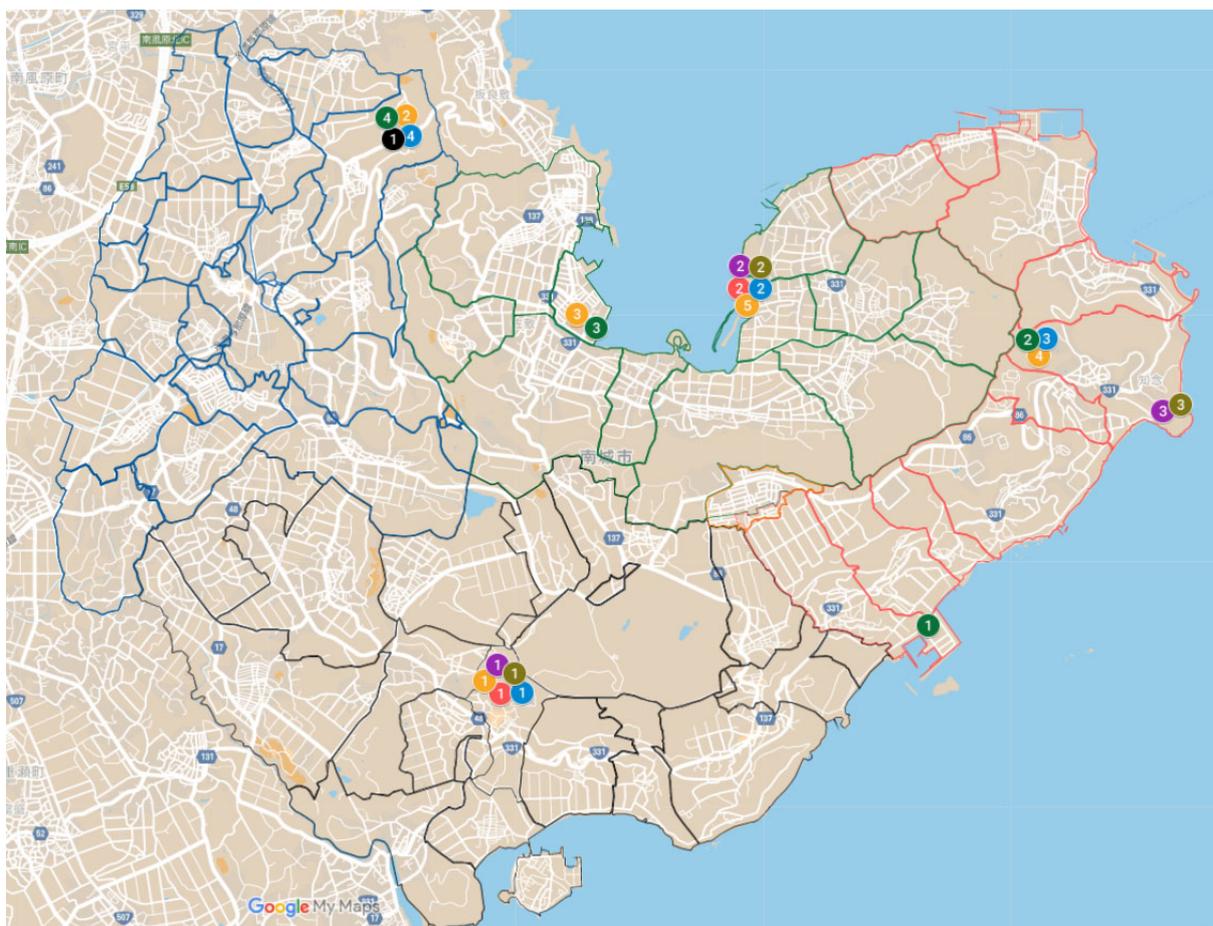


第1章 現在の利用状況

1. 体育施設利用状況

(1) 市内体育施設の配置

市内体育施設は以下の通りです。多様な体育施設が点在している一方、旧町村当時に整備された施設が多く、市内で類似した機能を持つ施設が多い現状にあります。



陸上競技場	トレーニング室
① 南城市陸上競技場	① 南城市玉城総合体育館 トレーニング室
② 富祖崎公園 陸上競技場	② 南城市さしきスポ・レクセンター トレーニング室
野球場	③ 南城市知念体育館 トレーニング室
① 南城市玉城野球場	多目的運動広場
② 大里内原公園 多目的広場※	① 南城市志喜屋漁港多目的広場
③ 南城市営新開球場 野球場	② 南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド
④ 南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド※	③ 南城市営新開球場 多目的広場
⑤ 富祖崎公園 野球場	④ 大里内原公園 多目的広場
テニス	体育館
① 南城市玉城庭球場	① 南城市玉城総合体育館
② 富祖崎公園 庭球場	② 南城市さしきスポ・レクセンター
③ 南城市知念屋外庭球場	③ 南城市知念体育館
④ 大里内原公園 庭球場	ゲートボール
※野球場としての利用も多いため野球場にも分類	① 大里内原公園 ゲートボール場

(2) 体育施設予約利用状況の分析

本市の「公共施設予約システム」から予約された体育施設の利用内容について分析を行いました。

対象期間 2018年4月～2019年3月

(2019年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を閉鎖していた期間があるため2018年度のデータを分析)

整理方法 ・施設稼働率

・時間帯別稼働率

午前(9～12時)、午後(12時～19時) 夜間(19時～22時)に時間帯を分け、各施設の稼働率を整理しました。(実稼働時間÷各時間帯別総時間で算定)

・時間帯別種目稼働率

上記の時間帯別に利用種目ごとの稼働率を整理しました。

・想定利用人数

各スポーツの利用内容(練習や試合等)に応じ、想定利用人数を乗じて延べ人数を算出しました。

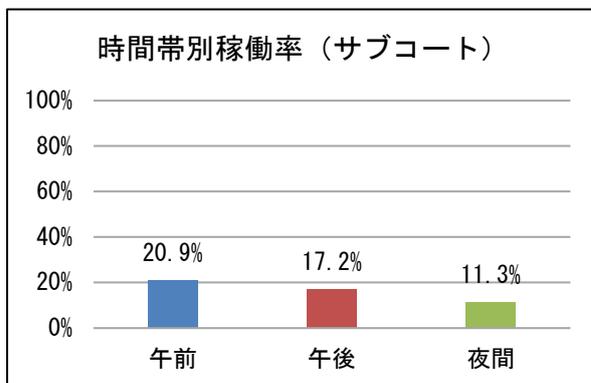
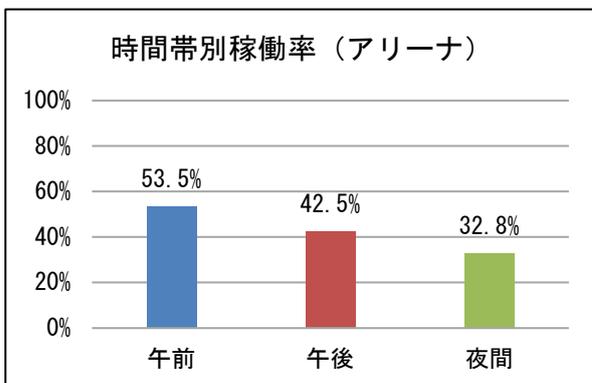
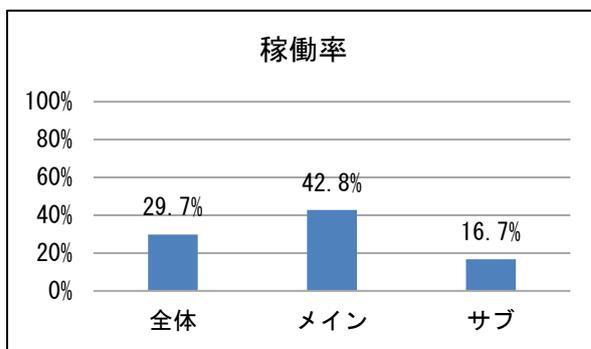
1) 屋内施設

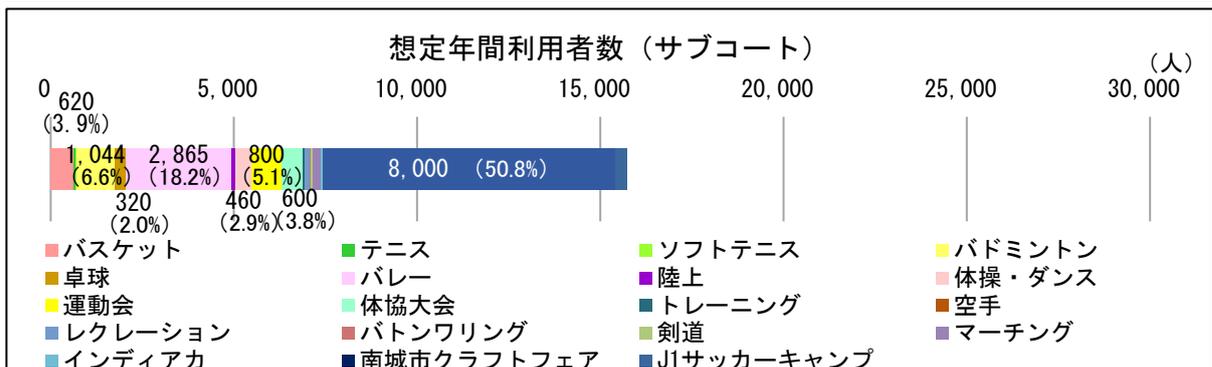
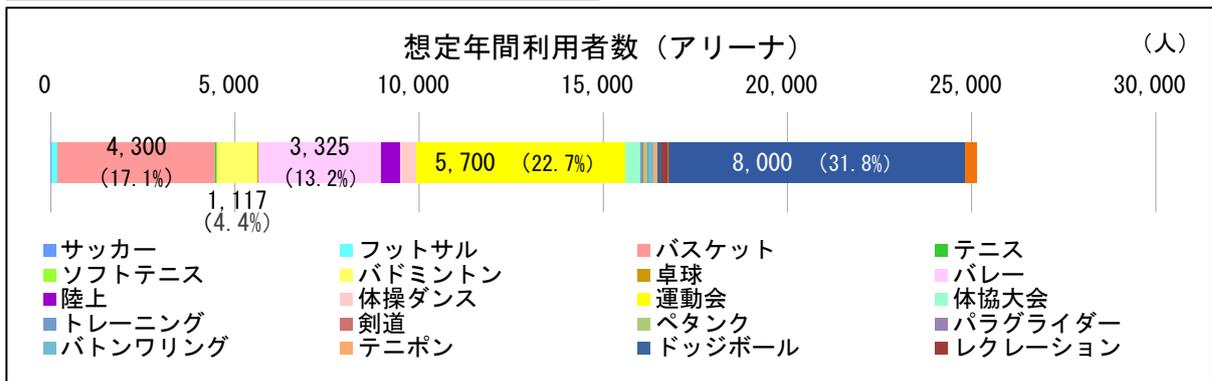
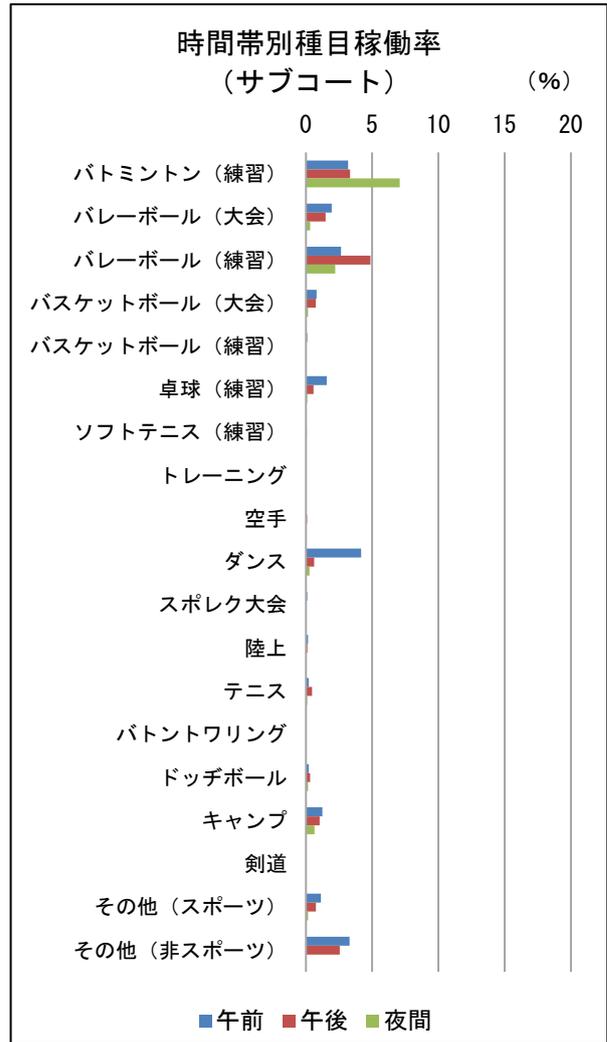
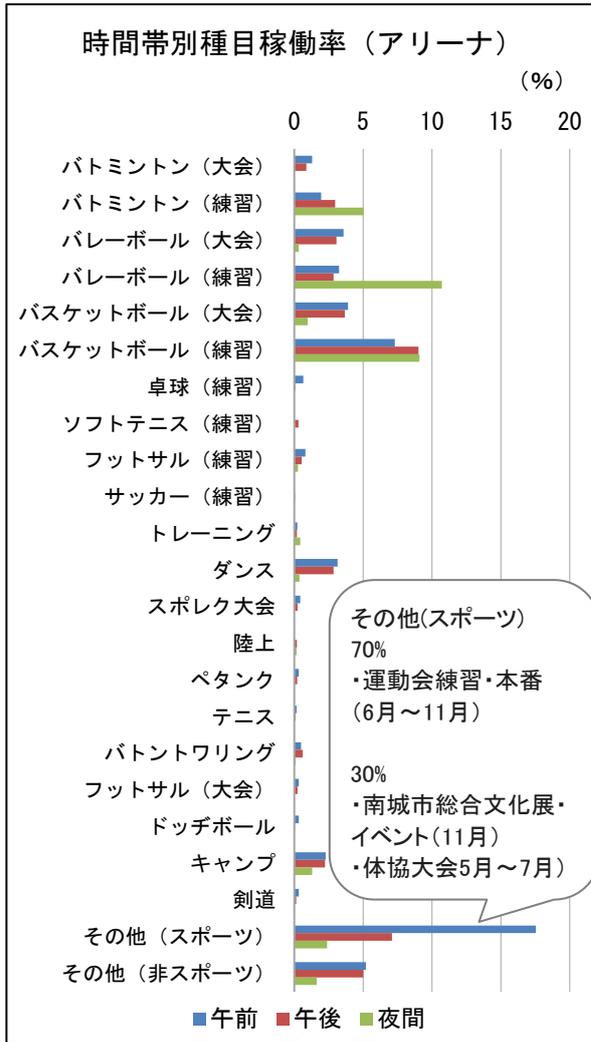
①南城市玉城総合体育館

トレーニング室を除く施設稼働率は29.7%で、年間の利用者数はアリーナとサブコート合わせて約4万人です。他の屋内施設と比べて夜間の稼働率が高く、その中でも利用が多いのはバドミントンとバレーボールの練習です。

メインアリーナは主にバスケットボールとバレーボールの練習場として利用されています。サブコートはバドミントン、バレーボール、ダンスでの利用が多いです。

サブコートはメインアリーナと比較して稼働率が半分以下と低く、広さや設備の面で実施できない、または実施しづらい種目があることが考えられます。

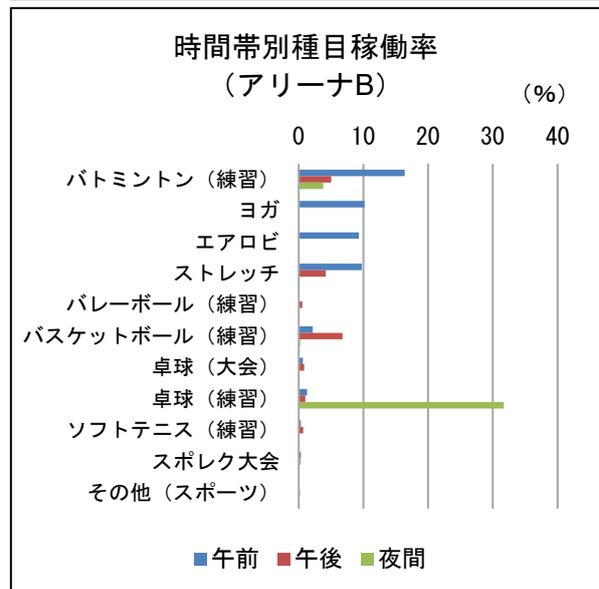
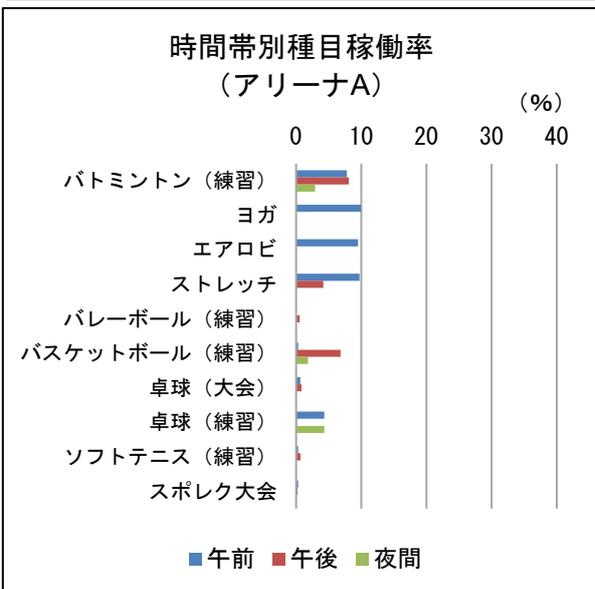
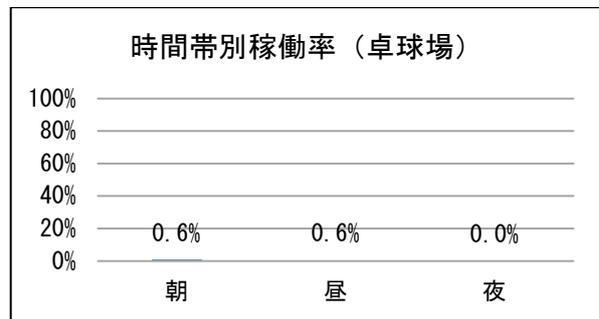
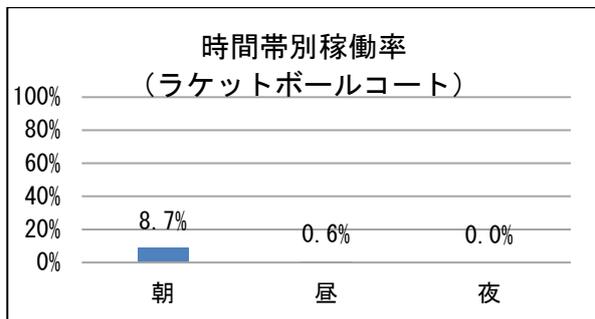
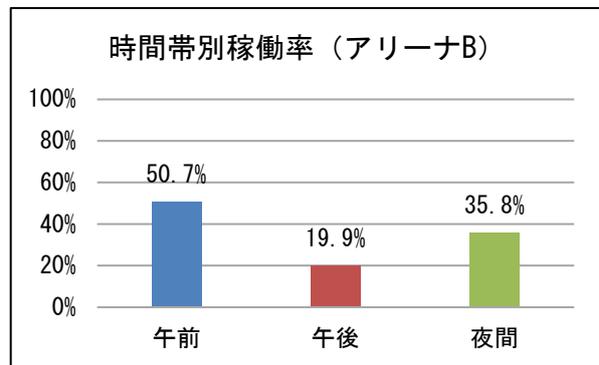
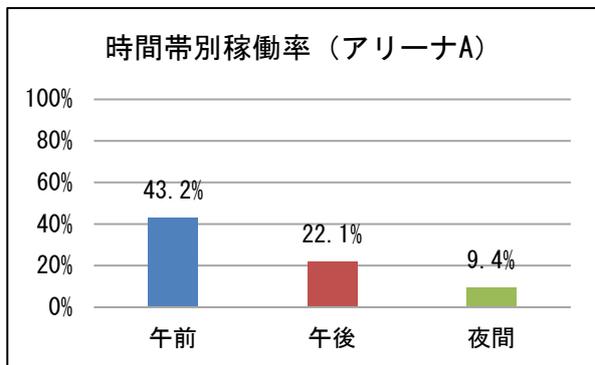
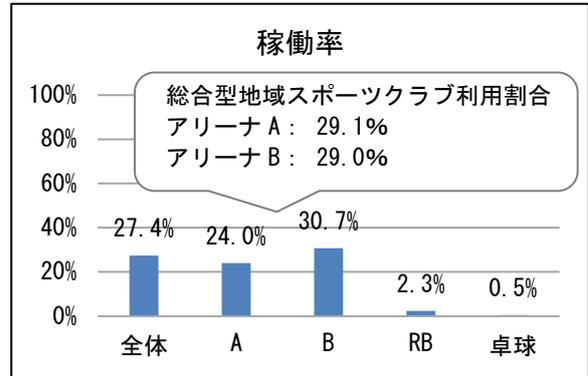




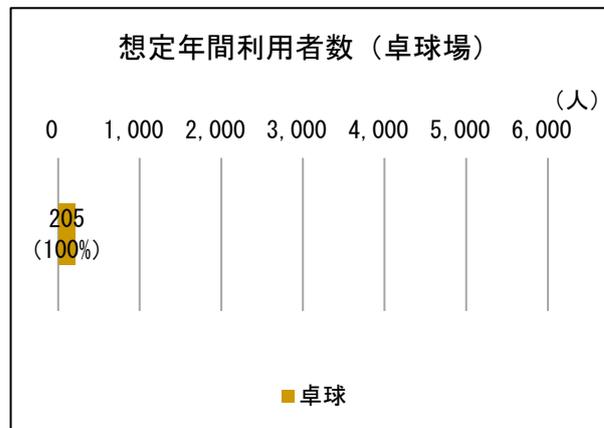
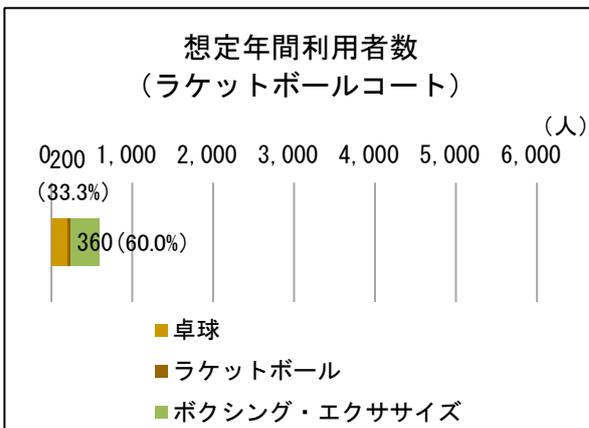
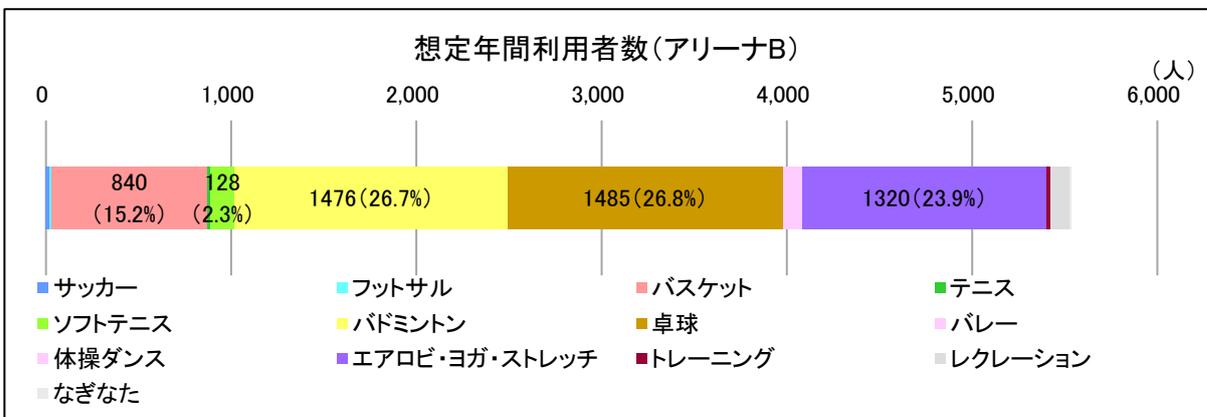
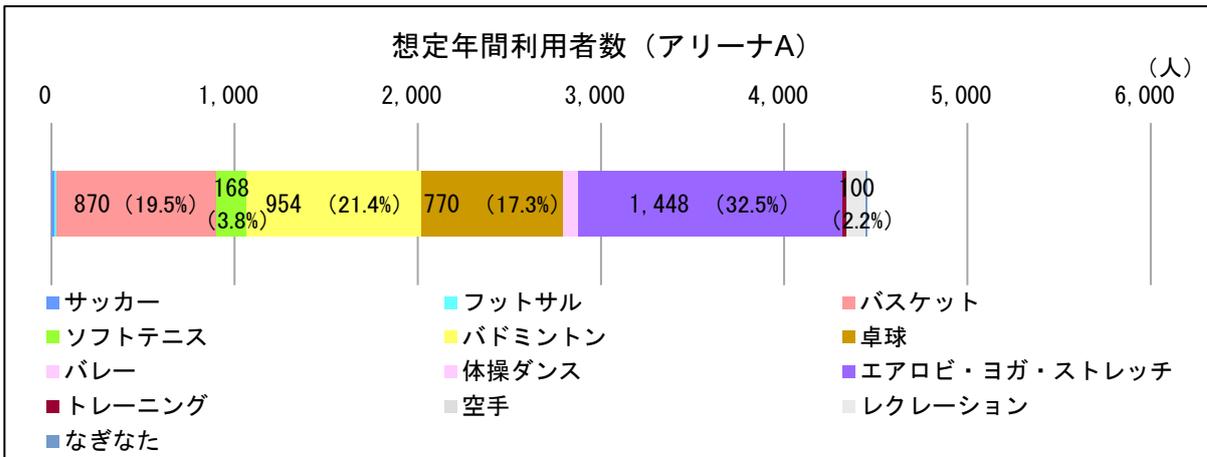
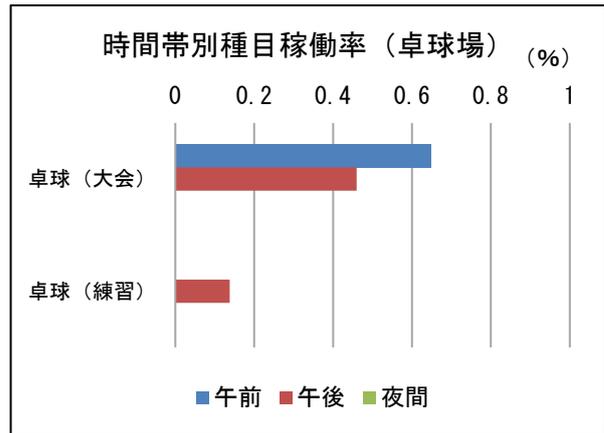
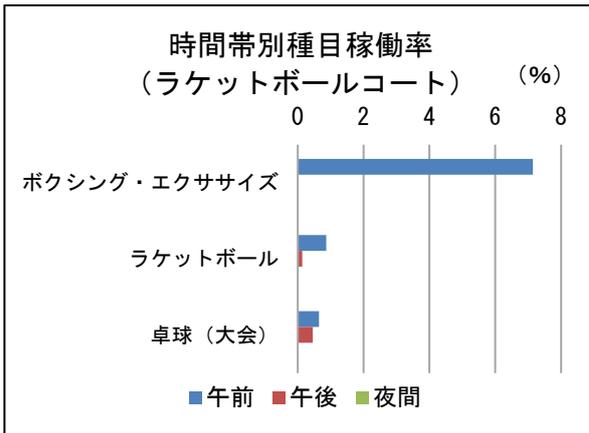
②南城市さしきスポ・レクセンター

トレーニング室を除く施設稼働率は27.4%で年間約1万人に利用されています。稼働率の高いアリーナA、Bの3割程度を総合型地域スポーツクラブが利用しています。一方で、ラケットボールコートは2.3%、卓球場は0.5%とそれぞれ稼働率が低いです。

時間別の稼働状況は午前の利用が多く、他の体育館と比較してヨガ、エアロビ、ストレッチなど、道具を必要としない種目で多く利用されています。

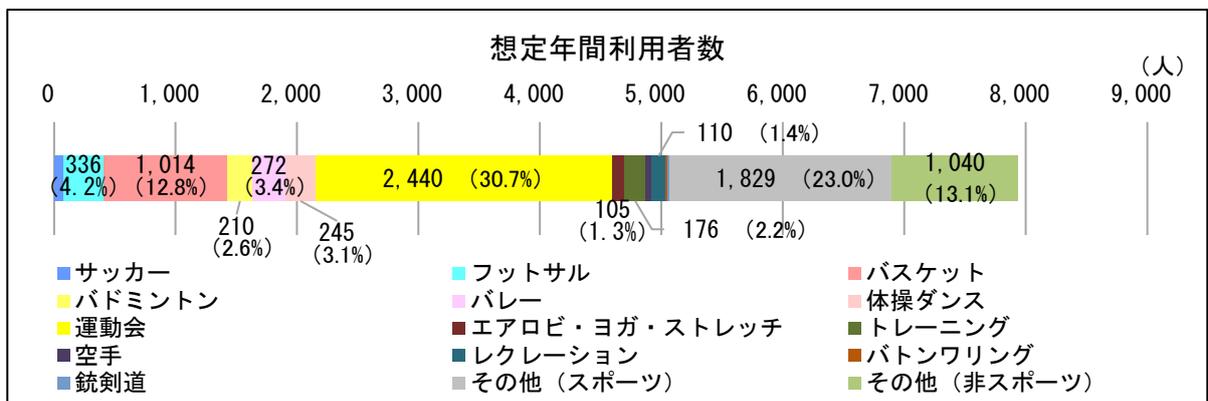
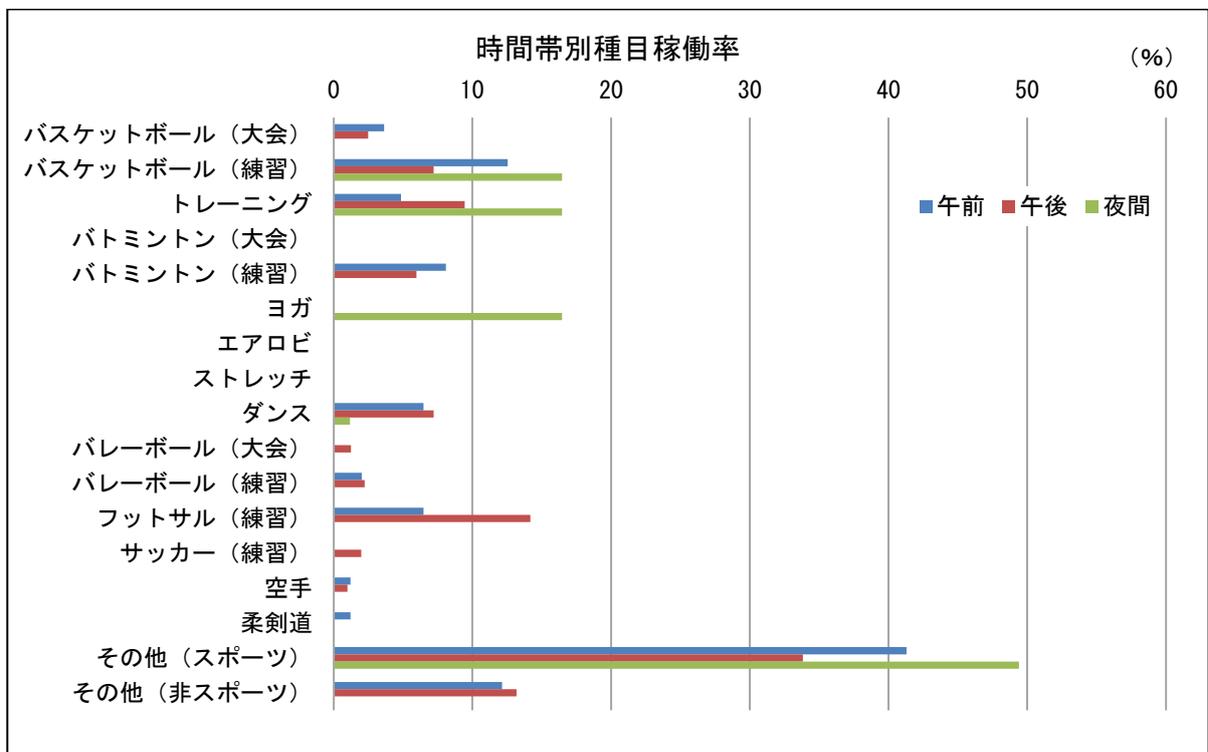
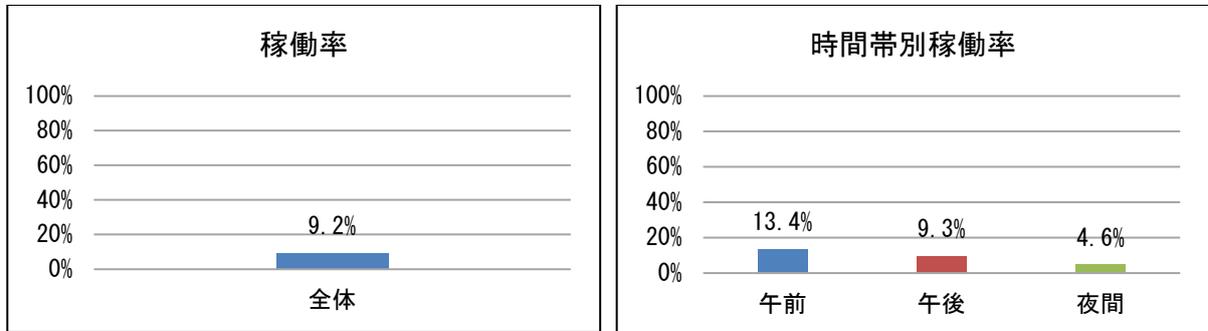


※「南城市さしきスポ・レクセンターのアリーナは、4分割で予約可能であるため集計の表現方法が他とは異なっています。



③南城市知念体育館

トレーニング室を除く施設稼働率は 9.2% で他の屋内施設と比べ 1/3 程度の稼働率です。年間利用者数は約 8,000 人で稼働率に対して利用人数が多い状況です。年間利用者数の内訳は幼稚園や保育園の運動会としての利用が約 2,400 人、知念中学校の体育館の代替施設としての利用が約 1,500 人で約 5 割を占めています。



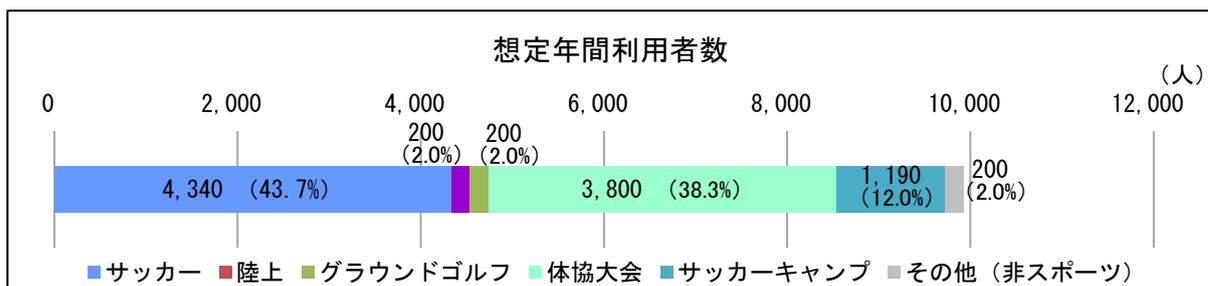
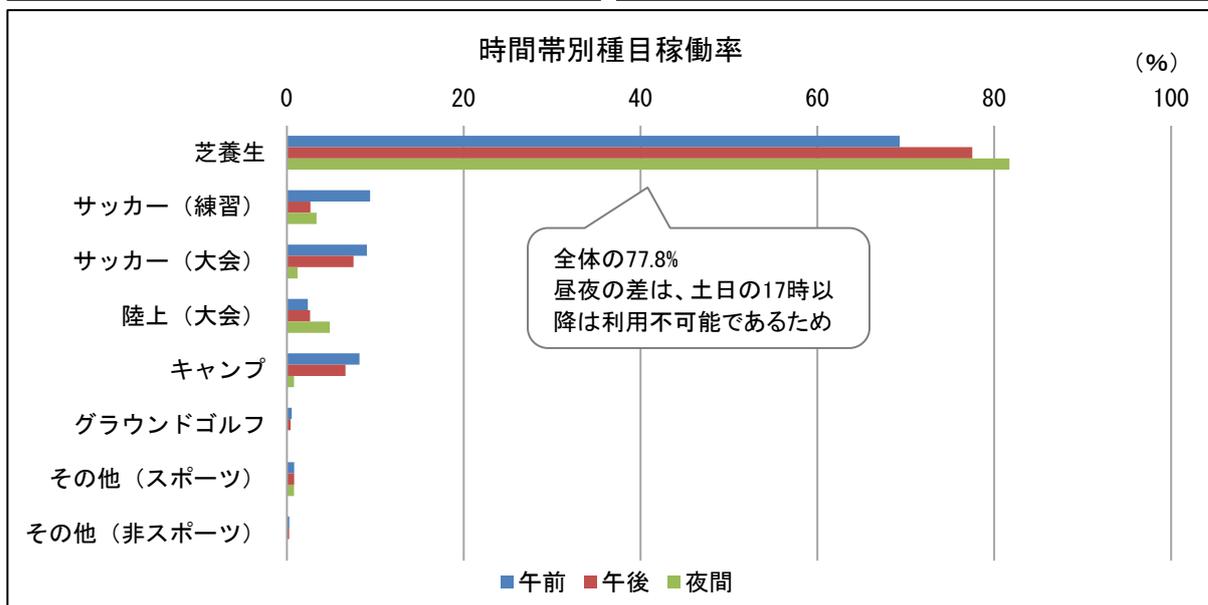
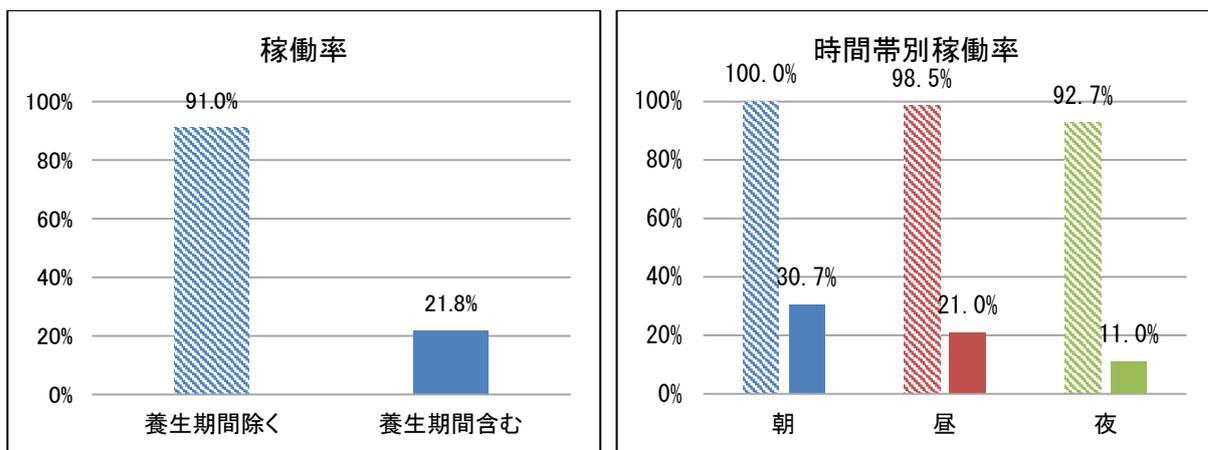
2) 屋外施設

野球の試合や練習の場として使用している施設が合計5か所、サッカーの試合や練習の場として利用されている施設は2か所あります。さらに、小中学校のグラウンドも兩種目で利用されていることが考えられます。

①南城市陸上競技場

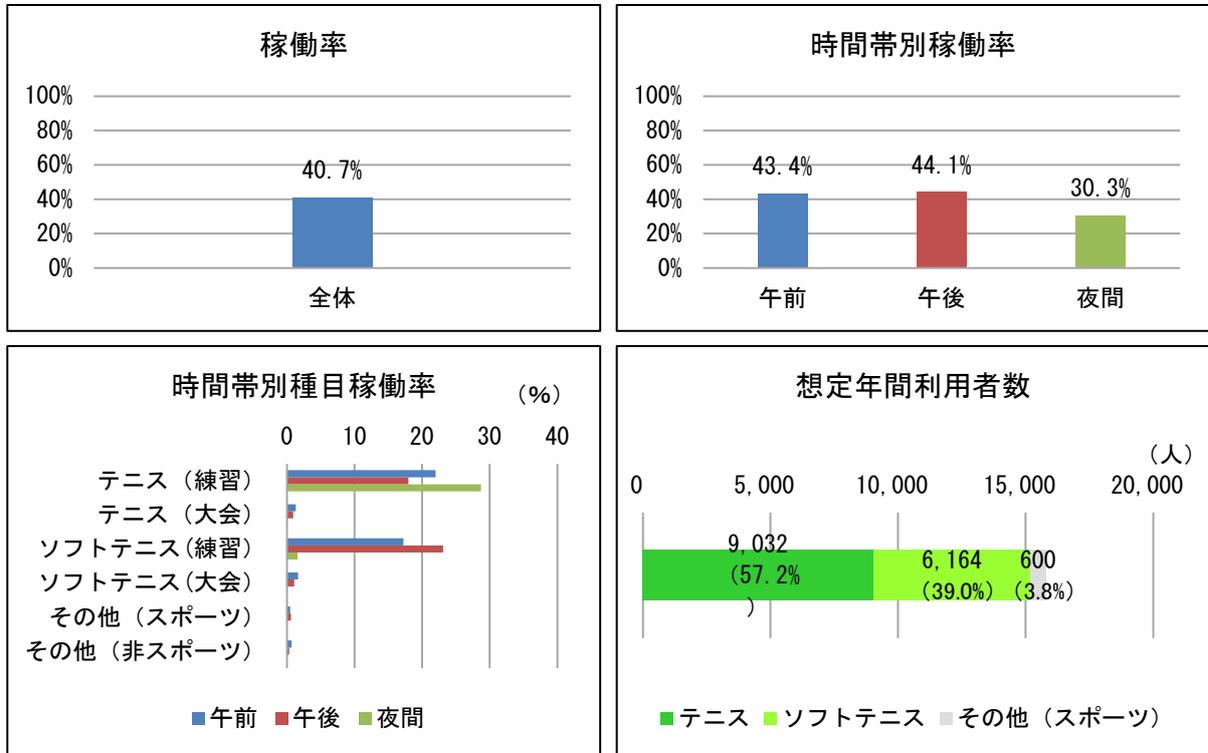
芝養生期間は年間日数の76.3%で、養生期間を除く稼働率は62.4%、養生期間を入れた稼働率は20.8%です。

養生期間を含む稼働率はあまり高くありませんが、大会等での利用が多いため年間利用者数は約1万人と多いです。



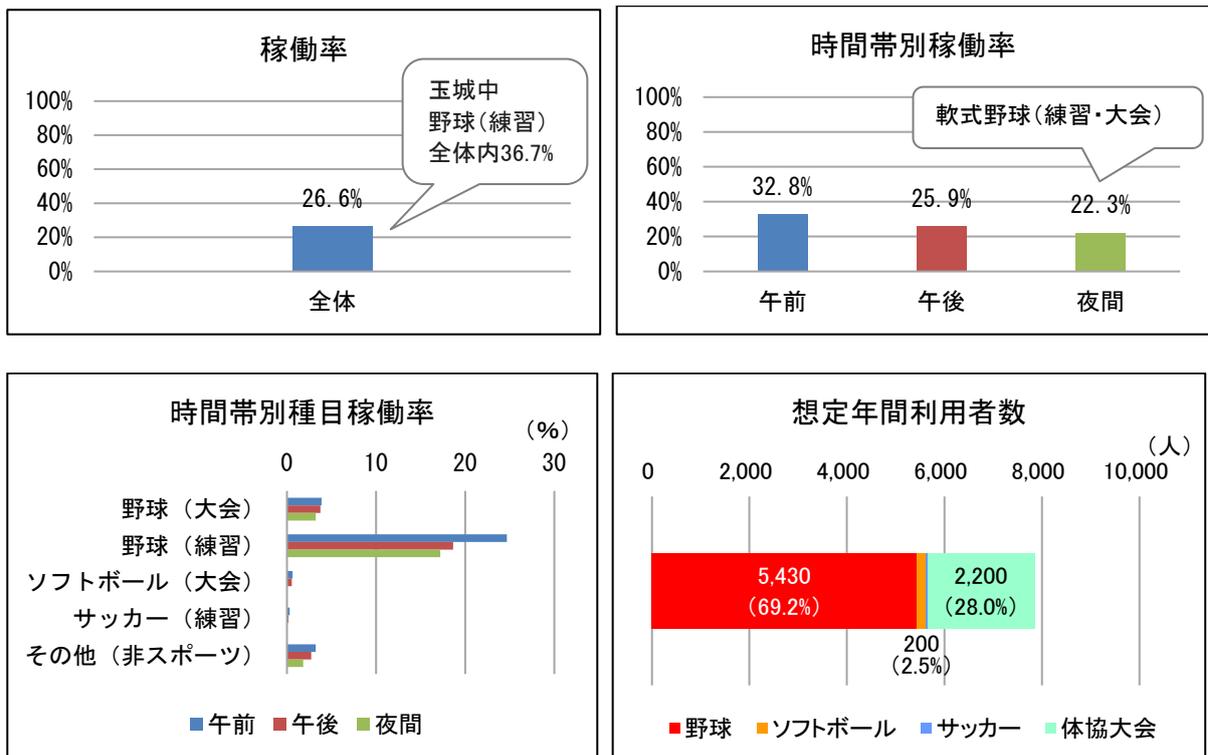
②南城市玉城庭球場

南城市玉城庭球場は南城市知念屋外庭球場の約4倍の利用があり、本市におけるテニスの中心的施設であると考えられます。



③南城市玉城野球場

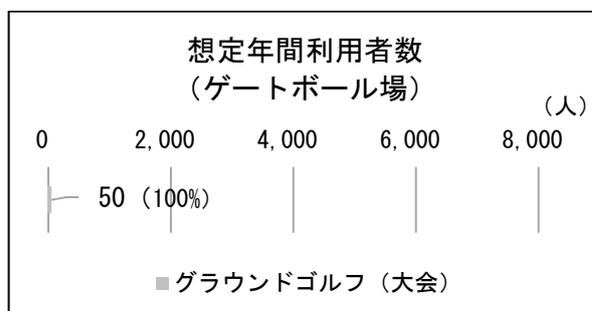
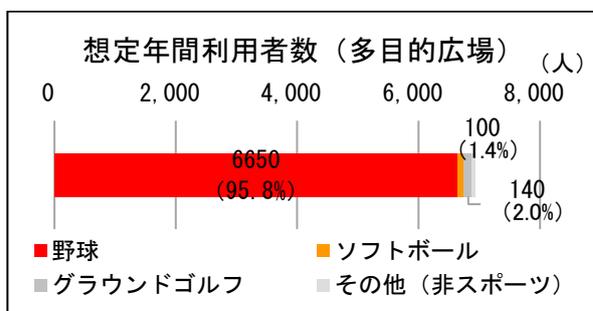
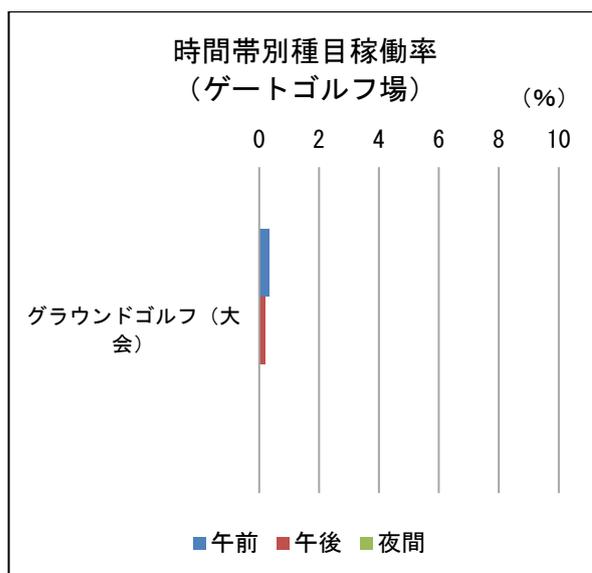
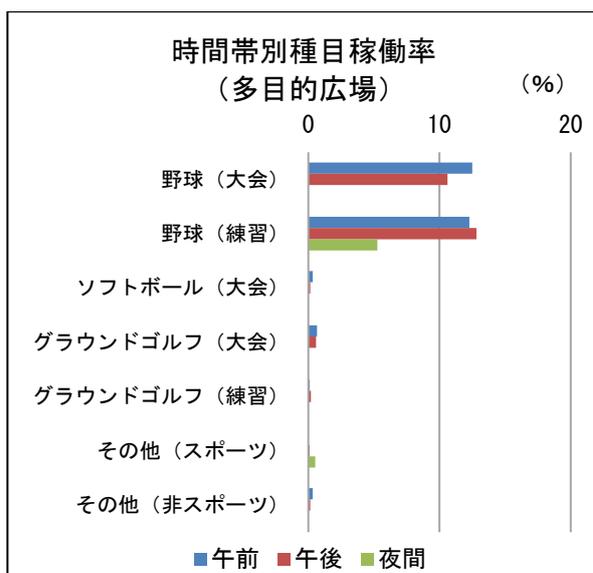
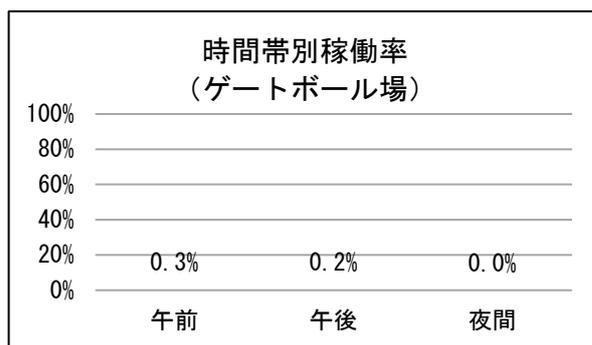
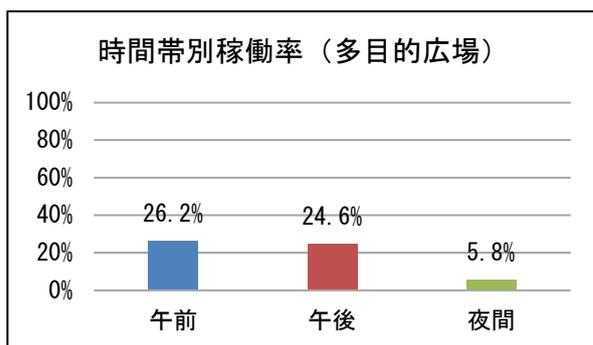
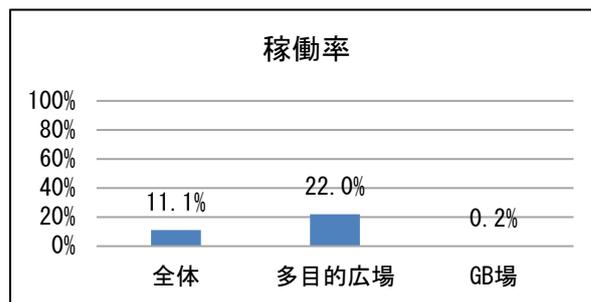
南城市玉城野球場は年間26.6%稼働していますが、そのうちの4割弱が玉城中学校の利用です。



④大里内原公園

多目的広場の利用者数のうち95.8%が野球での利用です。

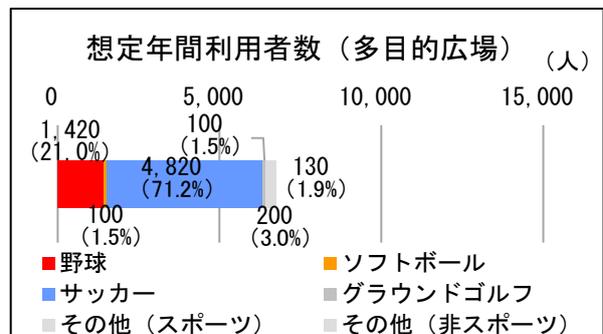
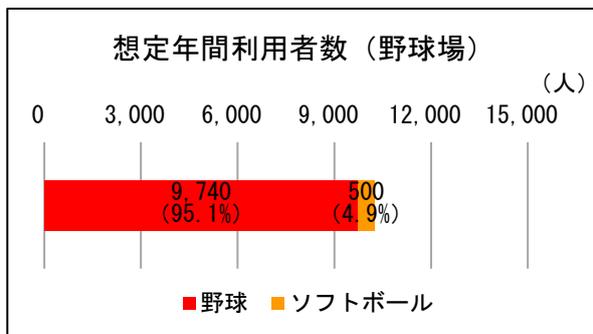
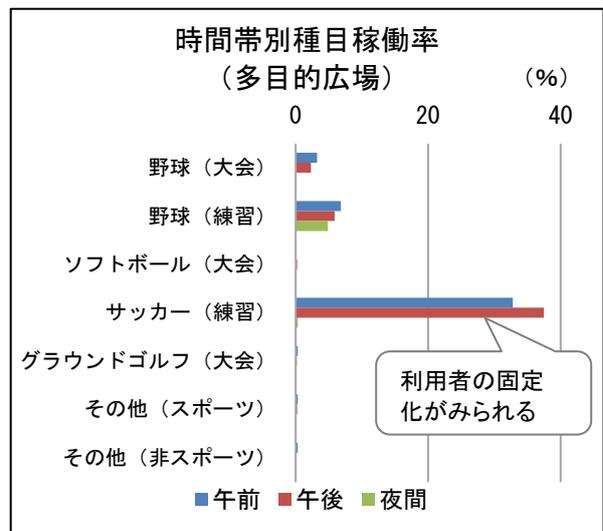
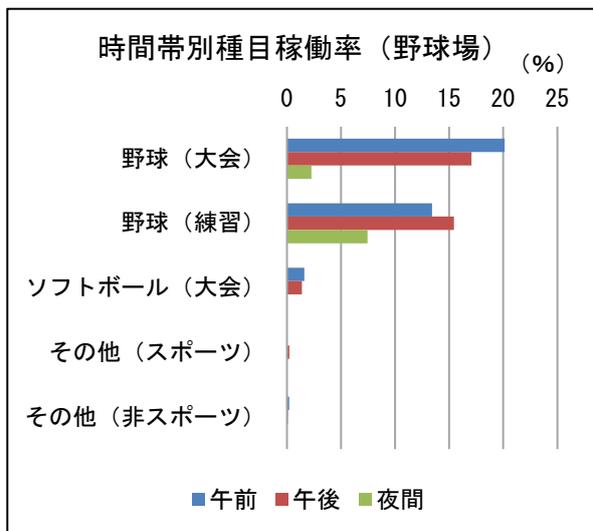
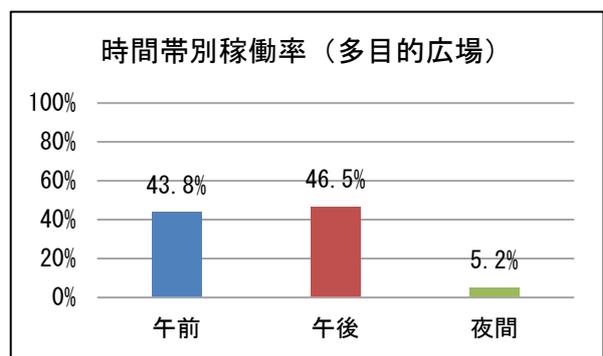
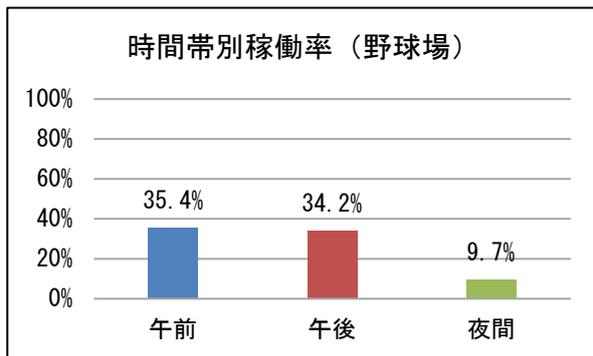
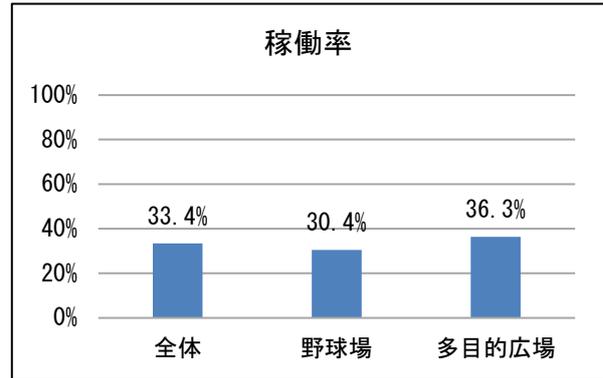
午前には26.2%、午後には24.6%稼働しているのに対し、夜間は5.8%と稼働率が低いです。



⑤南城市営新開球場

野球場はナイター利用できる時間に制限があるため夜間の稼働が低く9.7%です。

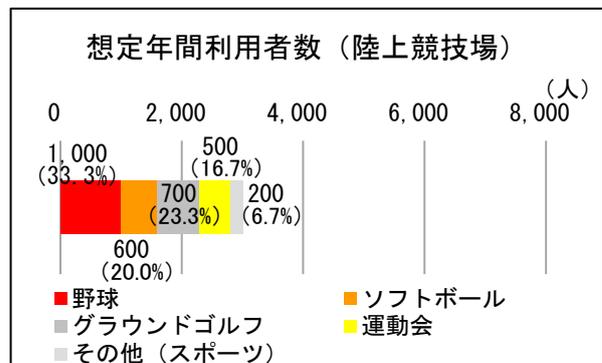
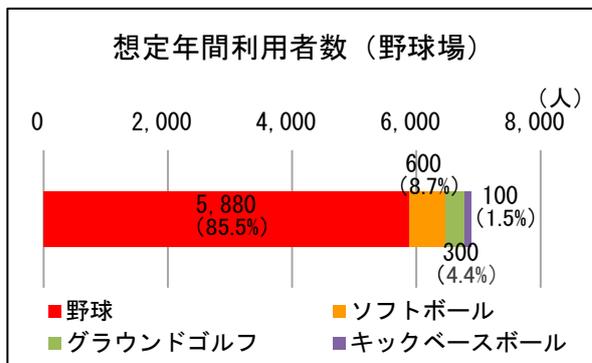
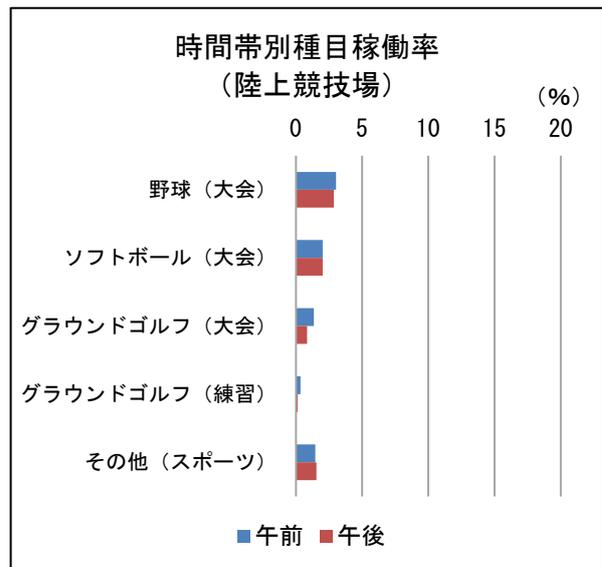
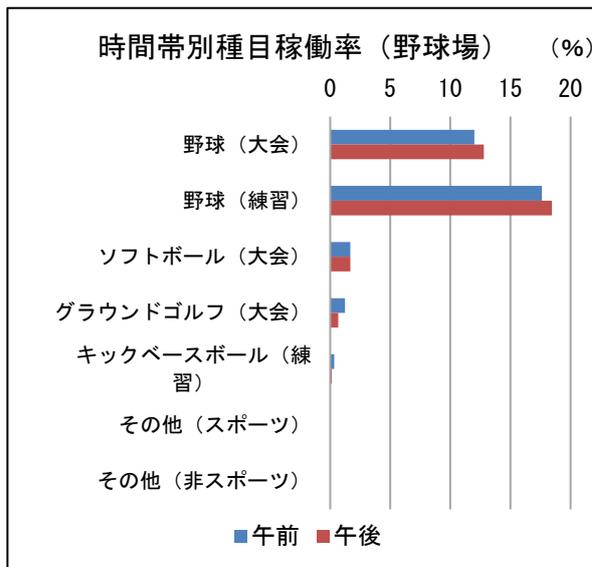
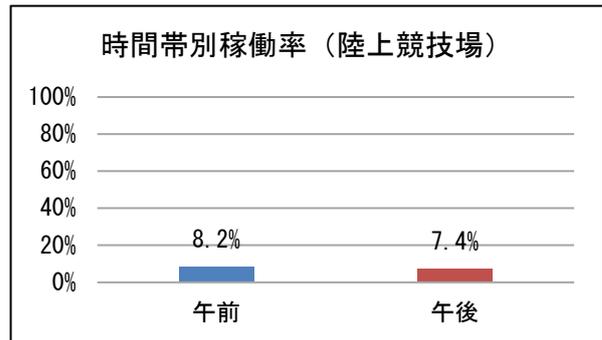
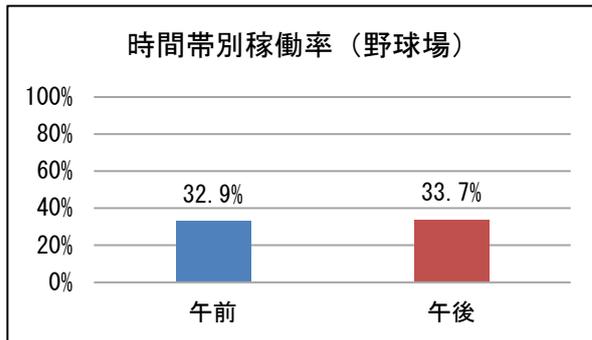
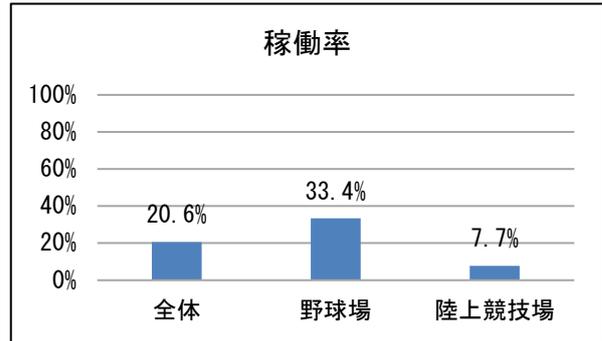
多目的広場はサッカーでの利用が最も多くスポーツ少年団の練習場として固定化されている可能性があります。



⑥富祖崎公園

野球場の稼働率が33.4%であるのに対し、陸上競技場の稼働率は7.7%と低いです。また、陸上競技場は野球やグラウンドゴルフ等での利用が多く陸上競技では利用されていません。

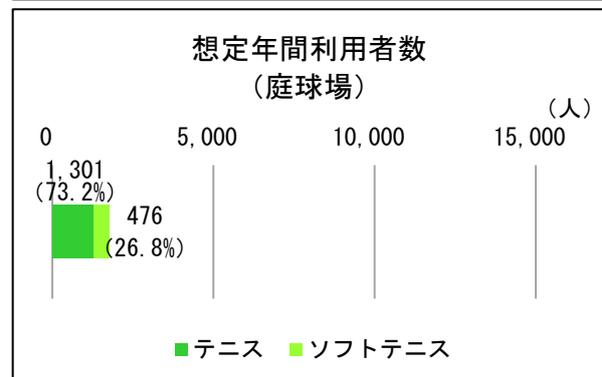
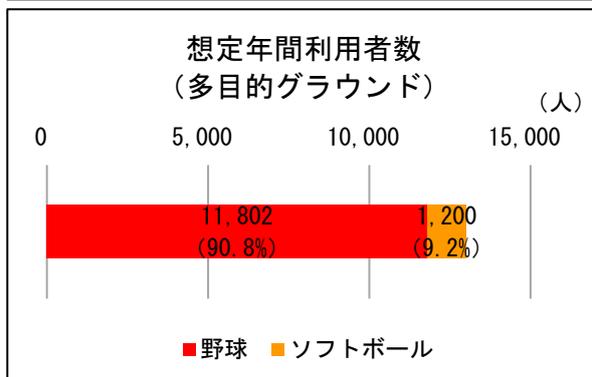
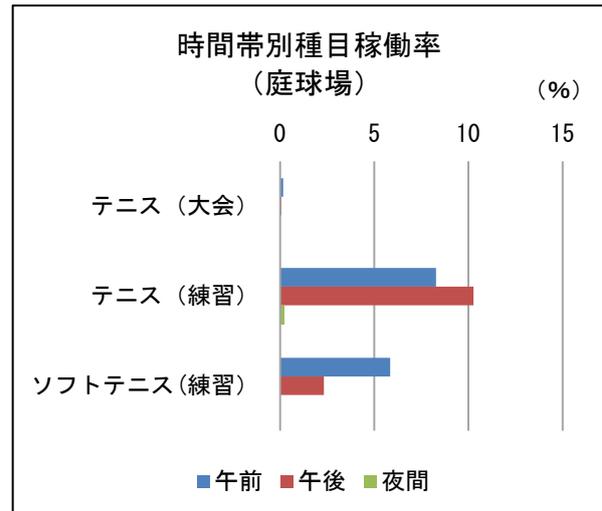
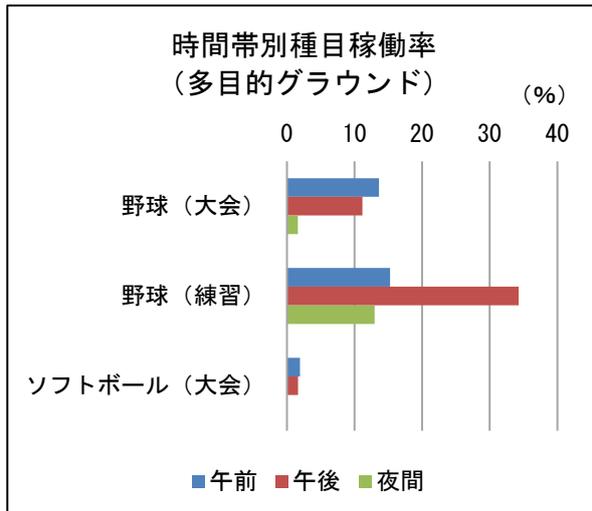
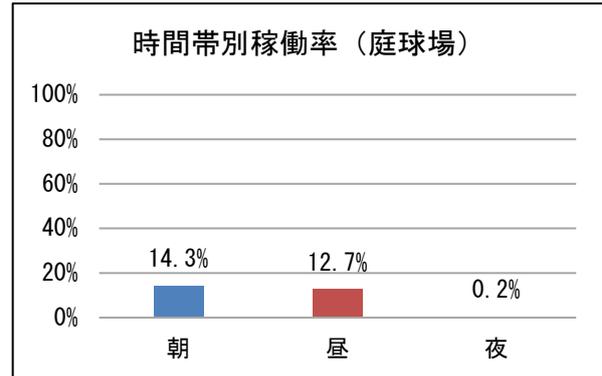
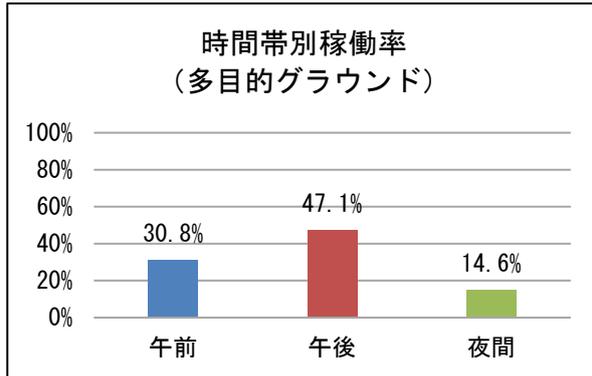
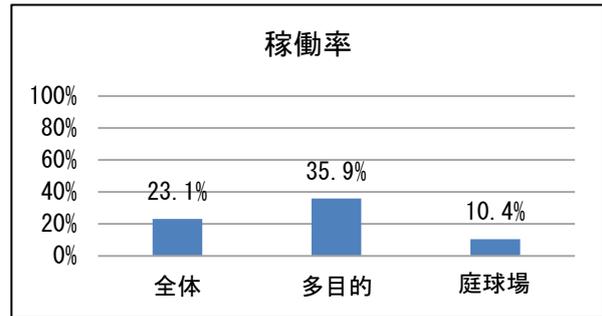
現在、夜間の利用はなく、民家が近いためナイターの利用は難しいと考えられます。



⑦南城市知念屋外運動場

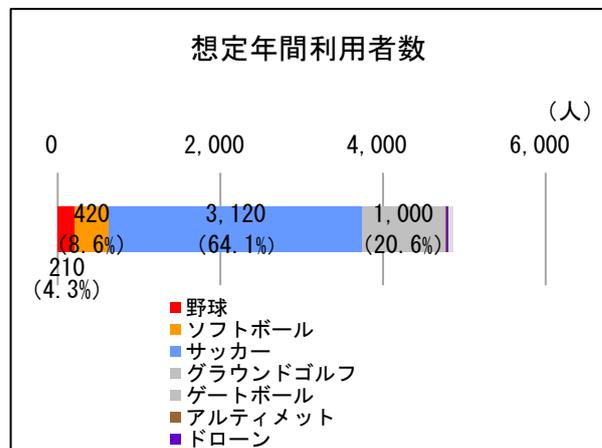
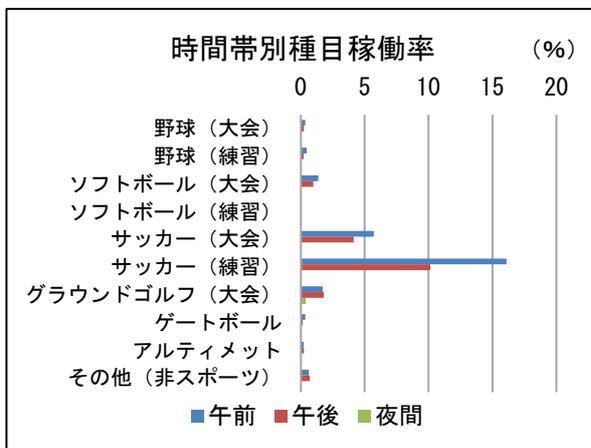
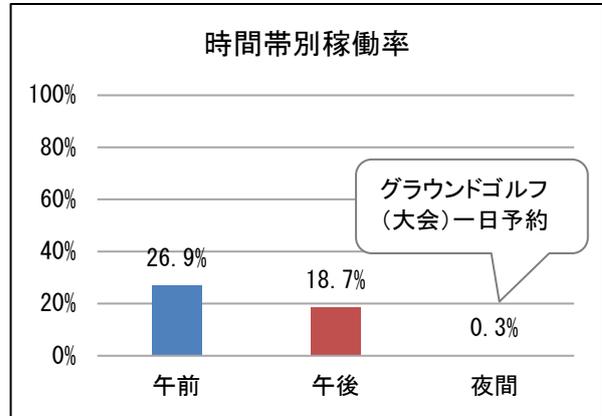
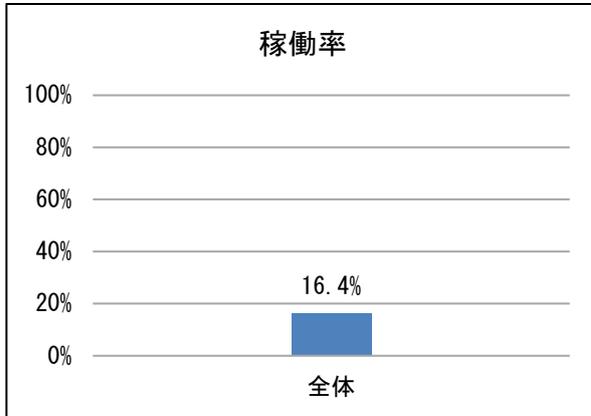
多目的グラウンドの利用が高く、スポーツ少年団の練習場として固定化されている可能性があります。

庭球場は稼働率が 10.4%で、玉城庭球場の 1/4 程度です。



⑧南城市志喜屋漁港多目的広場

もずくの養殖場が近く、養殖に影響を与えてしまうことから、ナイター利用のための灯りを付けることができず、夜間の稼働が少ない状況です。



(3) トレーニング室及び陸上競技場における個人利用（予約なし）の利用状況の分析

対象期間 2019年4月～2020年3月

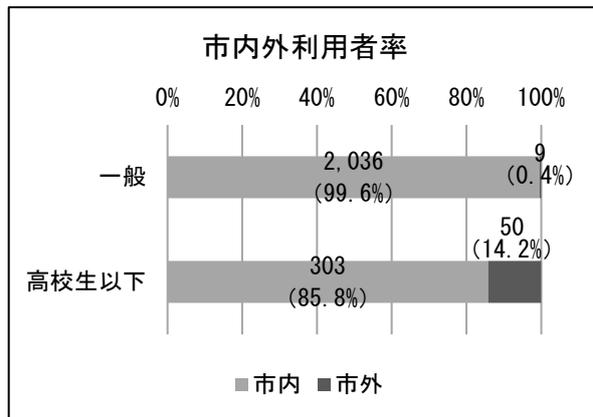
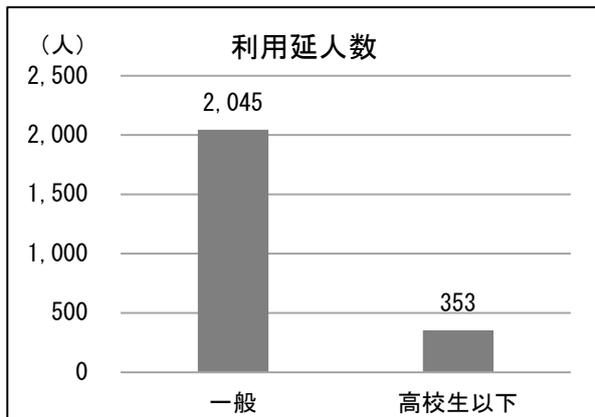
整理方法 各体育施設の利用券の発券数を利用者数として算出し、一般・高校生以下、市内市外を分類し整理しました。

1) トレーニング室

トレーニング室の利用は一般、高校生以下ともに市内在住者の利用が多いです。

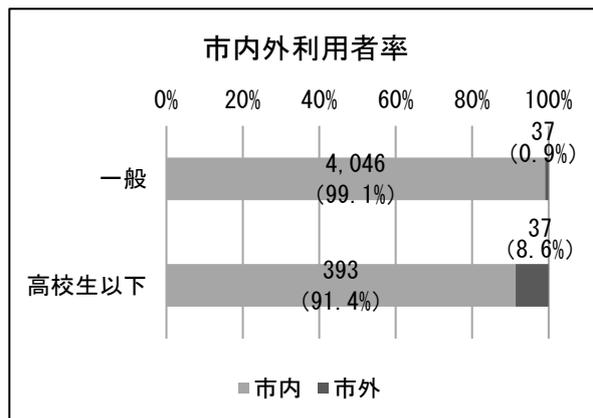
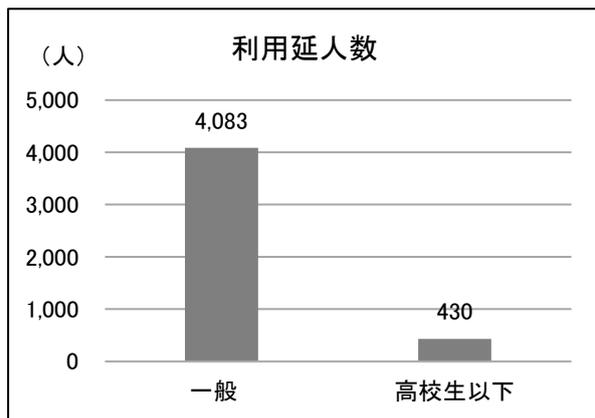
①南城市玉城総合体育館

一般の利用者数は約2,000人、高校生以下の利用者数は約350人です。他の体育館のトレーニング室に比べて利用者が少ないため運営方法等を検討する必要があります。



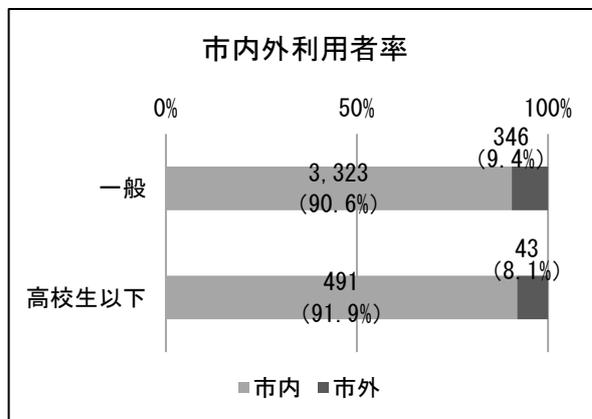
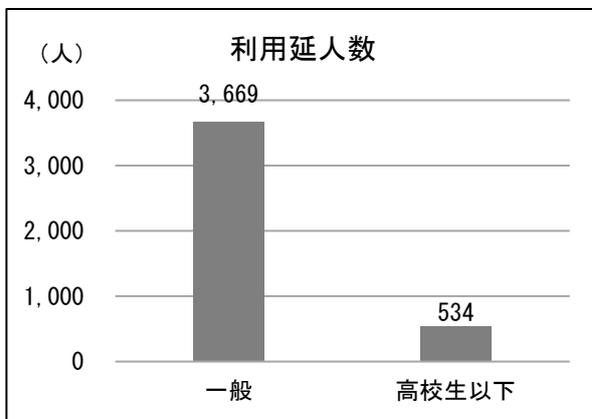
②南城市さしきスポ・レクセンター

一般の利用は約4,000人、高校生以下の利用は約400人と市内のトレーニング室の中で最も利用者が多いです。



③南城市知念体育館

一般の利用は約 3,600 人、高校生以下の利用は約 500 人とアリーナの稼働率に比べ利用者数が多い状況です。

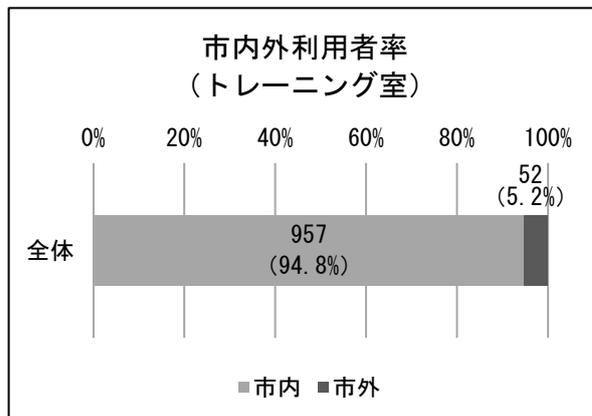
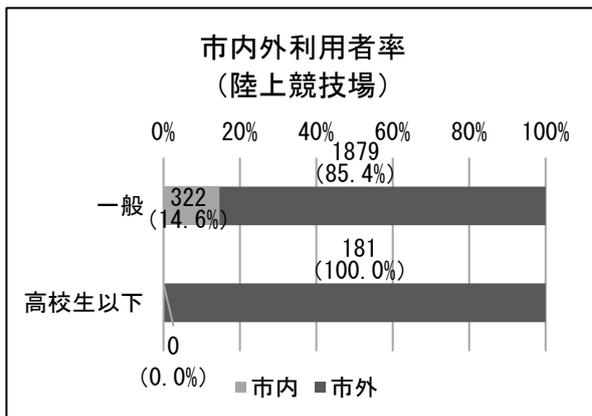
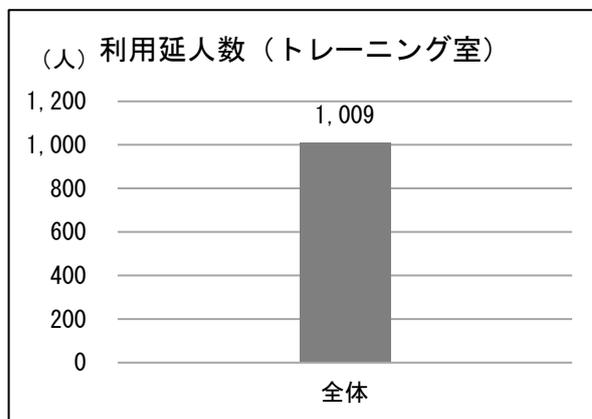
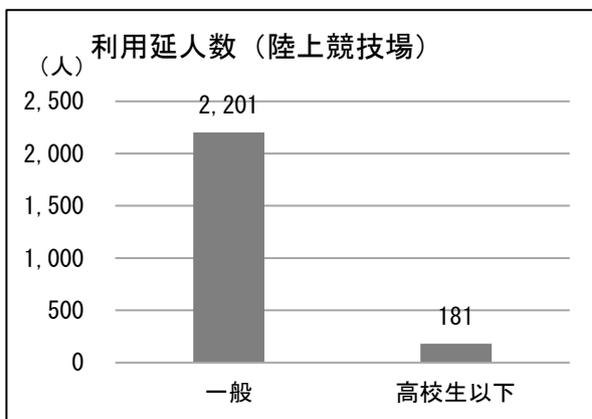


2) 陸上競技場 (陸上競技場、トレーニング室)

①南城市陸上競技場

陸上競技場とトレーニング室合わせた一般の利用者は約 2,000 人、高校生以下の利用者は約 180 人と他の施設と比較して少ないです。芝養生期間を除く陸上競技場フィールドの利用可能日数が年間 73 日と少ないことから対策を検討する必要があります。

一般、高校生以下ともに市外からの利用者が多く、陸上クラブの活動が影響していると考えられます。



2. 市民意向調査

「南城市スポーツ推進計画」市民アンケート調査は、市民の運動・スポーツの実施状況について分析を行うため、次のような内容で実施されました。

調査期間	令和2年9月9日～令和2年10月15日
調査対象	・南城市在住の16歳以上79歳以下の男女2,065名を人口比率により抽出し郵送 ・主要体育施設への設置、南城市ホームページ、Facebookでの募集
調査項目	・属性・健康・体力について・運動・スポーツの実施状況について ・今後の意向について・市内体育施設について ・スポーツクラブでの活動について ・地域スポーツイベントへの参加状況と今後の意向について ・スポーツ情報の入手方法について・今後の南城市のスポーツ推進について
回収結果	回答数684件（郵送での回答453件、インターネットでの回答231件） 回収率31%（郵送での配布数とその他の方法で入手・回答した方の合計2,163件）

(1) 施設別分析

1) 南城市陸上競技場（高稼働）

主な利用方法（種目） 陸上、サッカー

利用者	利用する理由	利用した感想
佐敷地区が他と比べると少ないが、広域的に利用されている。	「利用したい設備が整っているから」と回答する人が多い。	「施設・設備が充実しており、使いやすい」と回答する人が多い。

関連するヒアリング結果

- ・ FC琉球が練習・トレーニングで定期的に利用している（8:00～13:00）
- ・ 陸上の日、南城市少年サッカーが定期的に利用している（終日）
- ・ 隣接する与那原町に施設があるため、佐敷地区の利用者が少ない可能性がある

2) 南城市玉城総合体育館（高稼働）

主な利用方法（種目） 室内競技

利用者	利用する理由	利用した感想
近隣住民、一部広域的に利用されている。	「自宅や勤め先から近いから」、「所属しているサークル・団体が活動しているから」と回答する人が多い。	「施設・設備が充実しており、使いやすい」と回答する人が多い。

関連するヒアリング結果

- ・ メインアリーナではバスケットコートが2面、学校が部活動で利用
- ・ サブコートはバレーボールコートのポールの位置が使用しづらい

3) 南城市さしきスポ・レクセンター（高稼働）

主な利用方法（種目） 室内競技

利用者	利用する理由	利用した感想
近隣住民の利用が多い。	「自宅や勤め先から近いから」、「利用料金が安い」と回答する人が多い。	施設・設備に不満を感じる点がある人が他の施設に比べ多い。

関連するヒアリング結果

- ・ バasketコートは1面のみ

4) 大里内原公園（中稼働）

主な利用方法（種目） 多目的、庭球場、ゲートボール場

利用者	利用する理由	利用した感想
近隣住民の利用が多い。	「自宅や勤め先から近いから」、「利用料金が安い」と回答する人が多い。	「駐車場が広い」と回答する人が多い。

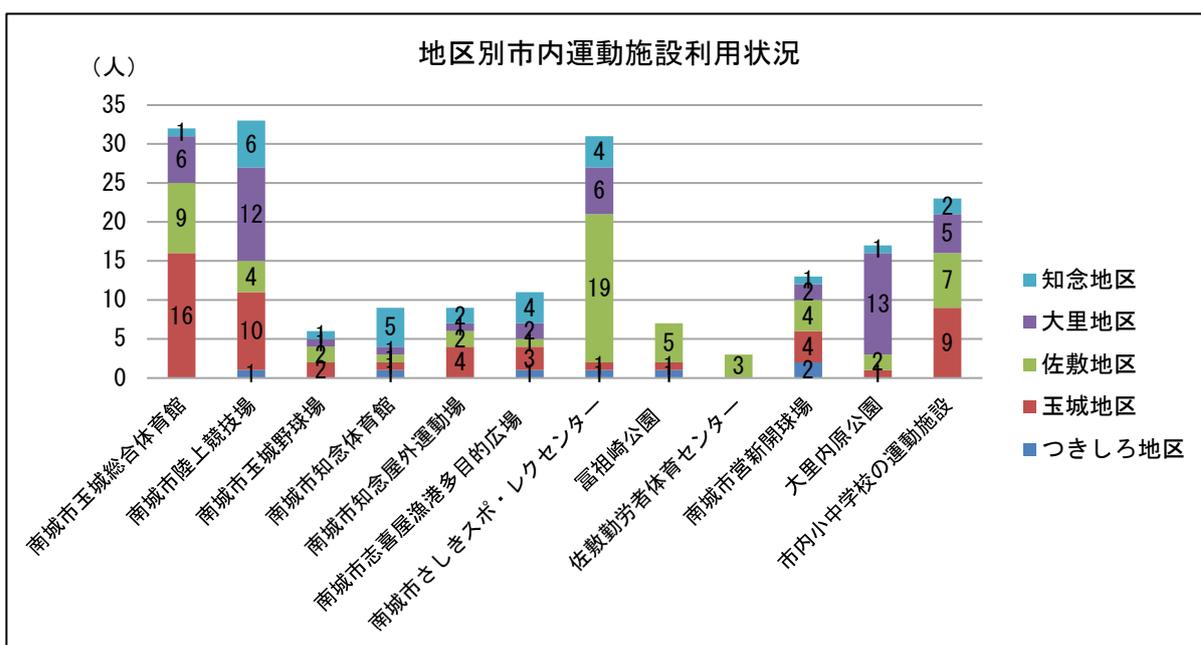
関連するヒアリング結果

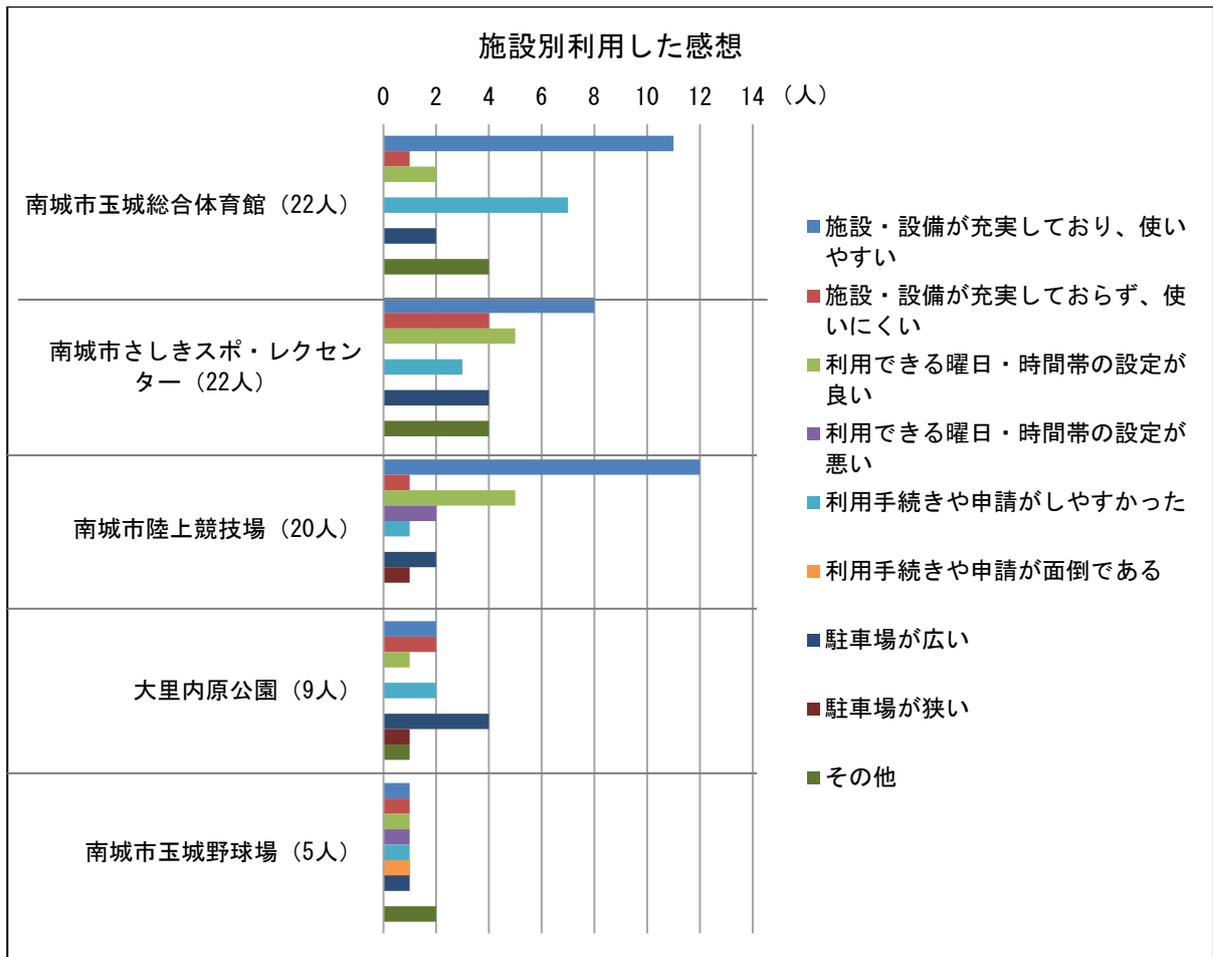
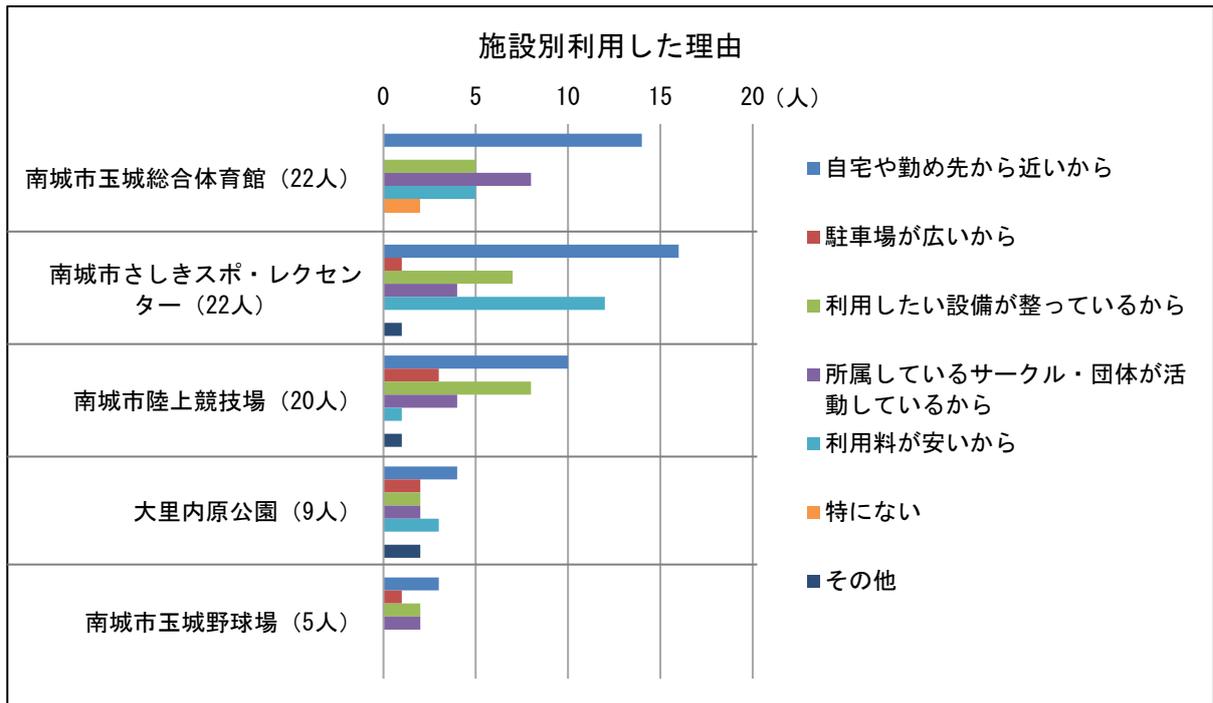
- ・ 子どもたちの利用が多い

5) 南城市玉城野球場（低稼働）

主な利用方法（種目） 野球

利用者	利用する理由	利用した感想
広域的に利用されている。	「自宅や勤め先から近いから」と回答する人が多い。	なし



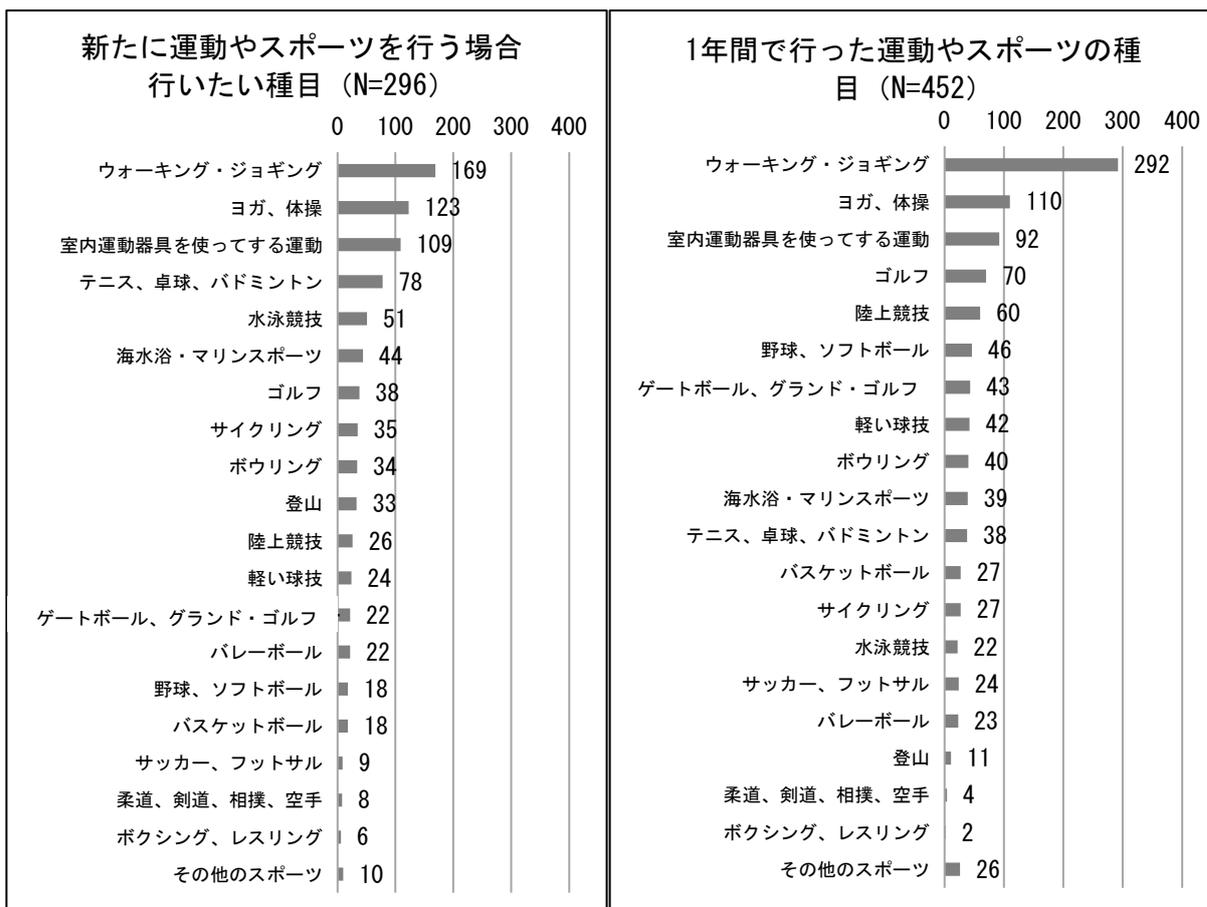


(2) 種目別分析

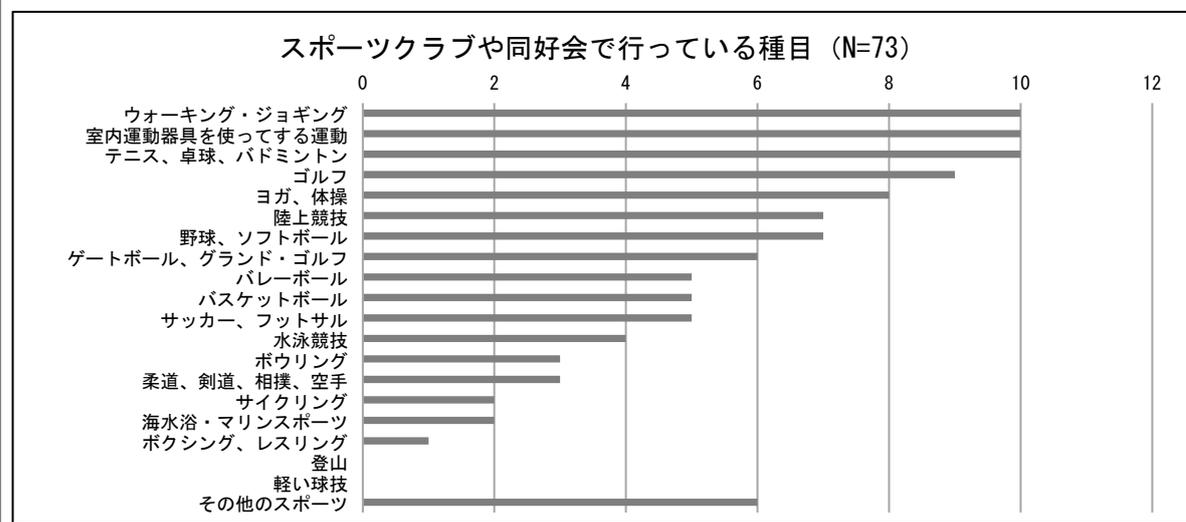
1) 1年間で実施した種目と新たに行いたい種目

実施した種目と新たに行いたい種目のそれぞれ上位3つは同種目となり、いずれも1人で実施できる種目となりました。場所を問わずに実施できる種目の人気が高いことが考えられます。

また、野球やゲートボールなど実施した種目よりも新たに行いたい種目の方が下位にある種目は複数人で行うスポーツが多く、新たに行おうとするとチームに入りづらいことや新たなチームを作りにくいなどの要因が考えられます。



参考：スポーツクラブや同好会でやっている種目

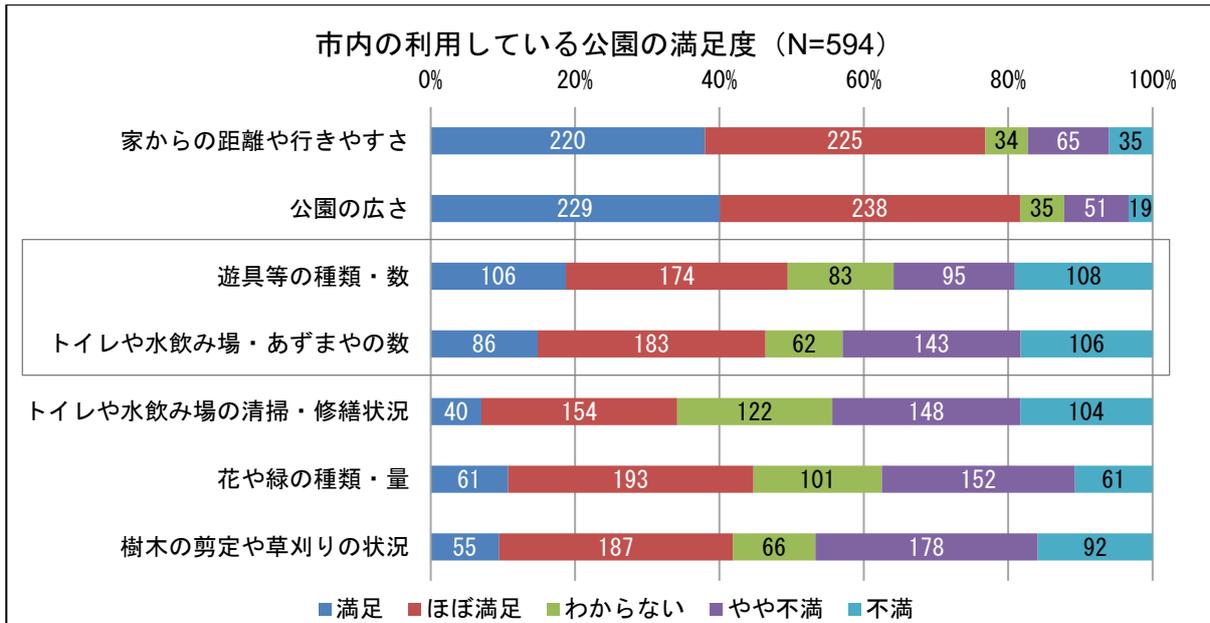


3. 公園・緑地再整備計画市民アンケート調査

「公園・緑地再整備計画」の市民アンケート調査から体育施設の機能を持つ大里内原公園、富祖崎公園を中心に市民ニーズを分析し計画の参考とします。アンケート回答者の年齢は50～70歳代以上が多く全体の約8割を占めており、その点を考慮して分析と考察を行います。

(1) 公園全体について

アンケート調査の対象の公園・緑地全体については、維持管理の満足度が低いと共に「遊具の種類・数」と「トイレや水飲み場・あずまやの数」の項目の満足度がいずれも5割を切っています。

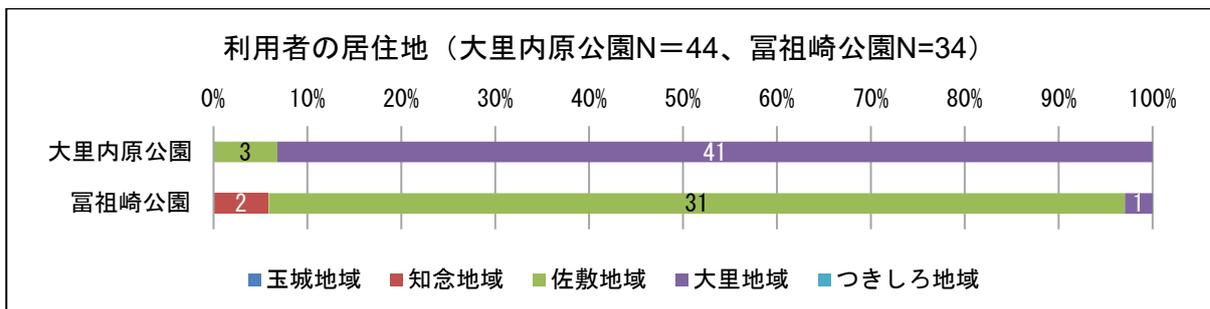


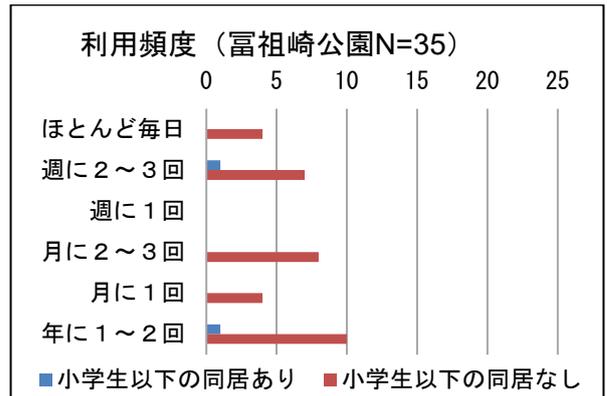
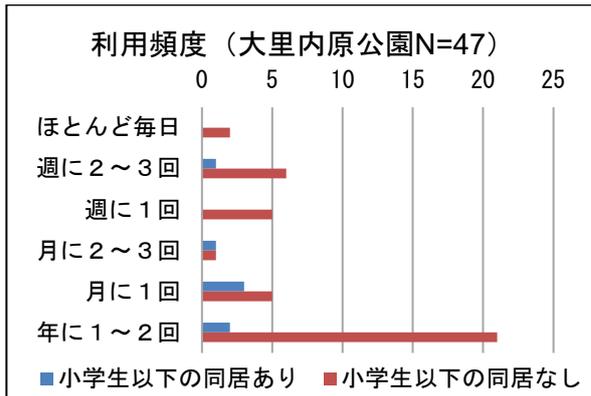
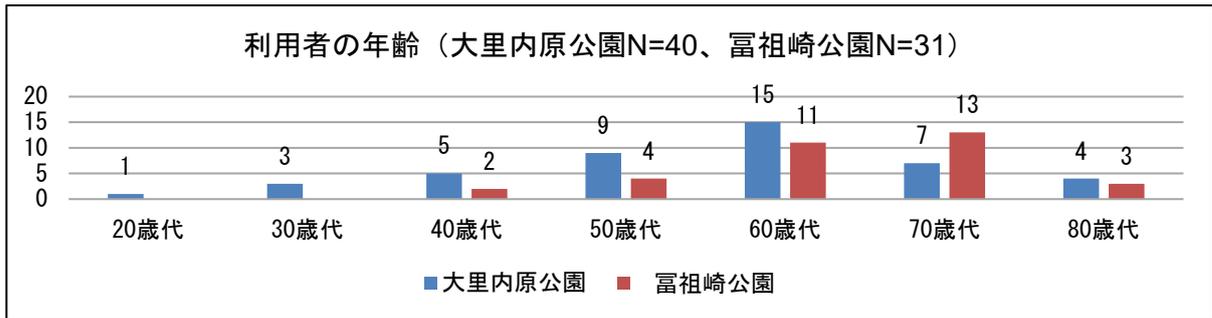
(2) 大里内原公園・富祖崎公園について

1) 最もよく利用する公園×属性

大里内原公園、富祖崎公園ともに近隣の地域住民の利用が90%以上です。

大里内原公園、富祖崎公園ともに「年に1～2回」の利用頻度の人が多いです。

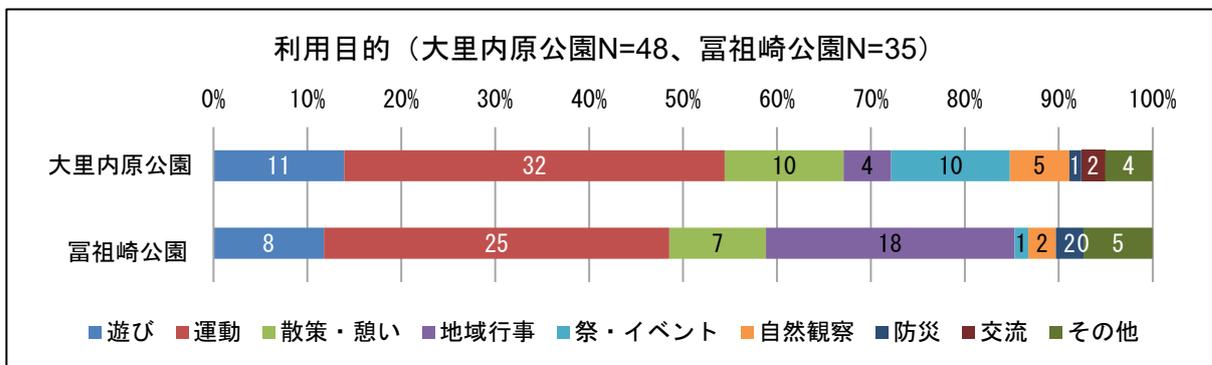




2) 公園の利用目的

両公園とも「遊び」「運動」「散策・憩い」と体を動かす目的で利用している人が6割程度と多い傾向にあります。

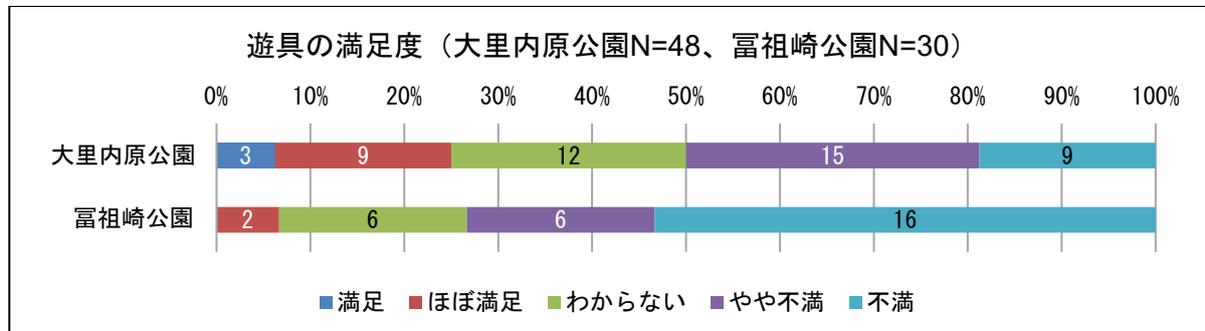
また、富祖崎公園は「地域行事」で利用していると回答した人の割合も多いです。



3) 公園の満足度

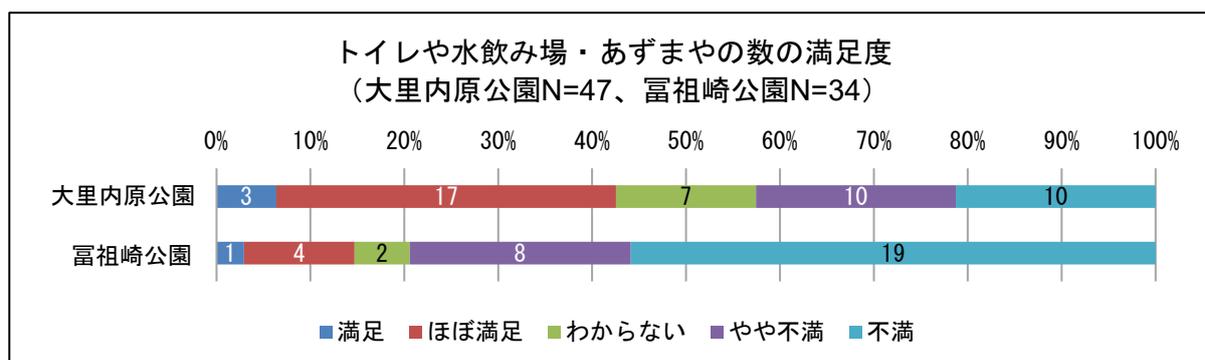
①遊具

「満足」「ほぼ満足」と回答した人の割合は大里内原公園で約 25%、富祖崎公園で 6%と満足度は高くありません。



②トイレや水飲み場・あずまやの数

「満足」「やや満足」と回答した人が大里内原公園は約 4割であるのに対し、富祖崎公園は約 1割で「不満」「やや不満」と回答した人は約 8割と多いです。

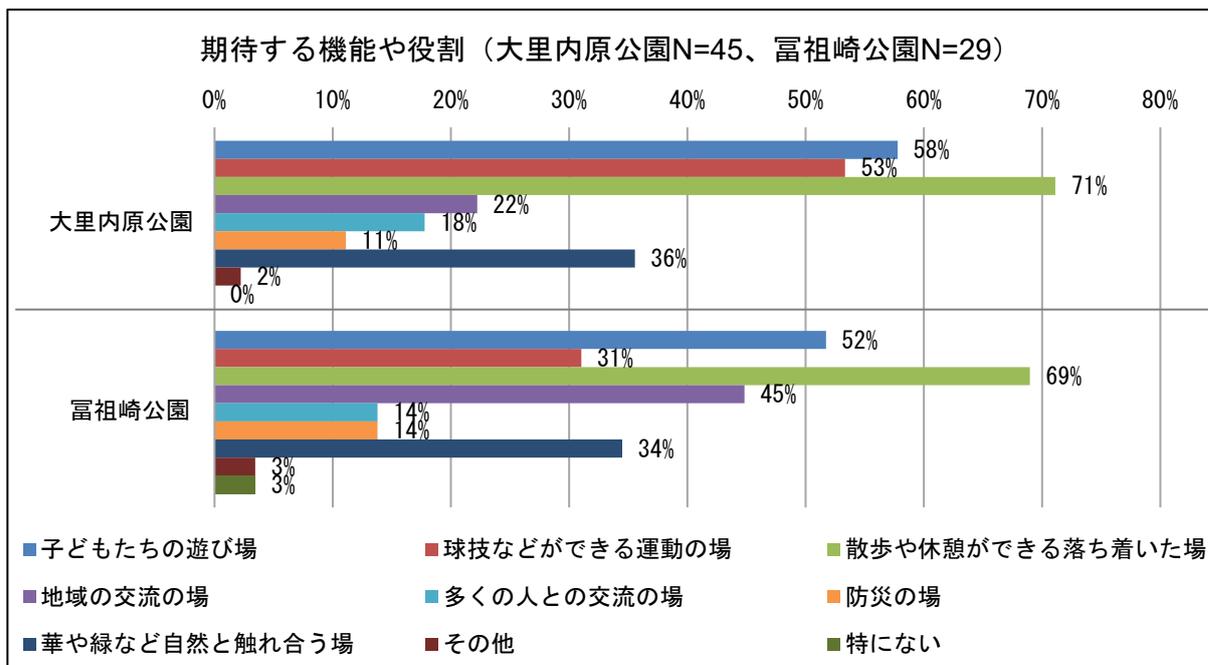


4) 公園に期待する機能や役割

①利用している公園別

両公園ともに「散歩や休憩ができる落ち着いた場」「子どもたちの遊び場」を求める人の割合が多いです。

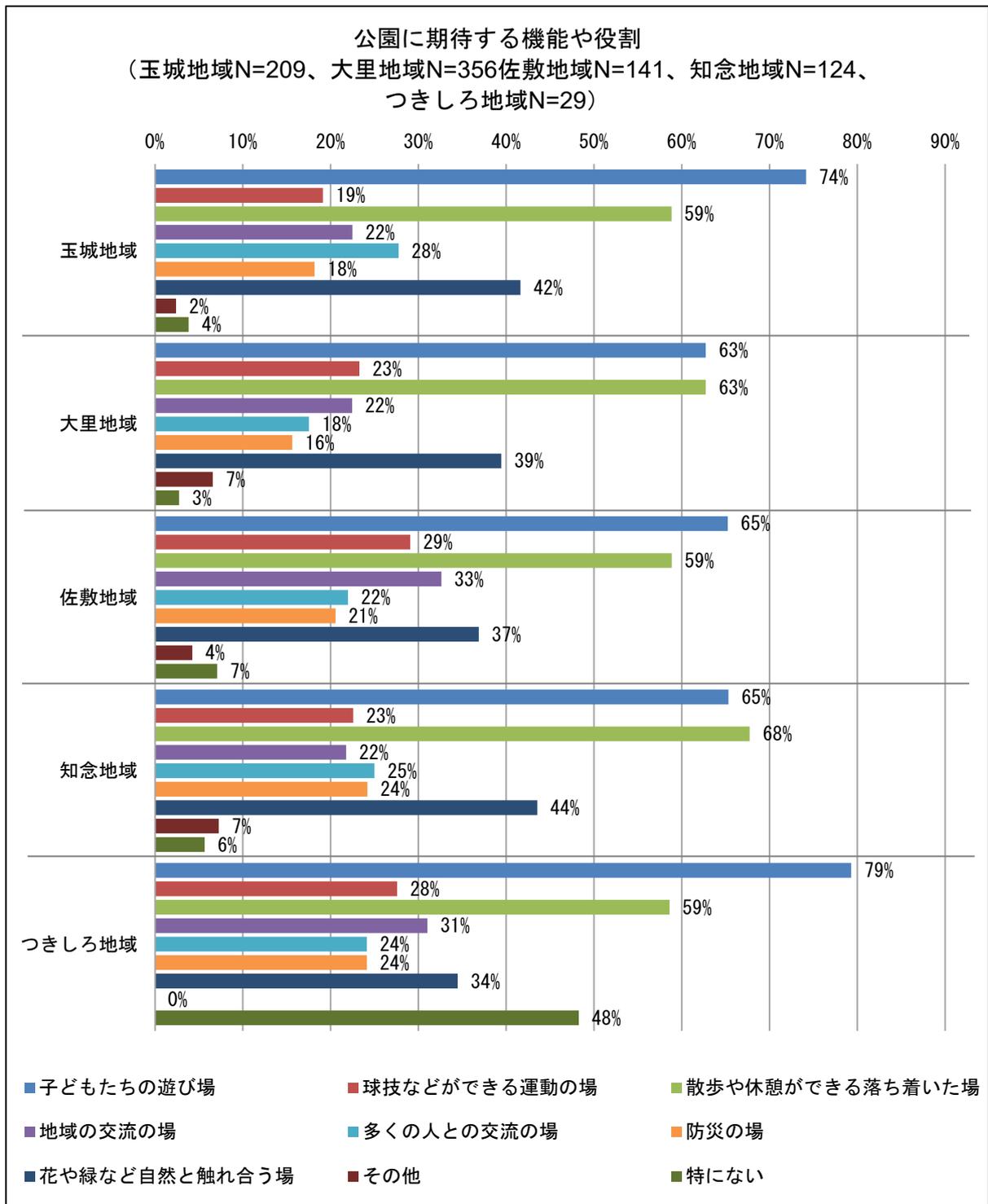
その他、大里内原公園は「球技などができる運動の場」、富祖崎公園は「地域の交流の場」と回答する人が多いです。



②居住地別

全ての地域において公園に対し「子どもたちの遊び場」「散歩や休憩ができる落ち着いた場」を求める人が多いです。

再編の対象となる公園がある地域の特徴として、大里地域は「散歩や休憩ができる落ち着いた場」、佐敷地域は「地域の交流の場」「球技などができる運動の場」としての機能を求める人が多いです。



5) 意見まとめ

公園を利用している人の満足度が低い理由、自由意見について整理しました。

①大里内原公園

■管理について

「草刈り等公園管理が行き届いていない」という意見が多く、「木が生い茂っているため入りづらい」という意見もあります。

■ナイターニーズについて

「学校部活動等の練習場所として日常的に利用しているため外灯を修理してほしい」や「ナイターの照明費用が安ければ利用したい」という意見があります。

■イベントについて

「イベントができるスペースが欲しい」という意見があり、市民の憩いの場としての機能について検討する必要があります。

■遊具・スポーツ憩いの場について

「既存のウォーキングコースや多目的広場の整備を行いより利用しやすいようにしてほしい」や「バスケットボールやテニス等屋外で行うスポーツ設備や子ども向けの遊具を充実させてほしい」という意見があります。

■トイレについて

「トイレの清掃・修繕がされていない」という意見が多いです。また、「公園を利用する上でトイレの整備は重要である」という意見もあります。

②富祖崎公園

■管理について

「草刈りが行われていない」、「外灯がなく暗い」という意見が多いです。

■遊具・スポーツ憩いの場について

「子どもたちが遊ぶ遊具や健康遊具がないため体力づくりやトレーニングができない」という意見があります。その他に、「テニスコートを利用したいが整備されておらず利用できない」という意見が多いです。

■トイレについて

「トイレが故障しており利用できない」という意見が多いです。

4. 体育施設利用者ヒアリング調査

「南城市スポーツ推進計画」の調査において各団体の具体的な利用状況を把握し、今後の活動の方向性や機能の代替についての可能性を探るため、次の12団体に対し個別にヒアリングを実施しました。その結果を体育施設の再編の視点から分析し重要な点だけをまとめると次のようになります。

対象	種目	利用頻度	施設名	施設の選定	代替施設	競技系/ レクリエーション系/ 健康維持系	満足度	改善点
成人	ミニバレー	週1回	南城市玉城総合体育館	初めから	どこでも	レクリエーション系/ 健康維持系	○	
成人	サッカー/ フットサル	週1回	南城市立佐敷小学校体育館	予約が取りやすい	×(予約が取れれば検討 離れていても可)	競技系	△	サッカーゴール等の設置
成人	フットサル	週1回	南城市立大里中学校体育館	出身者が多い	佐敷小学校	レクリエーション系	○	ゴールや窓の防御
成人	バスケット	週1回	南城市立大里南小学校体育館	大里在住者が多い	×	競技系/レクリエーション系/	(○)	
成人	バスケット	週1回	南城市立玉城中学校体育館	始め奥武出身者で始めたので	近場で3ポイント対応コートのある場所	競技系	○	鍵の貸しだしと返却が面倒
成人(比較的高齢)	社交ダンス 団体	週3回	南城市立大里北小学校体育館	大里農村環境改善センターでの練習の補完として	大里北小学校武道館	競技系	○	
成人	野球	月1~2回	南城市営新開球場	野球場としての広さ	知念屋外運動場	競技系	△	グラウンドコンディション不良の時あり
成人	野球	月2回 土日	南城市玉城野球場(新開球場が希望だが予約が取れないので)・南城市営新開球場	予約が取りやすい	富祖崎公園・知念屋外運動場	レクリエーション系	○	気にしていない
小中学校生・成人	陸上	週3回	南城市陸上競技場	-	-	競技系	○	芝のクオリティは最高
小学生	サッカー	週3回	南城市営新開野球場多目的広場(野球のマウンドはあるがちょうどいいサイズ)	以前から	佐敷小学校/馬天小学校(サッカーゴールがあるか?)	競技系	○	照明が野球用で暗い
小学生	野球	週3回	富祖崎公園陸上競技場(試合は新開球場で予約が取れない場合は相手側の球場)	以前から		競技系	△	水が出ない/球場から駐車場まで照明がない/定期的な草刈り必要
小学生	野球	週4回	南城市立大里南小学校運動場	大里南小学生が多いため	大里内原公園	競技系	△	ナイター設備が暗い/雑草が伸びてボールがなくなる

- ・ 成人の室内競技(バスケットボールなど)は自宅に近い小中学校の体育館を利用することが多い傾向にあります。
- ・ 野球を行っている成人の団体は練習試合が多い傾向にあり、南城市営新開球場の希望者が多いです。
- ・ 中高生の部活のバレーボール、バスケットボール等は小中学校の体育館の利用と市内体育施設を併用している可能性があります。
- ・ スポーツ少年団のサッカーは、大会は南城市陸上競技場で行い、普段の練習は南城市営新開多目的広場と南城市志喜屋漁港多目的広場を利用することが多い傾向にあります。

5. 体育施設利用者アンケート調査

(1) 調査概要

調査期間 令和2年12月10日(木)～令和3年1月4日(月)

調査対象 ・南城市内の体育施設利用者登録をしている団体・個人への郵送102通
(団体84通、個人18通)

・トレーニング室や陸上競技場等の誰でも利用できる施設の券売機横でのポスター掲示による募集

調査項目 ・体育施設を利用している概要(種目、年齢、目的)

・利用している体育施設について(場所、日時、理由、頻度、感想、満足度、改善点、利用できない場合の代替施設)

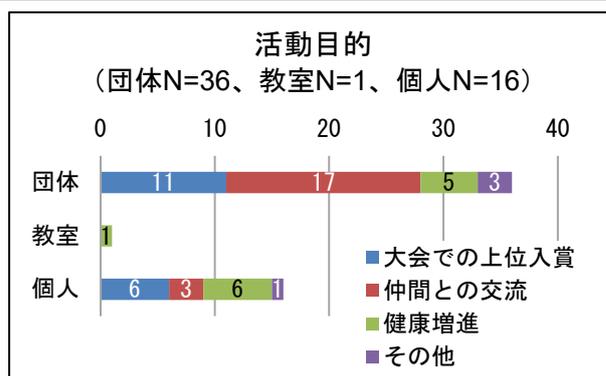
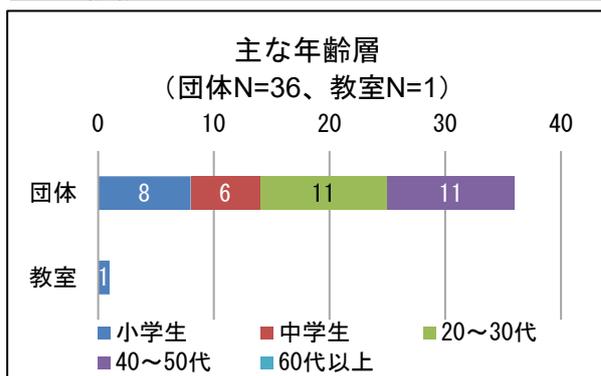
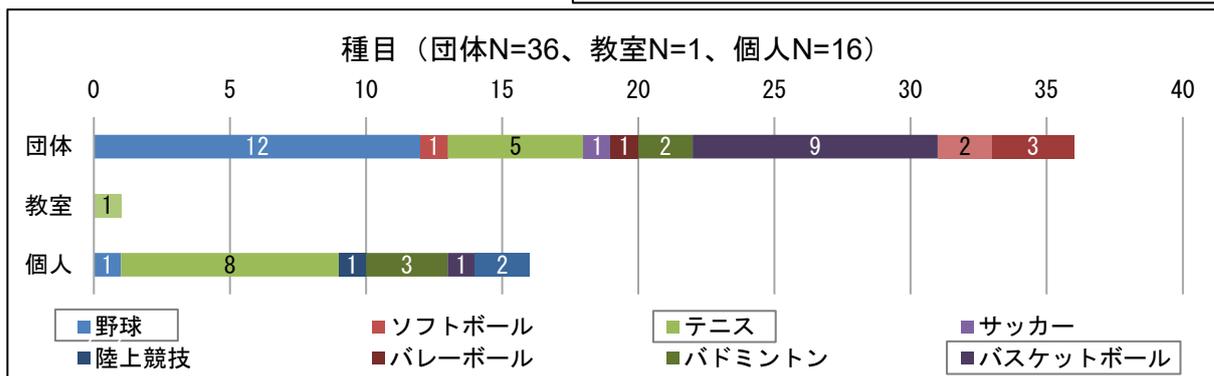
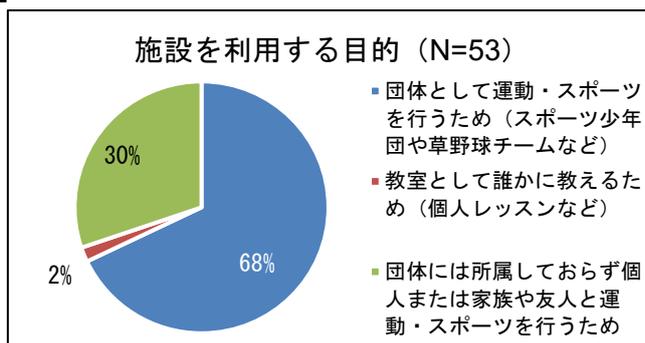
回収結果 回答数53通(回収率50%)

※回収率は郵送数と個人で行っている種目として「陸上競技」「筋力トレーニング」と回答した方をポスター掲示からの回答と推測し算出しています。

(2) 調査結果(単純集計)

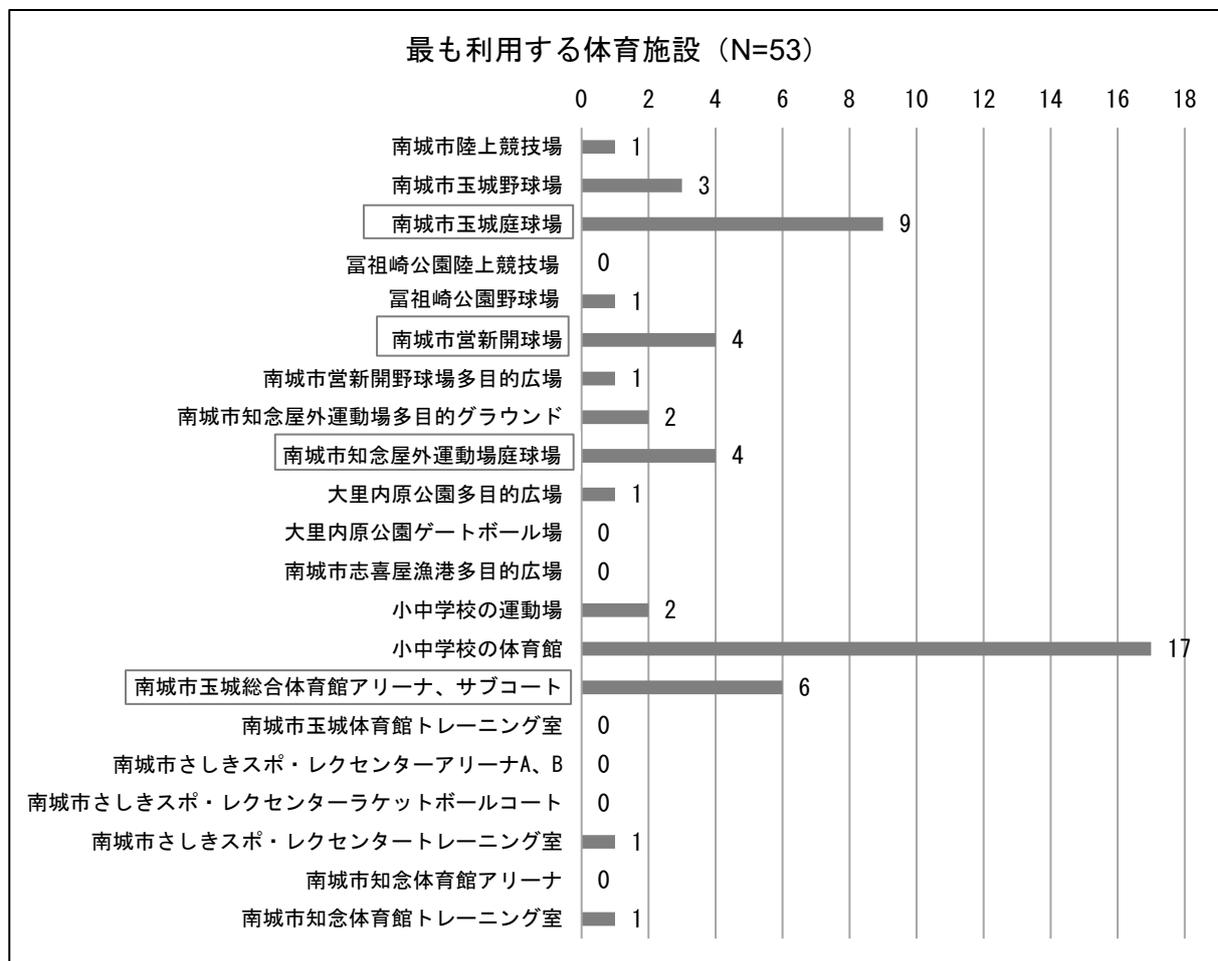
1) 利用者登録をしている団体・個人の属性

スポーツ少年団など団体として運動やスポーツを行う方々の回答が約7割を占めています。行っている種目の内訳は、団体利用では野球やバスケットボールが多く、個人利用ではテニスが多いです。



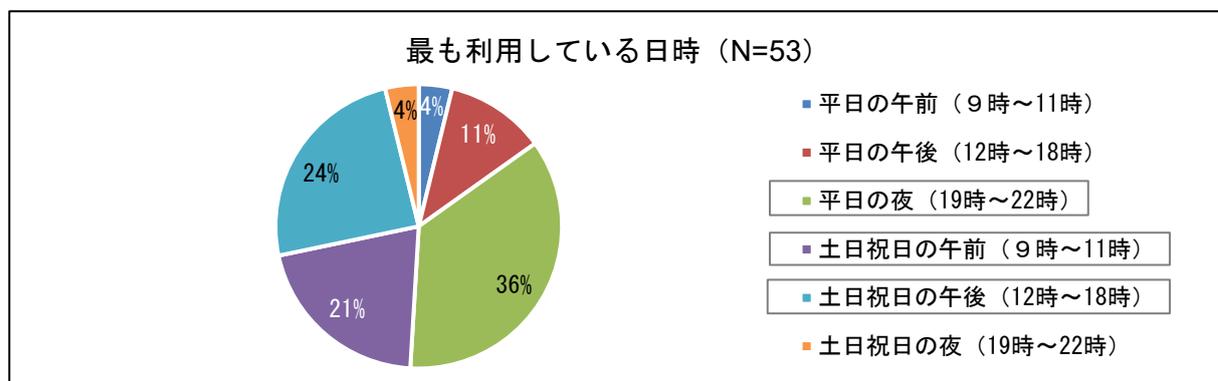
2) 最も利用する体育施設

最も利用する施設は、「南城市玉城庭球場」「南城市玉城総合体育館アリーナ、サブコート」「南城市営新開球場」「南城市知念屋外運動場庭球場」が多いです。



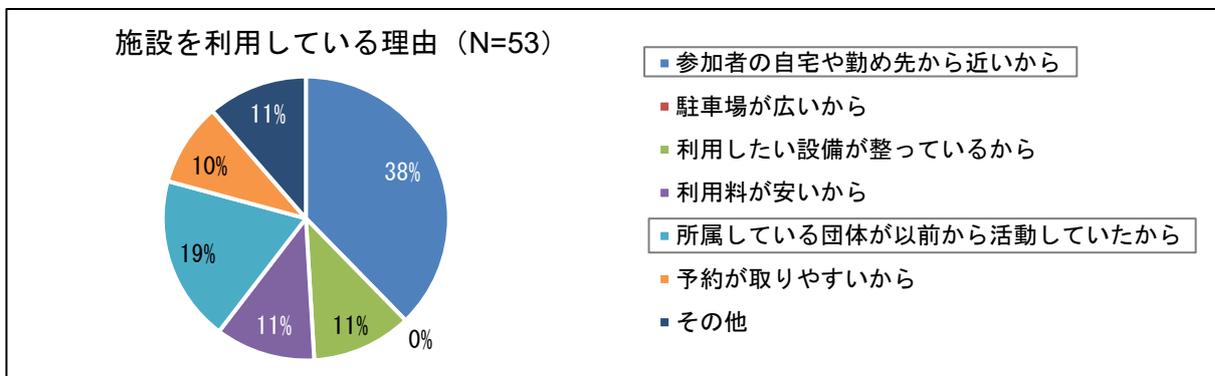
3) 体育施設を最も利用している日時

施設を利用している日時は、平日の夜が約4割と最も多く、土日祝日の利用は午前と午後合わせて全体の約5割を占めています。



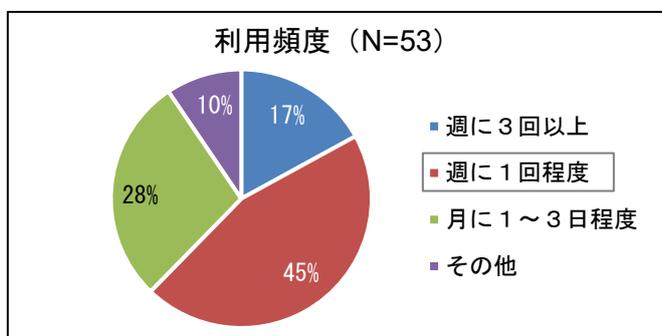
4) 体育施設の利用理由

最も利用している施設の利用理由として「参加者の自宅や勤め先が近いから」「所属している団体が以前から活動していたから」が約6割を占めています。



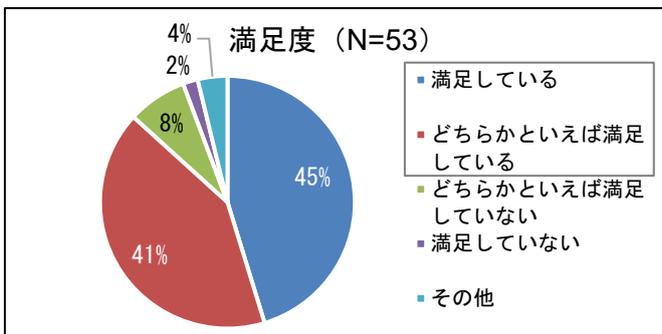
5) 体育施設の利用頻度

施設の利用頻度は「週に3回以上」「週に1回程度」が半数以上を占めており、利用者が固定化している可能性が考えられます。



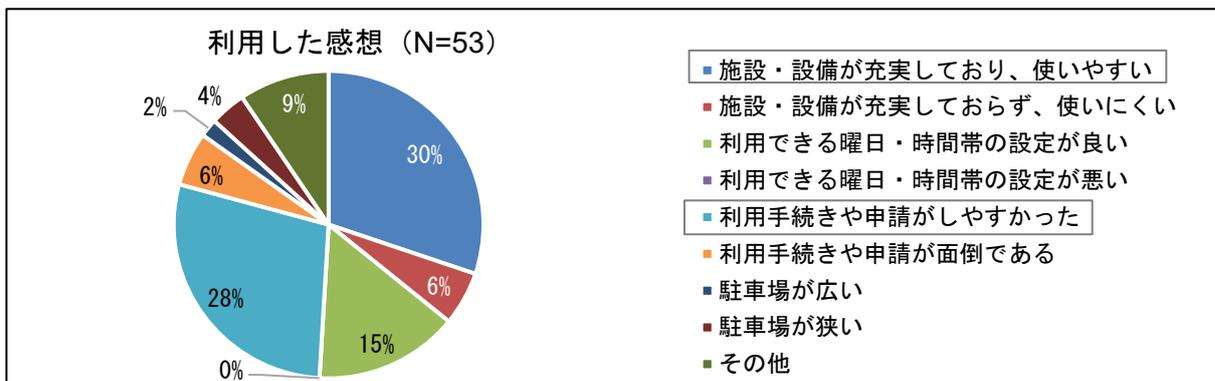
6) 体育施設の満足度

施設の満足度は「満足している」「どちらかといえば満足している」が約9割で利用者の満足度は高いといえます。



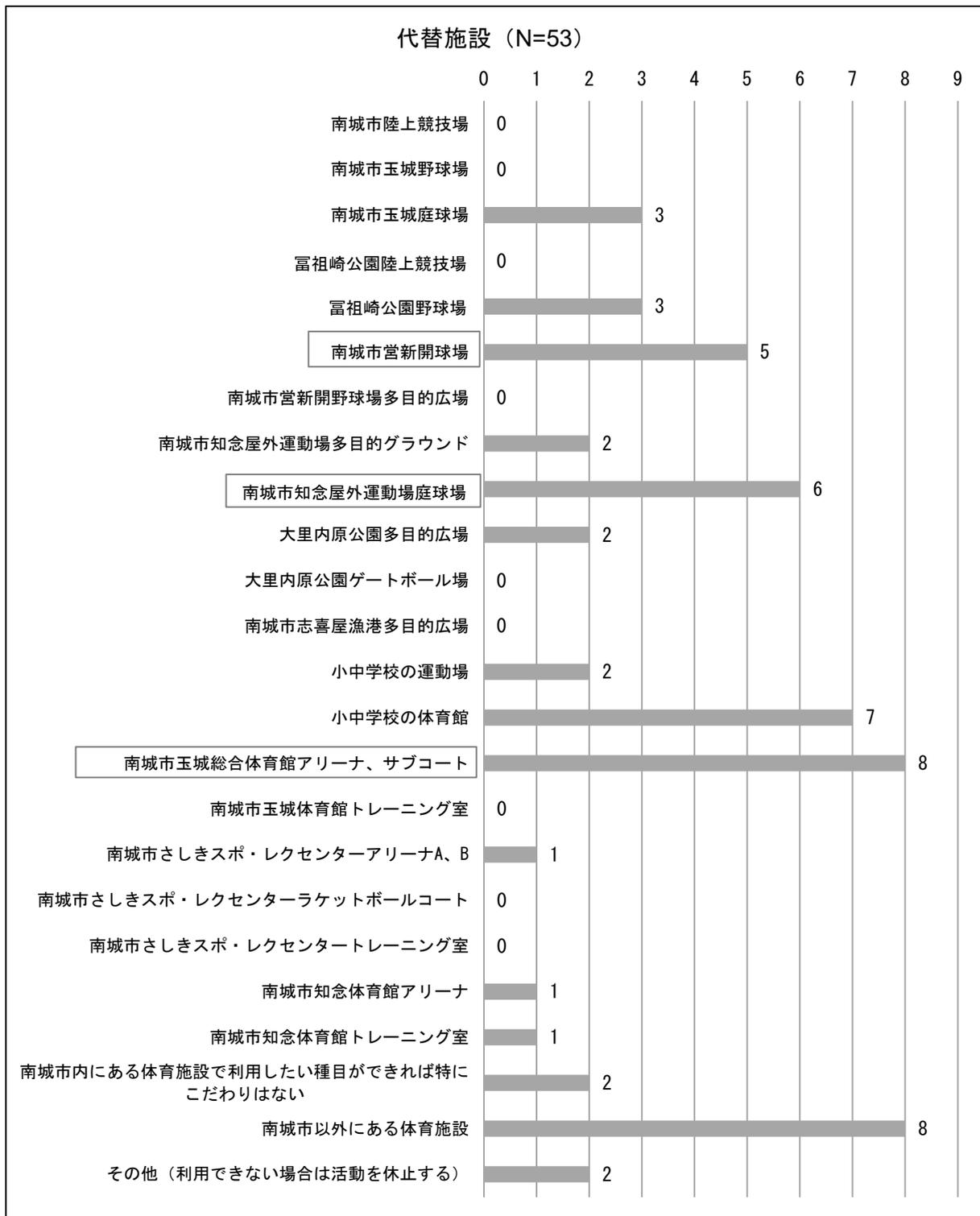
7) 体育施設を利用した感想

施設を利用した感想として「施設・設備が充実しており、使いやすい」「利用手続きや申請がしやすかった」がそれぞれ約3割となりました。また、駐車場に対する選択肢への回答が少ないことから、利用者が施設選定する際の大きな要素ではないことが考えられます。



8) 現在利用している施設が利用できなくなった場合の代替施設

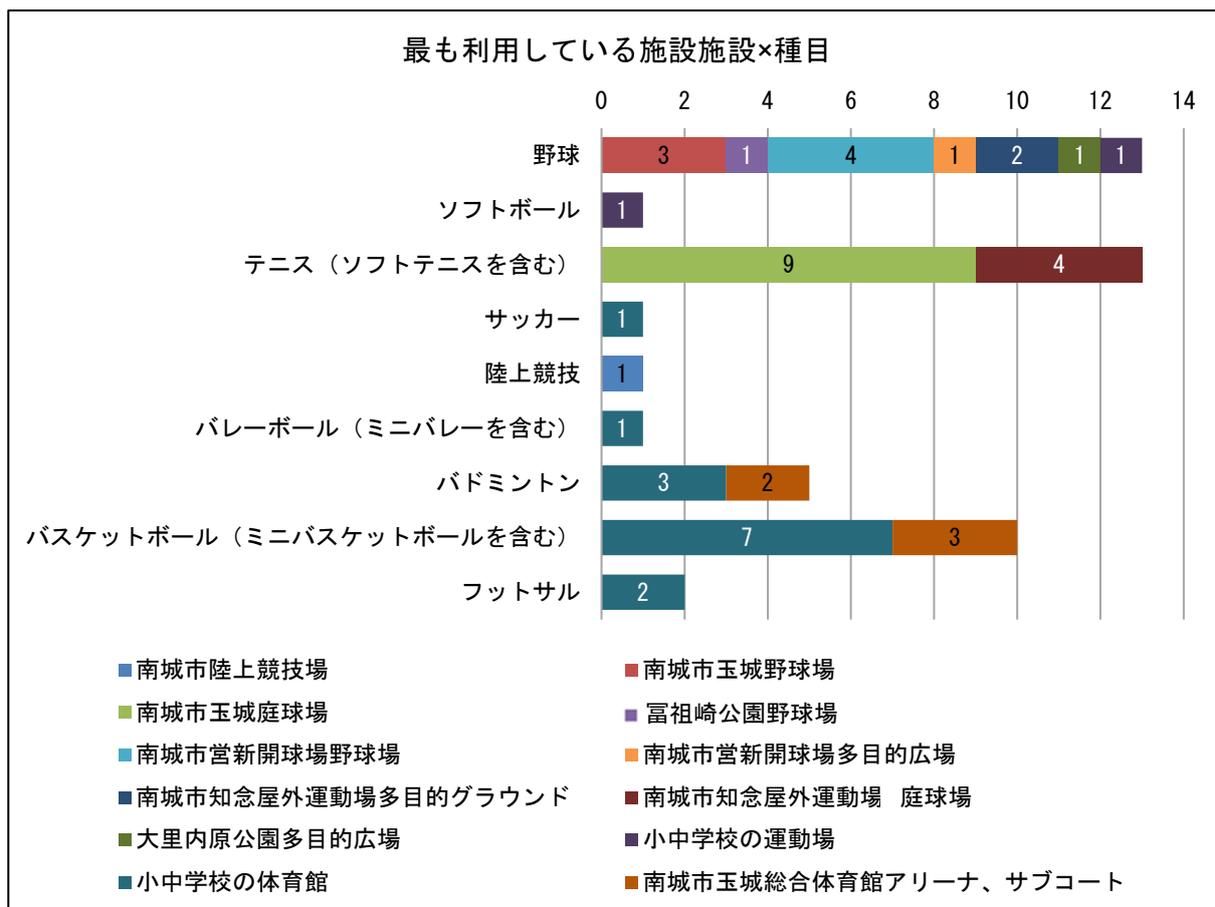
現在利用している施設が利用できなくなった場合の代替施設として、「南城市玉城総合体育館アリーナ、サブコート」「南城市知念屋外運動場庭球場」「南城市営新開球場」と回答する団体や個人が多く、現在利用している施設の質問項目で回答の多かった施設が代替施設の候補としても検討される傾向にあります。



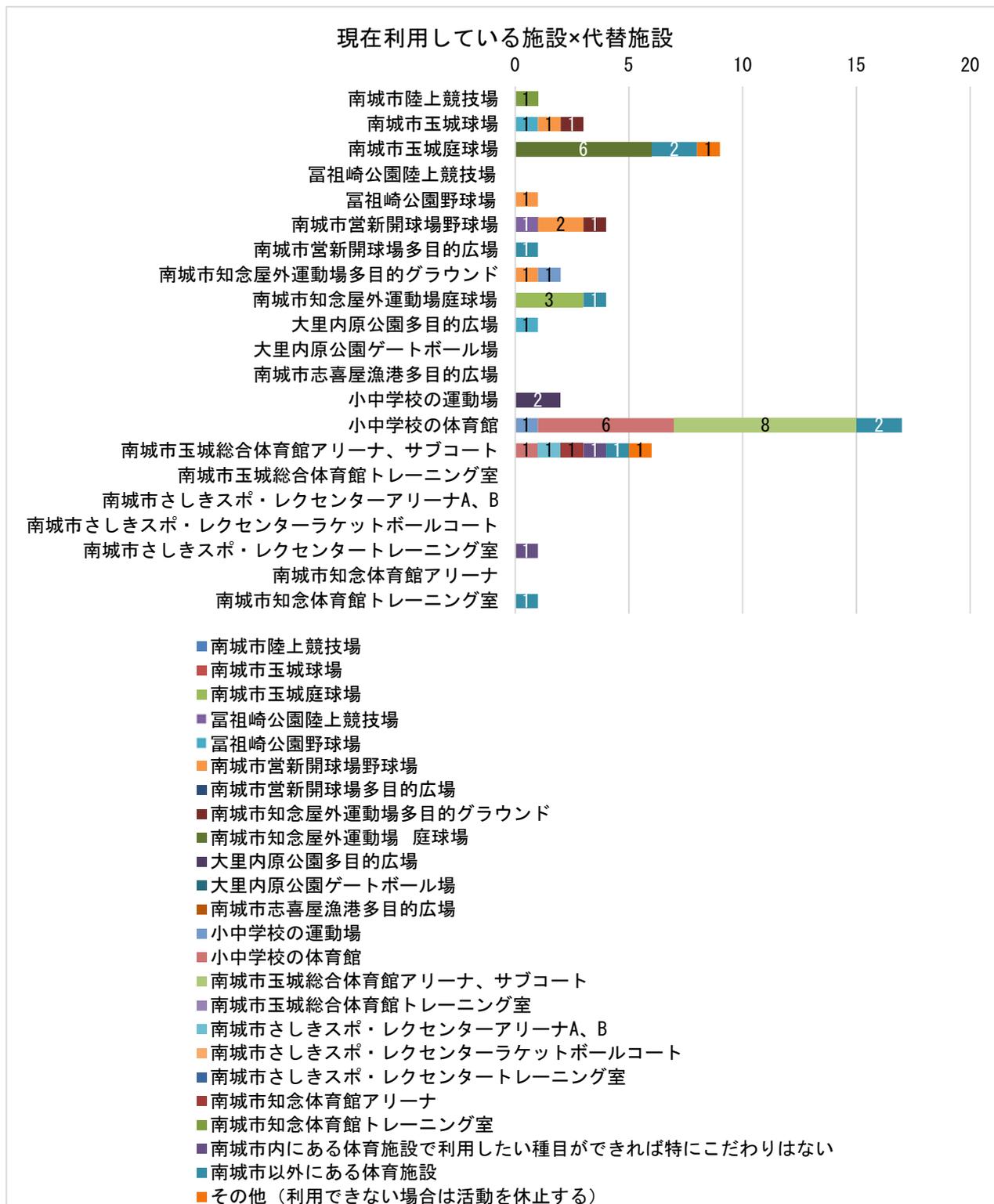
(3) 調査結果 (クロス集計)

1) 最も利用している施設×種目、代替施設

利用登録をしている団体が実施している種目と施設をクロス集計したところ、野球・ソフトボールは主に「南城市玉城野球場」「南城市営新開球場」「南城市知念屋外運動場」に分散して利用されていることがわかりました。また、野球などの屋外競技は本市が管理運営している体育施設を利用している団体が多いのに対し、バドミントンやバスケットボールなどの屋内競技は市内にある小中学校の体育館を利用している団体が多い傾向にあります。

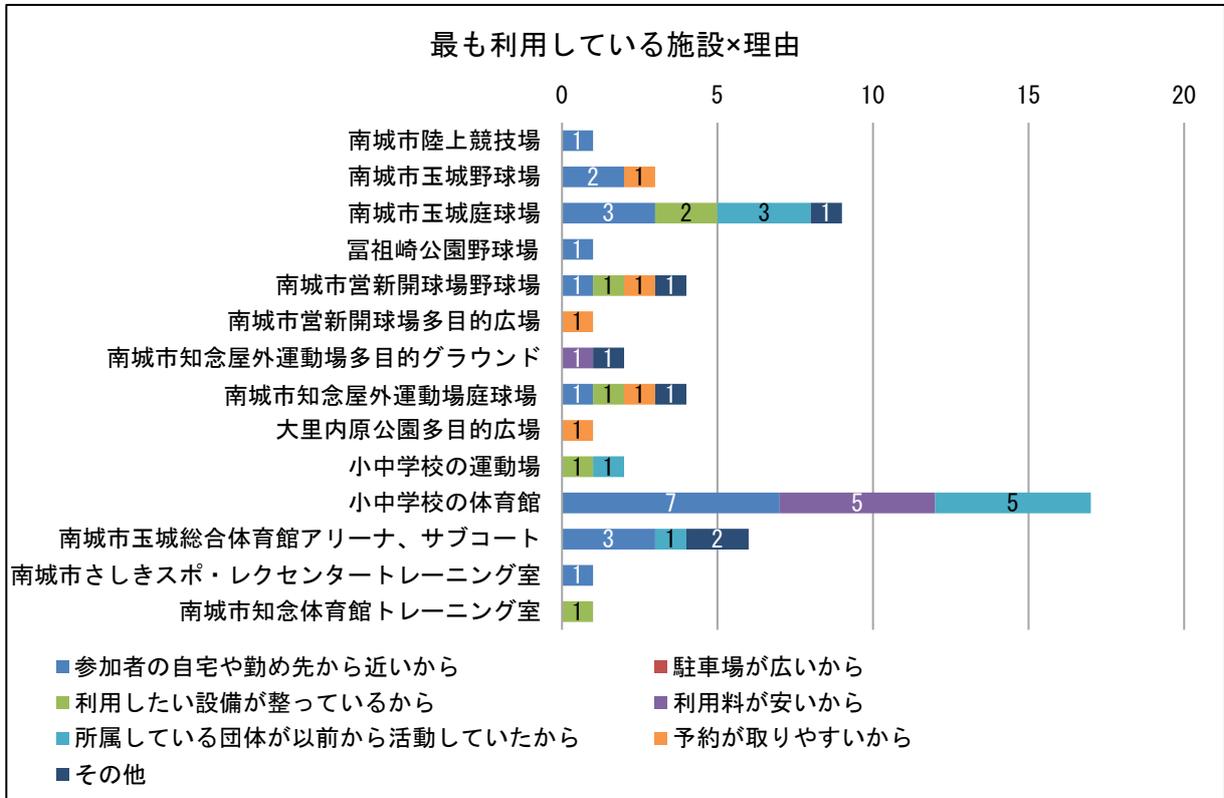


現在利用している施設とその代替施設については、バスケットボール、バドミントン、フットサルは12団体が「小中学校の体育館」、5団体が「南城市玉城総合体育館」を利用しており、互いの施設を代替施設として利用することを検討されています。また、テニスは「南城市玉城庭球場」と「南城市知念屋外運動場テニスコート」2か所に分割され、利用者は互いの施設を代替施設として利用することを検討されています。



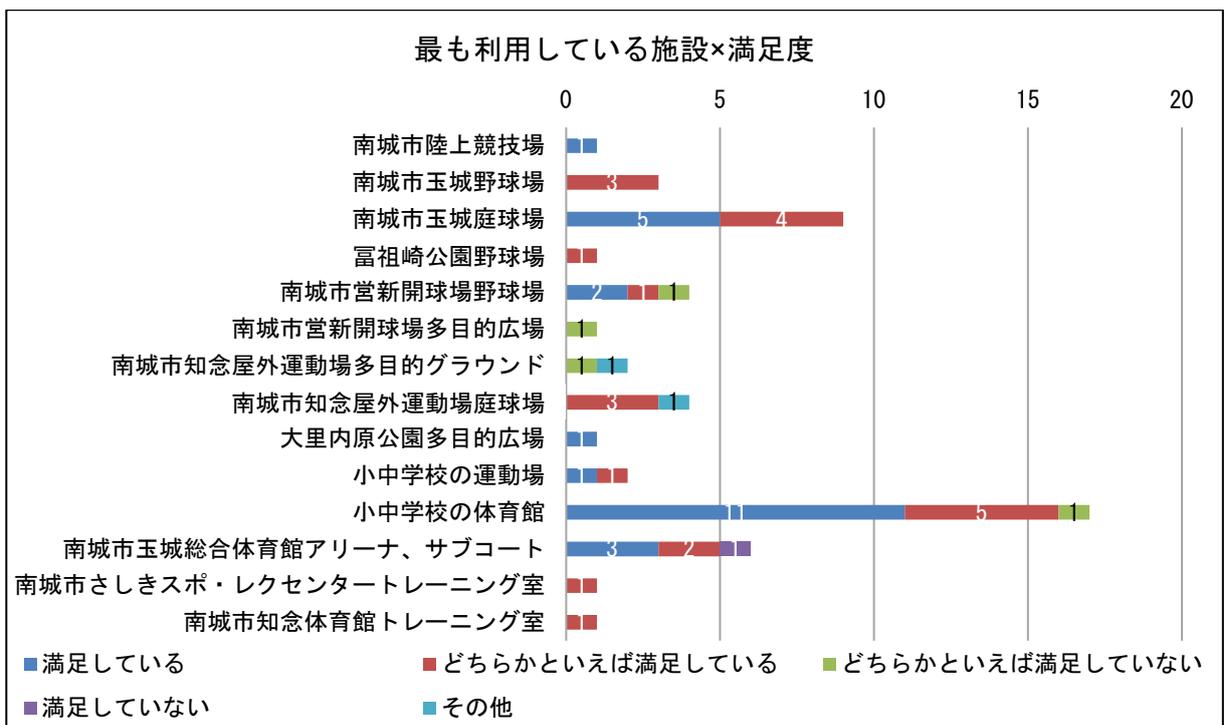
2) 最も利用している施設（アンケート回答がある施設のみ）×理由

小中学校の体育館利用の理由としては「体育館は自宅や勤務先に近い」「利用料が安い」「以前から利用」の3つがほぼ同数意見でした。



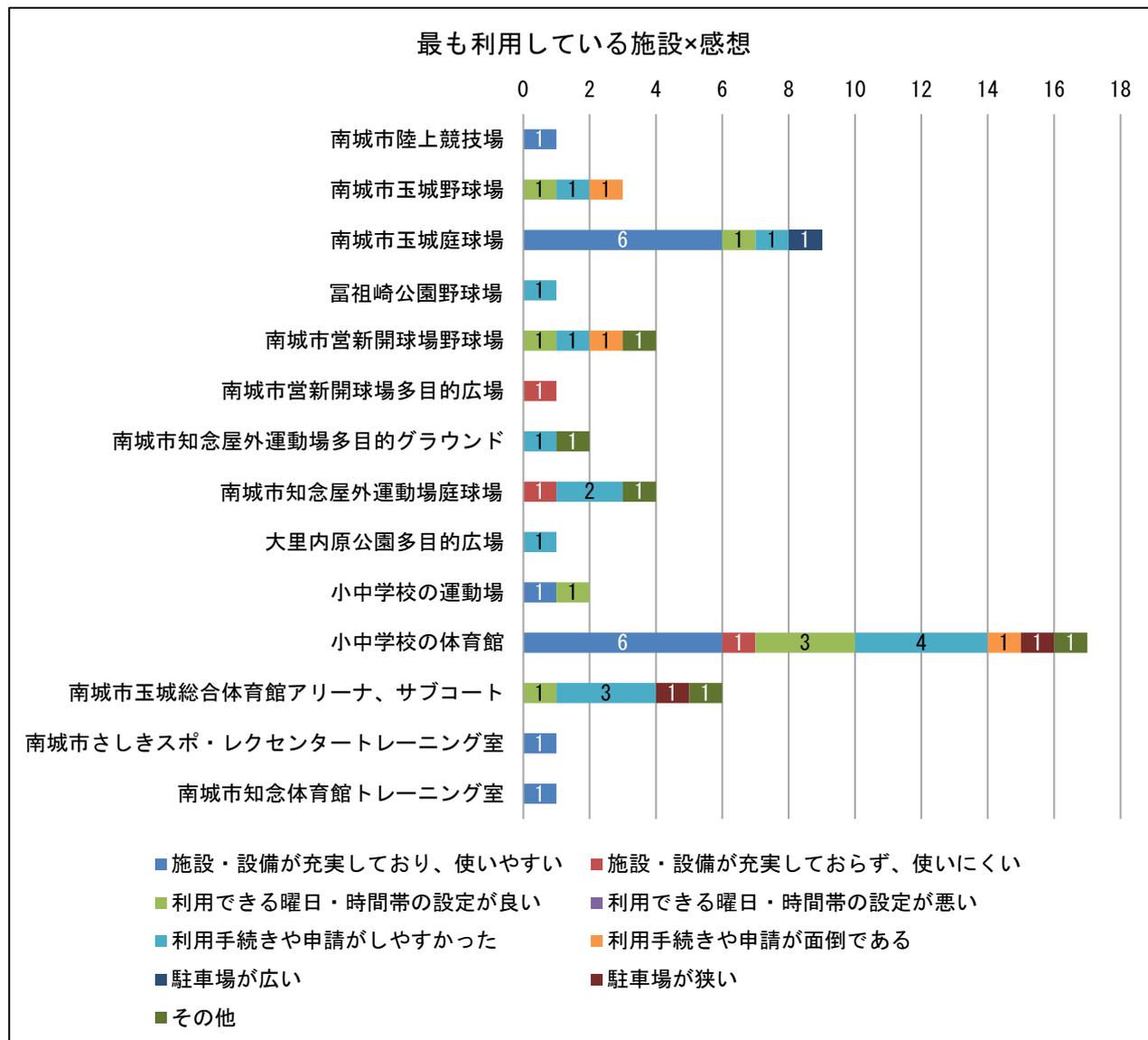
3) 最も利用している施設×満足度

施設別の満足度については、各施設とも満足している利用者が多いです。



4) 最も利用している施設×感想

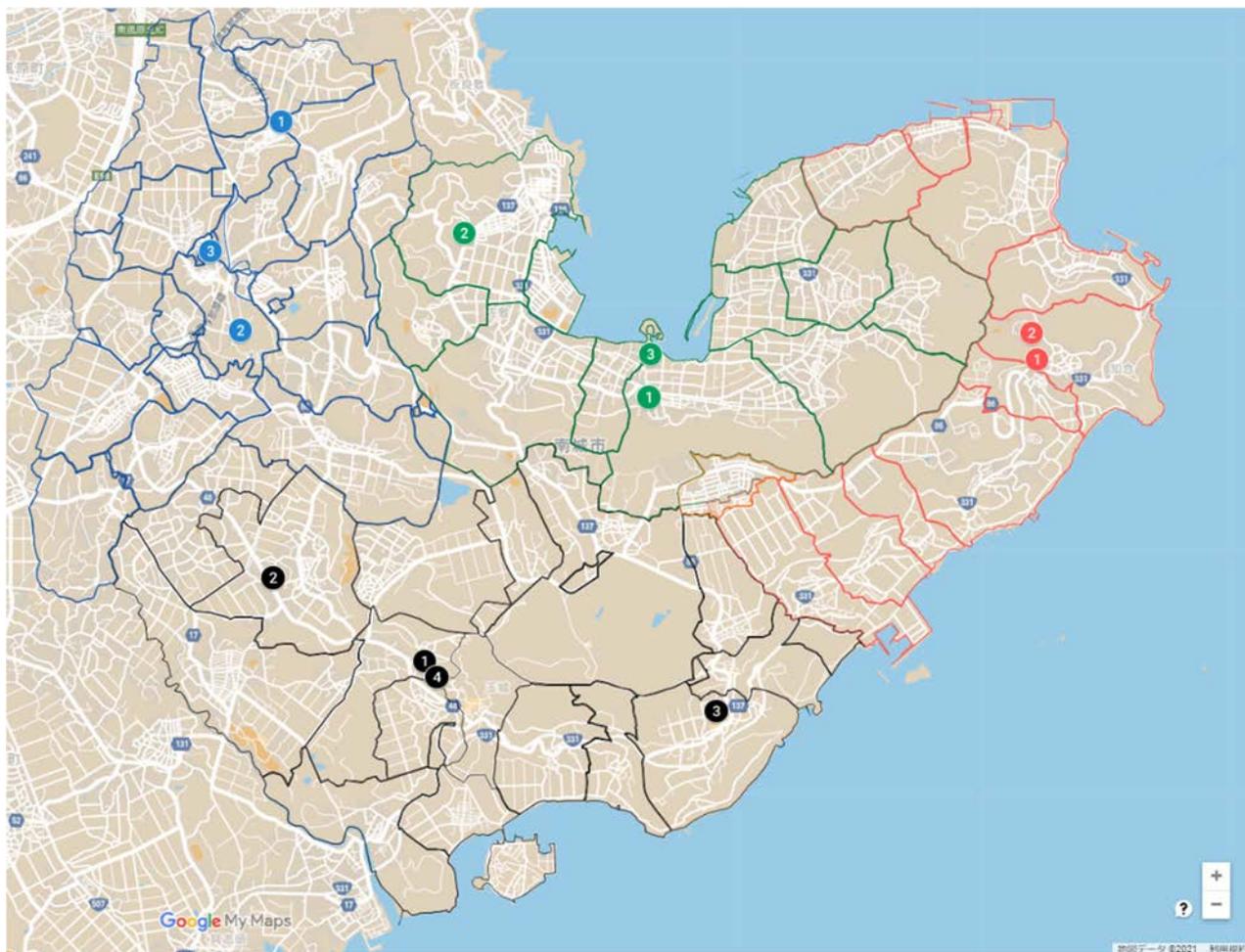
単純集計で回答の多かった「施設・設備が充実しており、使いやすい」と「利用手続きや申請がしやすかった」について、「施設・設備が充実しており、使いやすい」と回答している人は玉城庭球場と小中学校の体育館の利用者に集中しており、「利用手続きや申請がしやすかった」は様々な施設の利用者が回答しています。



6. 小中学校体育館利用状況

(1) 小中学校体育館の配置

市内にある小中学校の配置は以下の通りです。



玉城地区	佐敷地区
① 南城市立玉城小学校	① 南城市立佐敷小学校
② 南城市立船越小学校	② 南城市立馬天小学校
③ 南城市立百名小学校	③ 南城市立佐敷中学校
④ 南城市立玉城中学校	知念地区
大里地区	① 南城市立知念小学校
① 南城市立大里北小学校	② 南城市立知念中学校
② 南城市立大里南小学校	
③ 南城市立大里中学校	

(2) 稼働時間数の分析

南城市の「公共施設予約システム」から予約された体育施設の利用内容について分析を行いました。ただし、運動場は稼働率が低いため体育館のみの分析を行いました。

対象期間 2018年4月～2019年3月

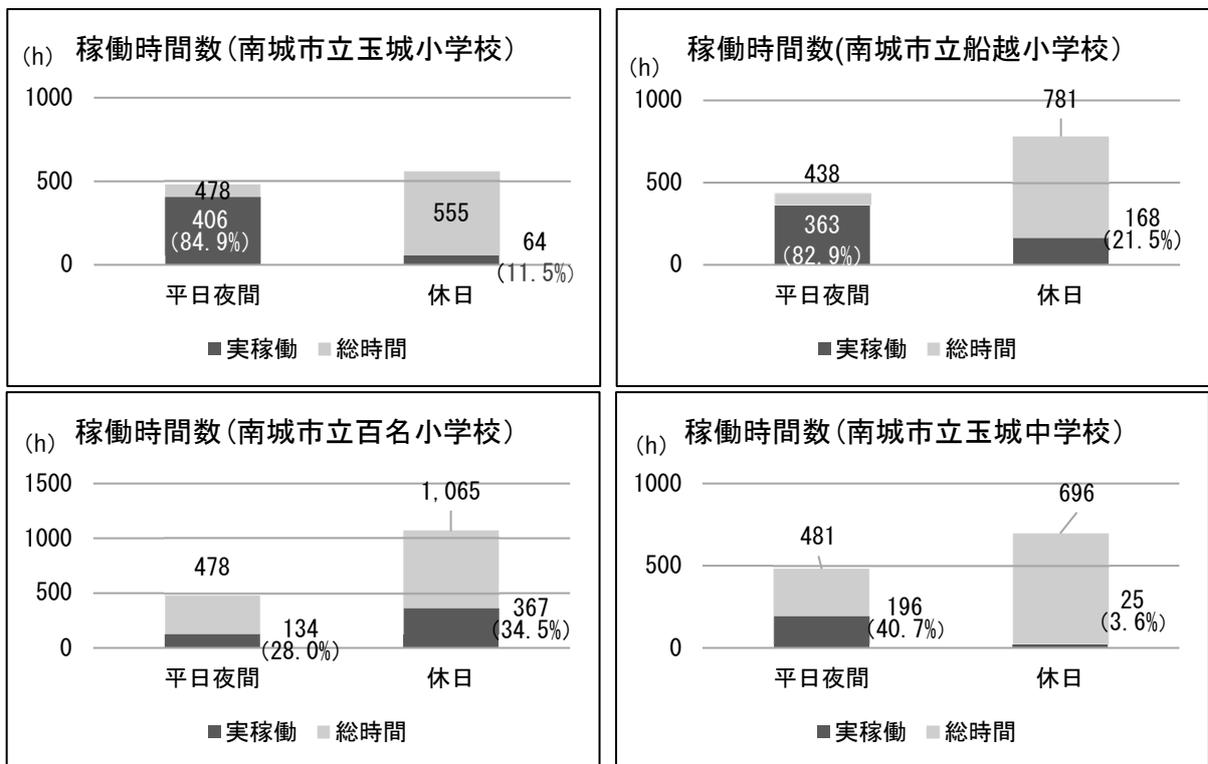
(2019年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を閉鎖していた期間があるため2018年度のデータを分析)

(3) 分析概要

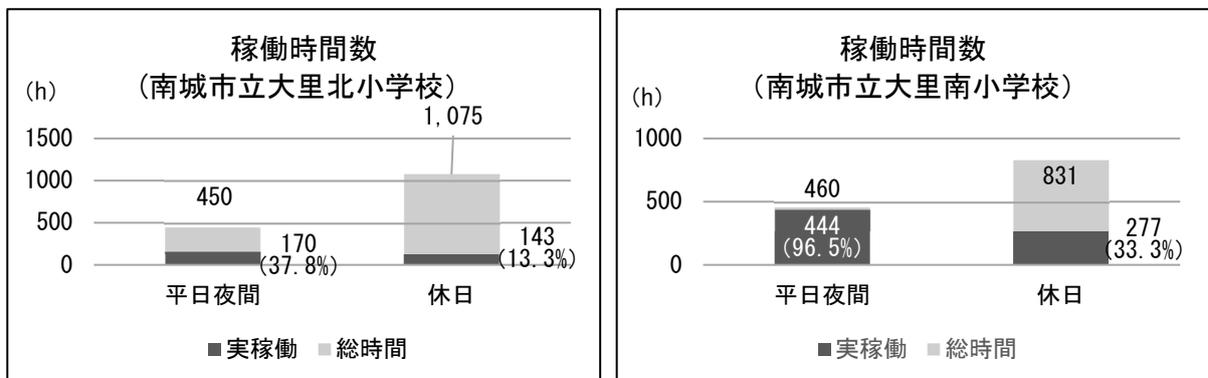
休日よりも平日夜間の方が稼働している時間数が多い施設が多い傾向にあります。

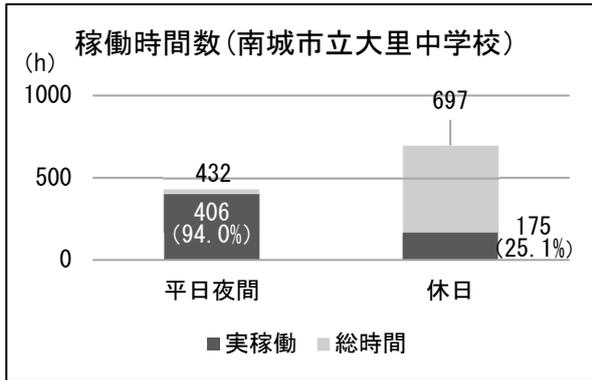
知念地区にある学校体育館の利用は平日休日ともに低く、知念中学校は利用されていません。

①玉城地区

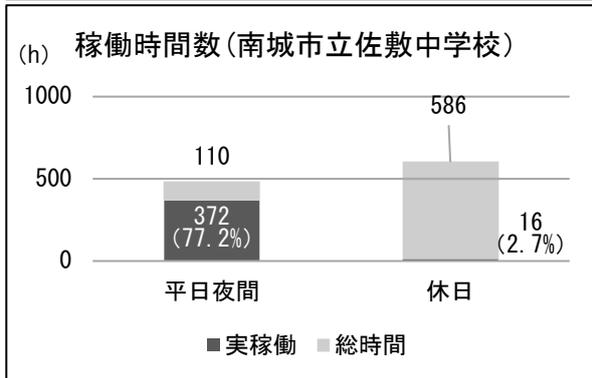
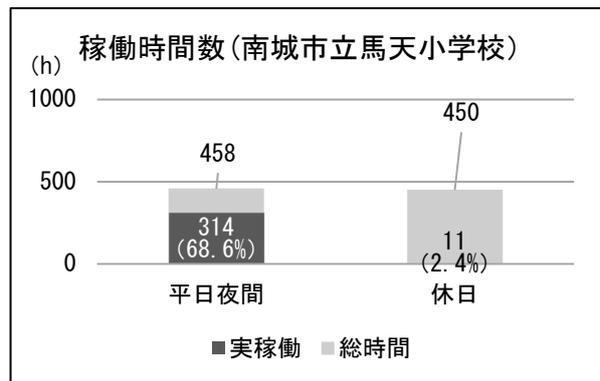
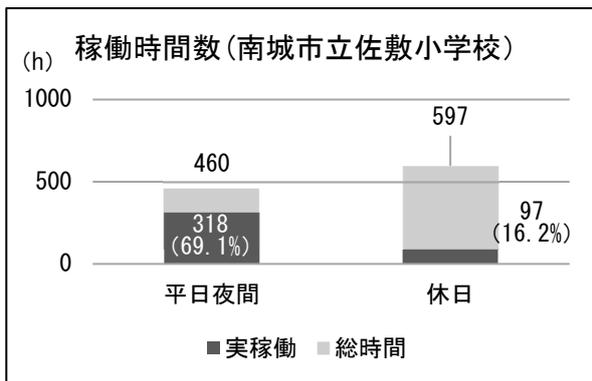


②大里地区

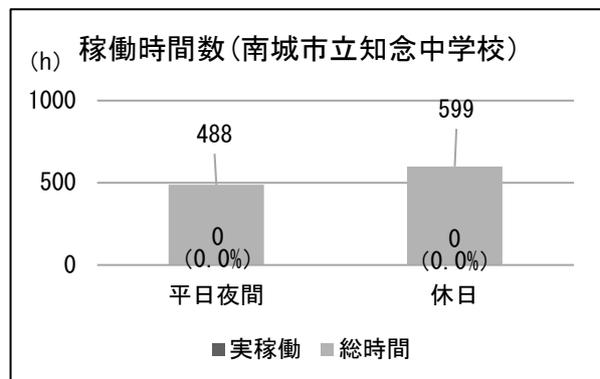
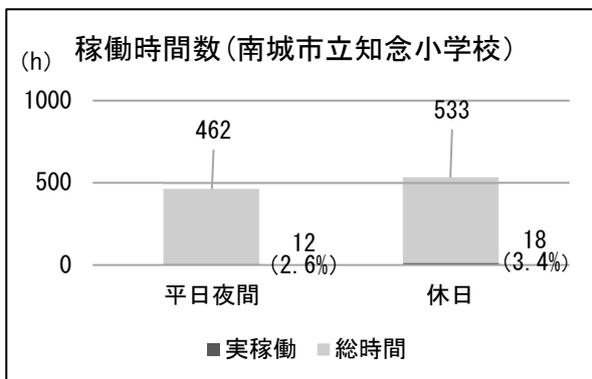




③佐敷地区



④知念地区





第2章 将来利用需要の検討

1. スポーツ人口及びスポーツ参加者数

スポーツ種目の人口は時代により変化するものです。そこで、近年のスポーツ人口（年1回以上そのスポーツをした推計値）を笹川スポーツ財団の「スポーツ活動に関する全国調査2018年度」と種目別の南城市体育施設利用者登録団体数、スポーツ少年団、中学校の運動部に所属している児童生徒の数から現状のスポーツ需要について把握します。

(1) 全国のスポーツ人口（年1回以上スポーツの実施率）

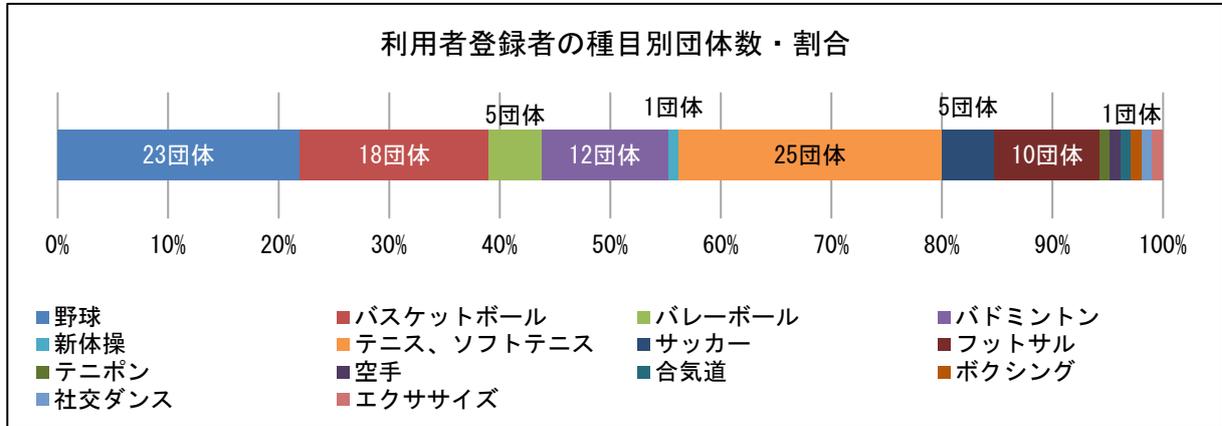
全国的なスポーツ種目別推定実施人口をみると「ウォーキング」の実施率が最も高く、「ジョギング・ランニング」「サッカー」「バスケットボール」の実施率も年々増加傾向にあります。

スポーツ種目	推計実施人口	実施状況の傾向
1. ウォーキング	2,655万人	実施人口が年々増加傾向
2. ジョギング・ランニング	964万人	実施人口が年々増加傾向
3. 卓球	581万人	実施率が減少傾向だったものの2016年以降再び増加傾向
4. バドミントン	519万人	2010年に実施率が急増したものの再び減少傾向
5. サッカー	436万人	2000年以降、年1回以上の実施率は増加傾向
6. 野球	384万人	2000年以降、年1回以上の実施率は減少傾向
7. テニス	343万人	競技全体の実施人口はやや減少傾向、高齢者の実施率は増加傾向
8. バレーボール	290万人	2000年以降、年1回以上の実施率は減少傾向
9. バスケットボール	218万人	2000年以降、実施率はやや増加傾向

(2) 市内のスポーツ人口

1) 利用登録者の種目別団体数 (スポーツ少年団、中学校の運動部を含む)

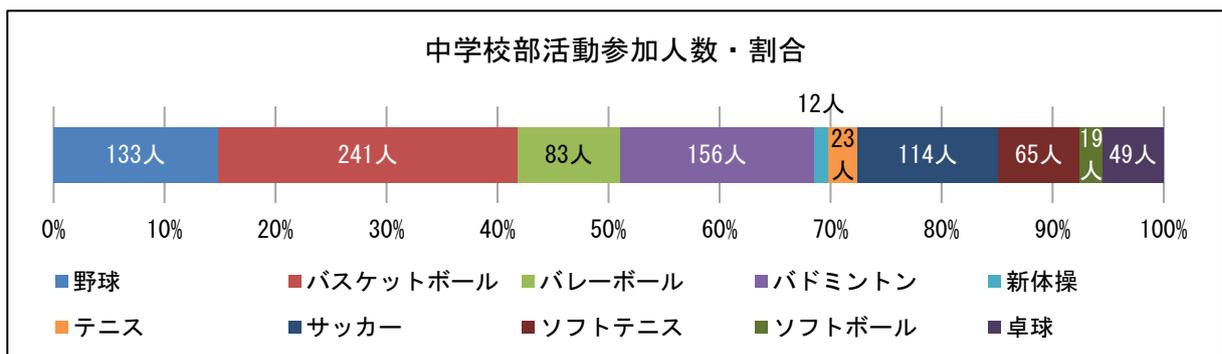
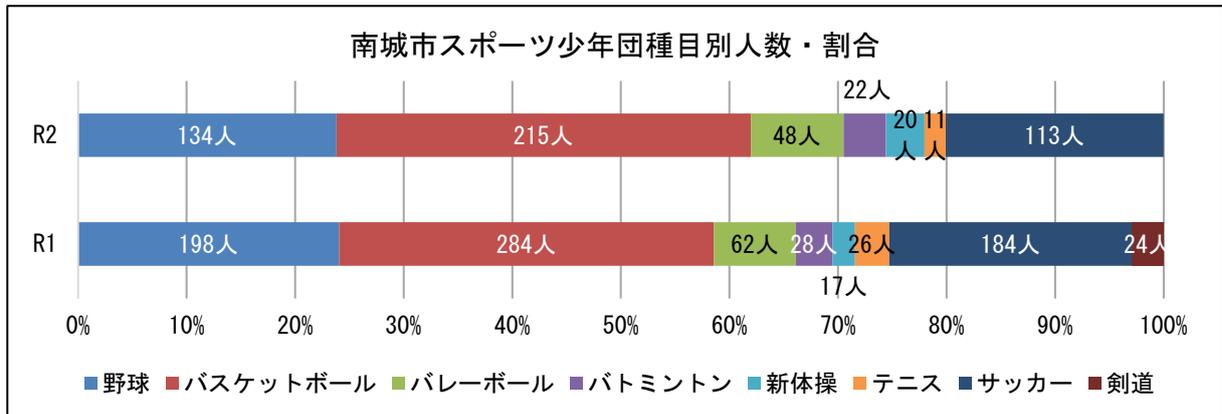
利用者登録をしている団体が行っている種目は、屋外では「野球」「テニス、ソフトテニス」、屋内では「バスケットボール」「バドミントン」「フットサル」が多いです。



2) 小中学生のスポーツ人口

スポーツ少年団や中学校の運動部に所属している児童生徒の人数から子どものスポーツ人口について整理しました。スポーツ少年団については新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の影響で登録を更新していない団体もあるため、令和元年度の人数も参考として整理しました。

スポーツ少年団、中学校の運動部ともに「野球」「バスケットボール」「サッカー」の人気の高いです。また、「バドミントン」「ソフトテニス」「卓球」はスポーツ少年団と比べ中学校での参加人数が増加しています。



2. 各施設の周辺人口

体育施設や公園の利用者数が周辺の人口規模や人口構成に大きく影響されることから、「地図で見る統計（jSTAT MAP）」による平成 27 年国勢調査の統計からそれぞれの体育施設の中心から半径 1 km の範囲の人口規模と人口構成、さらに将来人口構成を半径 1 km が含まれるメッシュ人口の合計について分析しました。

各地区の分析結果は次のとおりです。

地区名	現状の人口規模・構成（平成 27 年）	将来の人口構成
玉城地区	1,700 人規模で中程度 0～19 歳、30～40 歳代が多い	年少人口が減少傾向
大里地区	4,500 人規模は 5 地区で最大 市全体と同様の年齢層	年少人口・老年人口が増加傾向
新開地区	4,000 人規模で 2 番目 15 歳～24 歳、40～50 歳代が多い	年少人口増加傾向
佐敷・富祖崎地区	1,300 人規模で少ない 高齢化・20～30 歳代が少ない	年少人口・老年人口が増加傾向
知念地区	1,300 人規模で少ない 高齢化・20～40 歳代が少ない	5 地区の中で最小人口規模 老年人口増加傾向





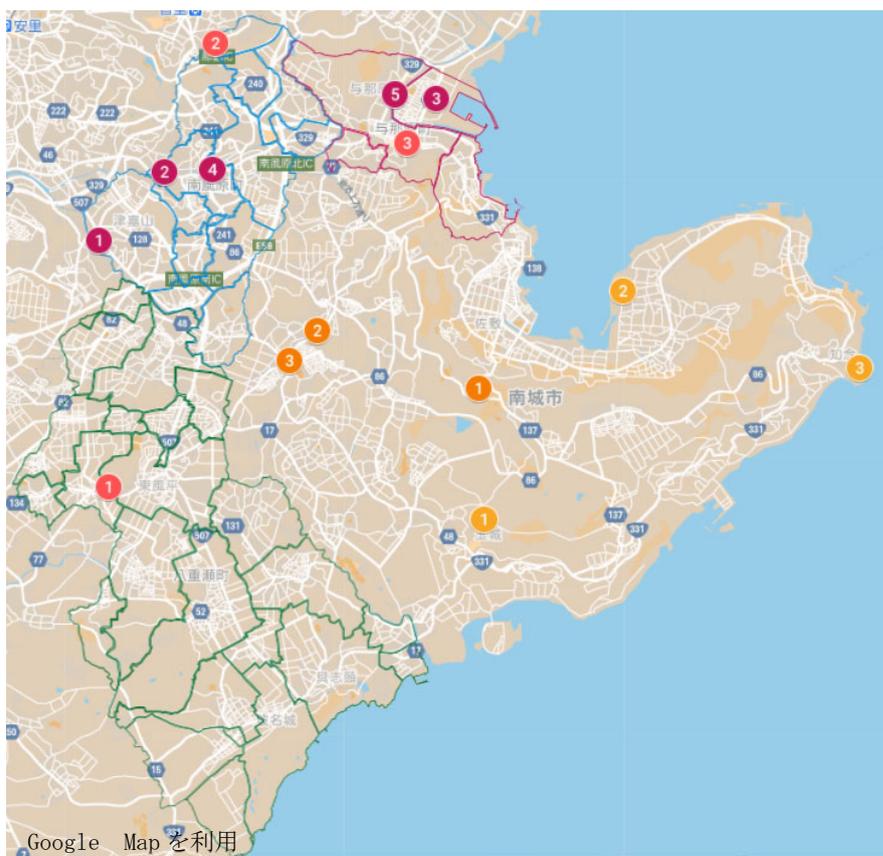
3. 隣接の体育施設状況及びアクセス条件

(1) 隣接する自治体の体育施設

利用状況調査等において稼働状況が低い体育施設については機能の見直しの対象となる可能性があるため、周辺及び市内の民間施設等の類似施設を調査し機能の代替の可能性を検討しました。

1) トレーニング室

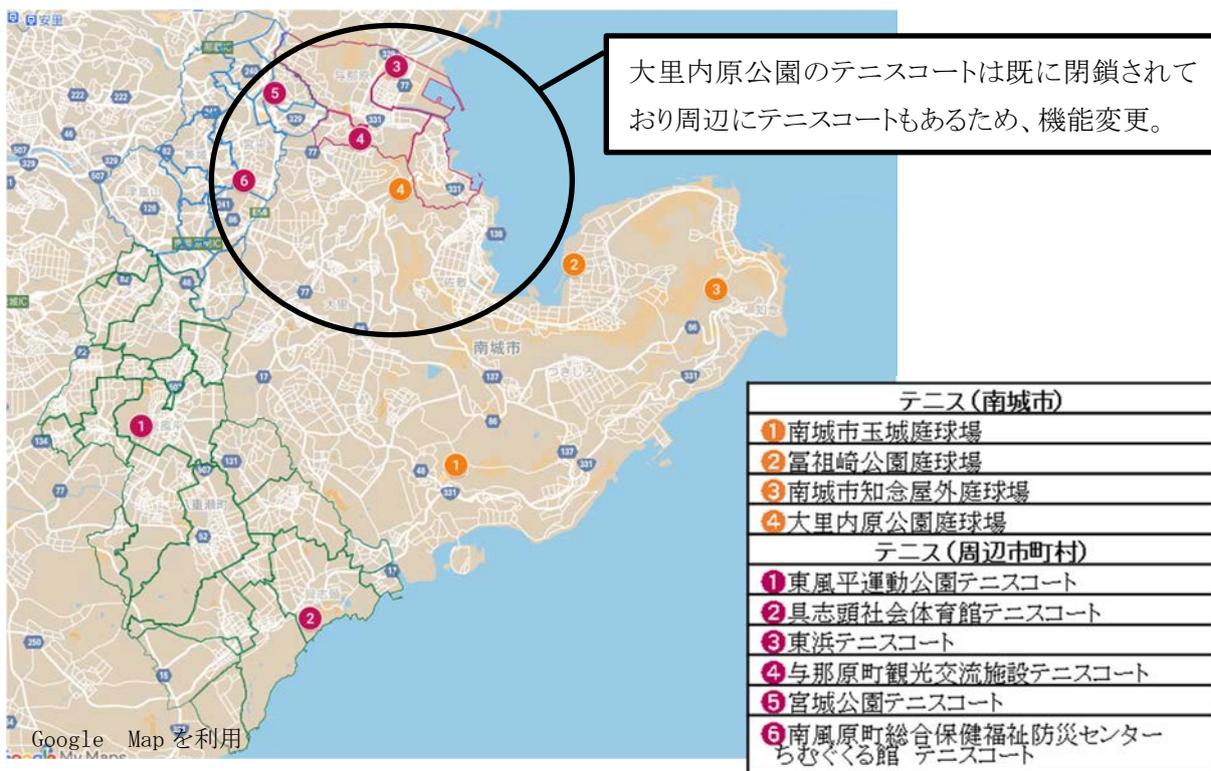
隣接する自治体にはそれぞれ公共トレーニング場や民間のスポーツジム・フィットネス等もありますが、距離が遠いことから代替となる可能性は低いと考えられます。また、市内にある3か所の民間類似施設は、利用料金が対象施設とは差があるため機能の代替の可能性は低いと考えられます。



スポーツジム・フィットネス(南城市内民間)		スポーツジム・フィットネス(周辺市町村)	
① ユインチホテル南城ペアール	② エニタイムフィットネスイオンタウン南城大里店	③ カープス南城大里	④ LOCHE GYM
南城市トレーニング室		トレーニング場(周辺市町村)	
① 南城市玉城総合体育館トレーニング室	② 南城市さしきスポ・レクセンタートレーニング室	③ 南城市知念体育館トレーニング室	⑤ YFG (ゆいまーるフィットネスジム)
			① 東風平運動公園トレーニング施設
			② 環境の杜ふれあいトレーニングルーム
			③ 与那原町観光交流施設トレーニング室

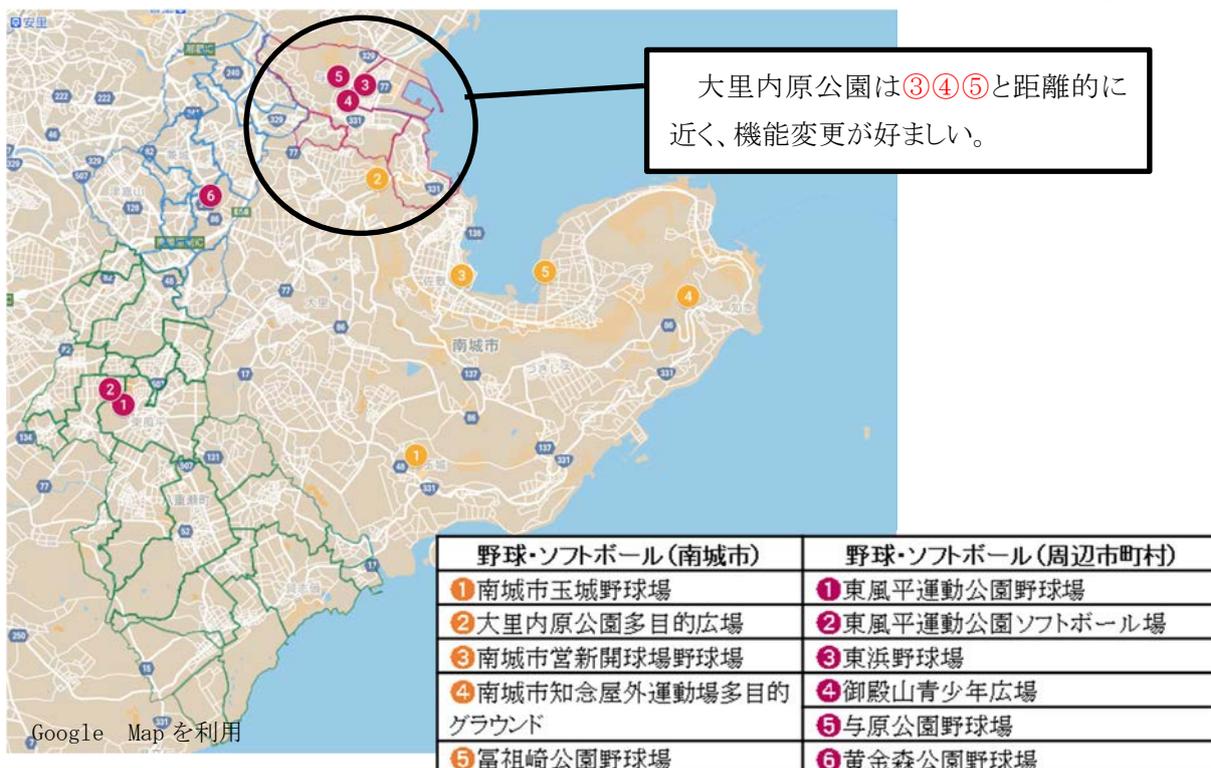
2) テニスコート

テニスコートは隣接する自治体に6か所あり、特に大里内原公園内のテニスコート（利用停止中）は4施設と距離が近いいため、代替としての可能性があります。



3) 野球場（ソフトボール場も含む）

野球場（ソフトボール場も含む）は、隣接する自治体に6か所あり、特に大里内原公園の多目的広場は与那原町の3施設に距離が近いいため、代替機能の可能性があると考えられます。

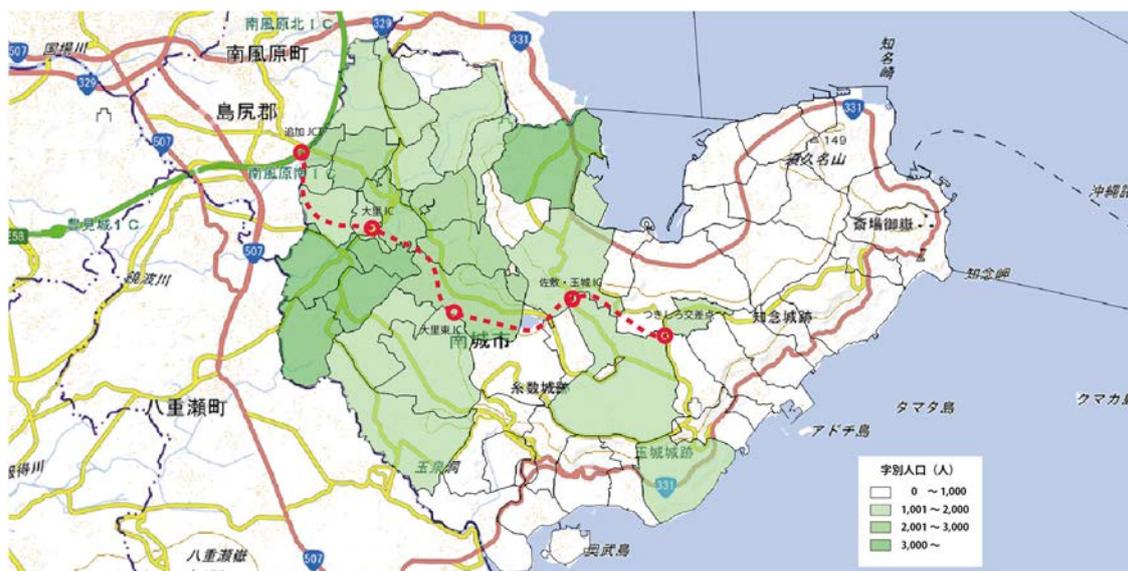


(2) 南部東道路によるアクセス性について

沖縄県が策定した地域高規格道路南部東道路の計画によると、南部東道路は沖縄自動車道からつきしる交差点までの約 7.4km を高規格道路でつなぐ道路整備事業で、工事終了は 2020 年代後半(予定)と記述があり、供用開始後の各体育施設が受ける影響を検討します。

1) 南城市内の人口が多い地区

隣接する自治体の人口集中地区が市の境界近くに存在し、また市内の人口が多い地区も南部東道路に沿って存在するため、この道路整備により市外や市内からのアクセス性が向上する可能性があります。なかでも玉城地区と新開地区は到達時間が圧縮されるため利便性が高まりその点を考慮した再編の検討が必要になります。



国土地理院地図を利用

2) 隣接町村の人口集中地区

平成 27 年の国勢調査を基にした総務省が定義する人口集中地区は南城市内に所在していないものの、隣接する与那原町や南風原町、八重瀬町の中で南城市との市境にある地区が人工集中地区となっています。また、那覇空港自動車道と南部東道路の分岐である追加 JCT は南風原町の人口集中地区から近いいため市外からの利用が増える可能性が考えられます。

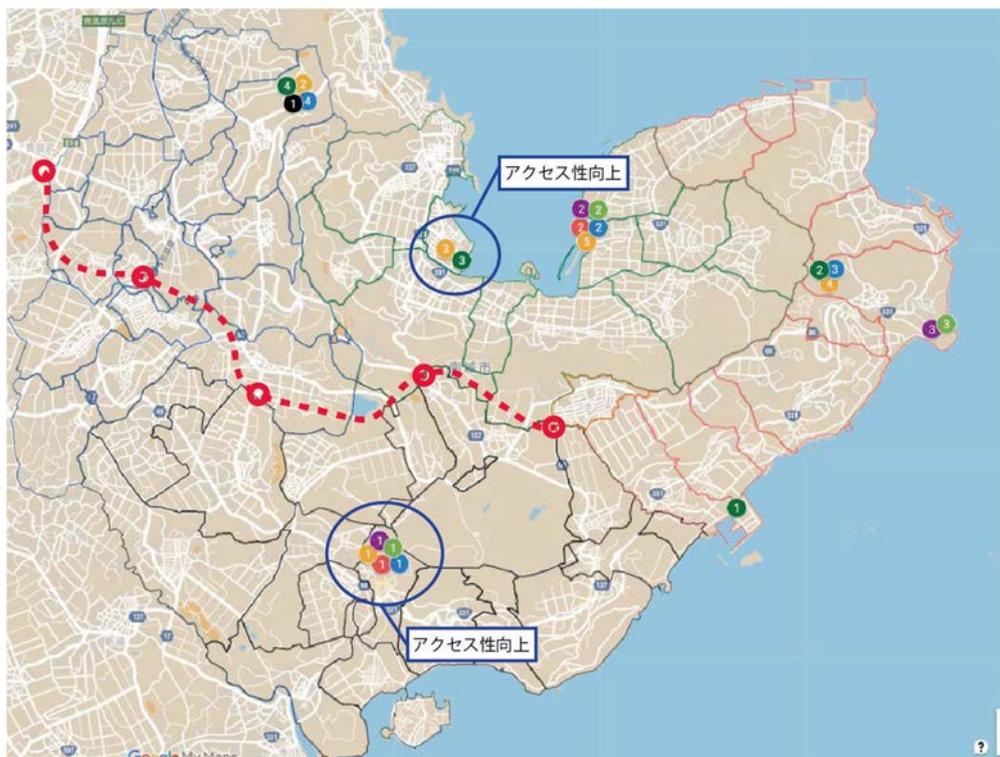


国土地理院地図を利用

3) 佐敷・玉城 IC からのアクセス

市民アンケート調査結果から利用者が広域であることが分かっている南城市陸上競技場は佐敷・玉城 IC の開通により利便性が高まり、今後市外からの利用も増えることが考えられます。

また、南城市営新開球場は利用者ヒアリング時に「予約が取りにくい」という意見がありましたが、佐敷・玉城 IC から約5分とアクセス性が良くなるため市外からの利用が増えることが考えられ今後さらに予約が取りにくくなる可能性があります。

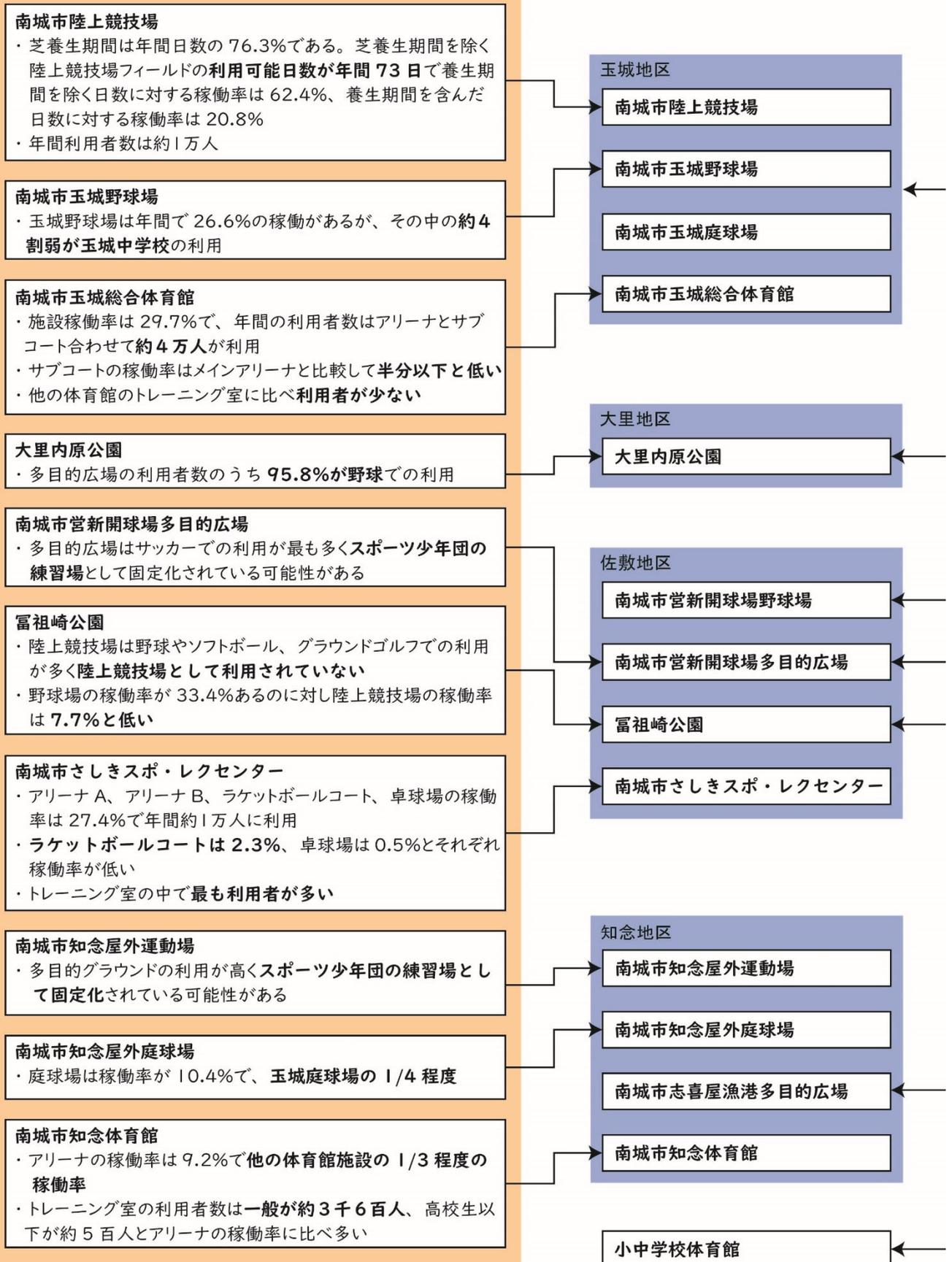


第3章 課題の整理と再編の基本方針

1. 課題の整理

第1章「現状の利用状況の各調査分析結果」から各体育施設の課題をまとめると次のようになります。

体育施設予約利用状況調査



スポーツ推進計画市民アンケート調査

・すべての施設について利用者は**近隣住民**が多いが、南城市玉城総合体育館と南城市陸上競技場だけは、**広域的な利用状況**

・利用する主な理由は「**自宅や勤め先から近いから**」が共通で南城市陸上競技場は「利用したい設備が整っているから」、南城市玉城総合体育館は「所属しているサークル・団体が活動しているから」、南城市さしきスポ・レクセンターと大里内原公園は「**利用料金が安い**」が他の施設よりも多い傾向

公園緑地再整備計画市民アンケート調査

大里内原公園

- ・「**散歩や休憩ができる落ち着いた場**」(71%)
- ・学校部活動等の練習場所として日常的に利用しているため外灯を修理してほしいや、ナイターの照明費用が安ければ利用したいという意見がある(自由意見)
- ・イベントができるスペースが欲しいという意見もあり、市民の憩いの場としての機能について検討する必要がある(自由意見)
- ・バスケットボールやテニス等屋外で行うスポーツ設備や子ども向けの遊具を充実させてほしいという意見がある(自由意見)

公園共通

- ・大里内原公園、富祖崎公園ともにその施設が所在している**地域の住民利用が90%**
- ・両公園とも「満足」「ほぼ満足」と回答した人の割合が**大里内原公園で約25%、富祖崎公園で6%**と少ない
- ・両公園ともに「散歩や休憩ができる落ち着いた場」「子どもたちの遊び場」を求める人の割合が最も多い

富祖崎公園

- ・「**地域の交流の場**」(45%)、「**球技などができる運動の場**」(31%)
- ・外灯がなく暗いという意見が多い(自由意見)
- ・子どもたちが遊ぶ遊具や健康遊具がないため**体力づくりやトレーニング**ができないという意見がある(自由意見)
- ・テニスコートを利用したいが整備されておらず**利用できない**という意見が多い(自由意見)

スポーツ推進計画体育施設利用者ヒアリング調査

・野球の成人利用は練習試合が多い傾向で**南城市営新開球場野球場の希望者が多い**

・サッカーの大会は陸上競技場で実施し、練習は**南城市営新開球場多目的広場と南城市志喜屋漁港多目的広場**が多い

・中高生の部活のバレー、バスケットボールは**学校の体育館の利用と市内施設を併用**している様子である

・成人の室内競技(バスケットボールなど)は**ほぼ自宅に近い小中学校の体育館**を利用している

体育施設利用者アンケート調査

・最も利用している施設の利用理由として「**参加者の自宅や勤め先が近いから**」「**所属している団体が以前から活動していたから**」が約6割

・小中学校の体育館は「**自宅や勤務先に近い**」7団体、「**利用料が安い**」5団体、「**以前から利用**」5団体の3つに分類
 ・バスケットボール、バドミントン、フットサルは**小中学校を12団体、南城市玉城総合体育館を5団体**が利用しており、それぞれ代替施設として機能

2. 再編のための基本方針

今回の再編計画策定にあたりマーケティングの考え方を取り入れた基本方針とします。

一般的にマーケティングとは、「売れる仕組みを作ること」が目的といわれています。これを体育施設に置き換えると、利用者が増加しその満足度があがることであり、施設を提供する行政側も一部の整備費や維持管理費に見合う市民からの評価が得られることと考えます。そのため、本計画の基本となる点は体育施設にマーケティングの考えを当てはめることと位置づけます。

(1) 本市全体のスポーツ種目バランス

本市の体育施設は旧町村時代に整備された施設であり、機能的に重複する施設もあります。また、各スポーツ種目別人口は時代により変化することから現在や将来を見越した種目のバランスを考慮する必要があります。そのため、全国の種目別スポーツ人口や沖縄県の実施した運動・スポーツ種目に関する調査、さらに本市の小中学生の運動・スポーツ参加人数等を参考に本市全体の運動スポーツ種目のバランスを図ることが重要です。

(2) 稼働状況や利用者規模等からの機能

各施設の予約状況により稼働率や各種目別等の想定人数から算出した施設の利用者規模、チケット販売数による利用者規模を比較します。稼働率や利用者規模の低い施設について、その機能上、施設計画上、運営上等の課題を分析し改善点を見出します。

(3) 各施設周辺の人口規模や将来の人口構造による需要規模

体育施設の利用は、スポーツ推進計画や公園・緑地再整備計画の市民アンケート調査、体育施設利用者アンケート調査等から体育施設周辺の人口規模に大きく影響を受けることが判明しています。そのため、各体育施設や公園内体育施設周辺の現状および将来の人口規模と人口構成の推計値をもとに、その地区に適した種目等を選定します。

(4) 各施設の代替施設について

前述の調査では、「自宅や職場に近いので」「所属している団体がずっと利用しているの」というような選択肢の回答が多いことや体育施設の予約状況等から、現状の各施設の利用者は固定化の傾向がみられます。本検討作業により現在利用している施設以外の小中学校体育館や隣接町村にある体育施設、さらに公民館や一部民間施設などを代替として利用する可能性についても調査しそれを含めた再編案とします。

(5) 公園の中にある体育施設について

検討対象の体育施設の一部は公園内に存在しています。利用者側の視点では一体の施設としてとらえその利用方法や目的も公園全体のあり方に大きく影響を受けることが考えられます。そのため、当調査の目的は体育施設の再編ですが、公園内にある体育施設については利用者側の視点に立ち、体育施設以外の交流、保養、レクリエーション機能等についても参考として記述します。

第4章 再編の方向と段階的な実施

1. 再編の方向

前述の課題と基本方針から各体育施設の「機能再編の方向」と「施設計画・運営の改善」について、以下のように方向性を決めました。

また、再編のための機能変更や施設計画・運営の改善に係る概算の費用について算出し、それぞれの施設再編を3段階に分けて実施することを想定しました。

ただし、この数値は、類似工事の費用や関連調査、参考見積等の参考となる数値と面積によって算出した参考値であり、より具体的な数値については、施設の配置や仕様等詳細な検討作業を必要とします。また、2つの都市公園内の体育施設は、機能変更等に関連する費用のみの算出で、その他公園機能に関する費用は含まれていません。

(1) 玉城地区

1) 現状と課題

①南城市陸上競技場

本施設は年間の利用者数は約1万人と比較的多いのですが、芝養生期間が年間日数の76.3%となり、芝養生期間を除く日数に対する稼働率は62.4%、養生期間を含んだ日数に対する稼働率は20.8%と少なくなります。

②南城市玉城野球場

本施設は年間26.6%の稼働率となっていますが、玉城中学校に隣接していることから、稼働率の約4割弱が玉城中学校の利用となっています。

③南城市玉城総合体育館

施設全体の稼働率は29.7%であり、アリーナとサブコートの年間の利用者数は約4万人となっています。しかし、サブコートは実施できる種目に限りがあること等から稼働率は低くアリーナの半分以下となっています。また、本施設のトレーニング室は他の施設のトレーニング室に比べて利用者が少ない状況です。

2) 機能再編等の方向性

①南城市陸上競技場

陸上競技のうち投擲種目等とうてきの一部種目では練習場所が限られており、それらの種目が実施できる点や本施設での取り組みの成果等が見受けられるため、芝養生期間を含めて陸上施設の稼働期間の確保等が必要です。(運営)

②南城市玉城野球場

野球の練習試合等における需要があることから、管理を一本化し、平日の夜間や休日は一般利用にするなど、利用枠の規則化等の検討が必要です。(運営)

③南城市玉城総合体育館

稼働率の低いサブコートについては、限られたスペースでの実施が可能で、かつ参加人口の多い卓球やダンス等に対応する等の工夫が必要です。(施設)

利用者の少ないトレーニング室は、稼働率を向上させるため民間事業者の参加など運営方法の改善が必要です。(運営)

④南城市玉城庭球場

本施設は改善すべき課題が上がらず、さらに高い稼働率で多くの市民に利用されていることから、現状維持とします。

3) 再編に係る費用規模

施設名		段階的な機能変更・整備等概算費用(千円)			合計 (千円)
		第1段階	第2段階	第3段階	
南城市陸上競技場	屋外				
南城市玉城野球場	屋外				
南城市玉城庭球場	屋外				
南城市玉城総合体育館【内訳:スポーツミラー、卓球台購入】	屋内	1,166			
合計		1,166			1,166

(2) 大里地区

1) 現状と課題

①大里内原公園

現在、多目的広場は95.8%が野球で利用されています。学校の部活動やスポーツ少年団の練習場所として日常的に利用されており、「外灯を修理してほしい」「費用が安ければ利用したい」等照明に関する意見があります。また、「バスケットボールやテニス等屋外で行うスポーツ設備や子供向けの遊具を充実させてほしい」という意見もあります。

本公園の利用者の71%が期待する公園の役割として「散歩や休憩ができる落ち着いた場」と回答しました。その他に「イベントができるスペースが欲しい」という意見もあり、スポーツを行う機能のみならず市民の憩いの場としての機能について検討が必要です。

2) 機能再編等の方向性

①大里内原公園

公園全体

現在、市内においては周辺人口が多く、さらに将来は年少人口と高齢人口の増加が予想されることから、参加人口の多いウォーキング・ジョギングの需要が考えられます。そのため、ウォーキングコース改修等の検討が必要です。(施設)

多目的広場

種目を考慮した市全体の施設のバランスより、サッカーをメインとした野球やイベント等も可能な多目的広場とすること等が考えられます。(機能)

市内においての周辺人口が多いことや隣接に人口集中地区もあることから、夜間の利用も考えられるため、現状の設備に照明設備の追加設置等も検討する必要があります。(施設)

ゲートボール場

周辺人口としてファミリー層が多く子どもの遊び場としてのニーズが高いため、子どもたちが遊べる広場に変更する等の検討が必要です。(機能)

そのため、家族で参加できるアウトドア等のイベントを想定し、炊事機能やシャワー機能等の整備についても検討する必要があります。(施設)

庭球場(利用停止中)

各運動施設の近くに駐車場がないことから駐車場機能に変更すること等についても検討が必要です。(機能)

3) 再編に係る費用規模

施設名		段階的な機能変更・整備等概算費用(千円)			合計 (千円)
		第1段階	第2段階	第3段階	
大里内原公園全体【内訳:遊歩道改修】	屋外		57,062		
大里内原公園 多目的広場 【内訳:グラウンド整備、ナイター用照明整備】	屋外		142,604		
大里内原公園 庭球場(利用停止) 【内訳:駐車場整備、駐車場照明設備】	屋外		75,543		
大里内原公園 ゲートボール場 【内訳:多目的広場整備、外灯整備】	屋外		54,625		
合計			329,834		329,834

※着色は都市公園事業の一部を示す

(3) 佐敷地区

1) 現状と課題

①南城市営新開球場野球場

野球の成人利用は練習試合が多く、本施設の利用を希望する団体が多い傾向にあります。

②南城市営新開球場多目的広場

本施設で最も利用されているのはサッカーです。サッカーは本施設と南城市志喜屋漁港多目的広場が通常の練習場として利用されており、本施設はスポーツ少年団の練習場として固定化されている可能性があります。

③富祖崎公園

本施設は野球場の稼働率が 33.4%であるのに対し陸上競技場の稼働率は 7.7%と低い状況にあります。また、陸上競技場の利用目的として野球やソフトボール、グラウンドゴルフが多く、現在は陸上競技場として利用されていません。

利用者アンケートによると、期待する公園の役割として「地域の交流の場」が 45%、「球技などができる運動の場」が 31%となりました。また、「外灯がなく暗い」「子どもたちが遊ぶ遊具や健康遊具がないため体力づくりやトレーニングができない」「テニスコートを利用したいが整備されておらず利用できない」という意見がありました。

④南城市さしきスポ・レクセンター

トレーニング室を除く施設は年間 1 万人が利用しており、その稼働率はアリーナ A が 24.0%、アリーナ B が 30.7%です。一方、ラケットボールコートは 2.3%、卓球場は 0.5%と低い稼働率となっています。

トレーニング室は本市が運営するトレーニング室の中で最も利用者が多い現状です。

2) 機能再編等の方向性

①南城市営新開球場野球場

野球の試合で本施設を希望する団体が多いことから野球場の機能は現状維持とします。(機能)

一方で、現在の周辺人口は 14~24 歳や 40 代の年齢層が多く、今後も年少人口が増加傾向にあることから 3×3 (スリー・エックス・スリー) や、小さな子どものための遊び場等についても周辺に検討することが必要です。(施設)

②南城市営新開球場多目的広場

周辺人口の年齢層や今後増加が見込める年齢層を考慮し、サッカー、野球などが可能な多目的広場としての整備等の検討が必要です。(機能)

③富祖崎公園

公園全体

各運動施設から離れた位置に駐車場が整備されており利便性が低く、利便性が高まるような駐車場等の整備を検討する必要があります。また、ウォーキングコースの改修を行うことにより、市内の競技人口が多いウォーキング・ジョギングに利用されることも考えられます。さらに、周辺地区の年少人口が増加すると予想されていることから子どもたちが遊べる広場等の整備についても検討する必要があります。(施設)

野球場

利用者や周辺住民の意見を参考に利用しやすいグラウンド配置を検討し整備することにより、稼働率の向上が見込まれます。(施設)

陸上競技場

市内全体の施設バランスを考慮するとサッカーの利用が見込まれます。また利用者ニーズからは地域交流の場としてのニーズがあるため、イベントも可能な多目的広場としての機能変更についても検討する必要があります。(機能)

庭球場（利用停止中）

周辺人口の中でも年少人口の増加が予想されていることから、子どもたちが遊べる広場や利便性を高めるために駐車場機能へ変更するなど検討が必要です。(施設)

④南城市さしきスポ・レクセンター

ラケットボールコート稼働率がアリーナ A、アリーナ B に比べ低いことから、トレーニング室やヨガ、ダンス等、多目的な用途に利用できる機能変更等の検討が必要です。(機能)

3) 再編に係る費用規模

施設名		段階的な機能変更・整備等概算費用(千円)			合計 (千円)
		第1段階	第2段階	第3段階	
南城市営新開球場野球場【内訳:グラウンド整備、3×3コート整備、遊び場整備、遊歩道改修】	屋外			167,912	
南城市営新開球場多目的広場【内訳:グラウンド整備】	屋外			107,136	
富祖崎公園全体【内訳:遊歩道改修】	屋外	68,112			
富祖崎公園陸上競技場【内訳:多目的広場整備】	屋外	60,571			
富祖崎公園野球場	屋外				
富祖崎公園庭球場(利用停止)【内訳:遊び場整備、駐車場整備】	屋外	122,954			
南城市さしきスポ・レクセンター	屋内				
合計		251,638		275,048	526,686

※着色は都市公園事業の一部を示す

(4) 知念地区

1) 現状と課題

①南城市知念屋外運動場

多目的グラウンドの稼働率は35.9%と高く、スポーツ少年団の練習場として固定化されている可能性があります。

②南城市知念屋外庭球場

庭球場の稼働率は10.4%で玉城庭球場の1/4程度と低い状況です。

③南城市志喜屋漁港多目的広場

スポーツ少年団等の日々の練習場として利用されることが多い傾向にあります。

④南城市知念体育館

アリーナの稼働率は9.2%で市内の体育施設の中でも最も低く、南城市玉城総合体育館や南城市さしきスポ・レクセンターの1/3程度となっています。一方で、トレーニング室の利用者は一般が約3千6百人、高校生以下が約5百人とアリーナの稼働率と比べると利用者が多い傾向にあります。

2) 機能再編等の方向性

①南城市知念屋外運動場

多目的グラウンドは種目を考慮した市内全体の施設バランスの点からサッカーや野球を中心とした多目的の広場とする等の検討が必要です。(機能)

②南城市知念屋外庭球場

利用者の満足度を上げ稼働率の向上を目指すため、サーフェイスの張替え等を検討する必要があります。(施設)

③南城市志喜屋漁港多目的広場

現在施設内に日陰がないことから、あずまややテントの設置など日陰をつくるための設備の整備等を検討することが必要です。(施設)

④南城市知念体育館

本施設は稼働率が低く、現状の周辺人口規模からも改善の可能性は低いことが考えられます。また、施設は老朽化しており、さらに進行すると危険性を伴う可能性もあるため、体育施設としての機能廃止の方向とします。そのため、利用者の多いトレーニング室の機能をさしきスポ・レクセンター等へ移転する等代替案を検討する必要があります。(機能)

3) 再編に係る費用規模

施設名		段階的な機能変更・整備等概算費用(千円)			合計 (千円)
		第1段階	第2段階	第3段階	
南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド 【内訳:グラウンド整備】	屋外		132,087		
南城市知念屋外運動場 庭球場【内訳:サーフェイス張替え】	屋外			32,313	
南城市志喜屋漁港多目的広場【内訳:広場整備、あずまや整備】	屋外	37,388			
南城市知念体育館【内訳:撤去費】	屋内		147,185		
合計		37,388	279,272	32,313	348,974

(5) 全体

上記を踏まえ、市全体の段階別な機能変更・整備に関わる概算費用について本計画では以下を想定します。

	段階的な機能変更・整備等概算費用(千円)			合計 (千円)
	第1段階	第2段階	第3段階	
累計	290,192	609,106	307,362	1,206,660

2. 機能の整理

前述の再編をもとに本市全体の体育施設の機能を整理すると以下のようになります。

■現状の体育施設機能



施設名	スポーツ機能(主として利用)										その他の機能 交流・保養・レク リエーション
	野球	サッカー	陸上	テニス	ジョギング・ ウォーキング	バスケット ボール	ハレー ボール	バドミントン	卓球	その他	
南城市陸上競技場		○	○							○	
南城市陸上競技場トレーニング室											
南城市玉城野球場	○										
南城市玉城庭球場				○							
南城市玉城総合体育館						○	○	○		○	
南城市玉城総合体育館トレーニング室											
大里内原公園全体					○						○
大里内原公園 多目的広場	○										
大里内原公園 庭球場(利用停止)											
大里内原公園 ゲートボール場										○	
南城市宮新開球場 野球場	○				○						
南城市宮新開球場 多目的広場	○	○									
富祖崎公園全体					○						
富祖崎公園 陸上競技場	○									○	○
富祖崎公園 野球場	○										
富祖崎公園 庭球場(利用停止)											
南城市さしきスポ・レクセンター						○	○	○	○	○	
南城市さしきスポ・レクセンタートレーニング室											
南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド	○										
南城市知念屋外運動場 庭球場				○							
南城市志喜屋漁港多目的広場		○								○	
南城市知念体育館 アリーナ						○	○	○		○	
南城市知念体育館 トレーニング室											
各スポーツ機能数	7	3	1	2	3	3	3	3	3	1	7

■再編後の体育施設機能



施設名	スポーツ機能(主として利用)										その他の機能 交流・保養・レクリエーション
	野球	サッカー	陸上	テニス	ジョギング・ウォーキング	バスケットホール	ハレーホール	バドミントン	卓球	その他	
南城市陸上競技場		○	◎								○
南城市陸上競技場 トレーニング室											
南城市玉城野球場	○										
南城市玉城庭球場				○							
南城市玉城総合体育館						○	○	○	◎	◎サブアリーナをダンス・卓球等の利用拡大	
南城市玉城総合体育館 トレーニング室											
大里内原公園全体					◎ ユース改修						◎
大里内原公園 多目的広場	○	◎									◎
大里内原公園 庭球場(利用停止)											
大里内原公園 ゲートボール場											◎
南城市営新開球場 野球場	○				◎ ユース改修						
南城市営新開球場 多目的広場	○	○									
富祖崎公園全体					◎ ユース改修						◎
富祖崎公園 陸上競技場		◎								○	◎
富祖崎公園 野球場	○										
富祖崎公園 庭球場(利用停止)											◎
南城市さしきスポ・レクセンター						○	○	○	○	◎ラケットボールコートトレーニング室、ヨガ、ダンス等に利用	
南城市さしきスポ・レクセンター トレーニング室											
南城市知念屋外運動場 多目的グラウンド	○	◎									
南城市知念屋外運動場 庭球場				○							
南城市志喜屋漁港多目的広場		○								○	
南城市知念体育館 アリーナ											閉鎖
南城市知念体育館 トレーニング室											閉鎖に伴い移転
現状のスポーツ機能数	6	3	1	2	0	2	2	2	1	3	0
追加されるスポーツ機能数	0	3	0	0	3	0	0	0	1	2	6
合計の機能数	6	6	1	2	3	2	2	2	2	5	6

屋内施設を示す

◎: 新たに加わる機能・強化される機能を示す

3. 段階的な再編の実施

体育施設等の再編の進め方については、市民の利用に対して種目や地域に偏りがないよう配慮するとともに、小中学校の体育施設や地域が管理する施設等で機能を維持する必要があります。そのため、段階的な再編を実施するためには次の各点について整理し適正な方法を考える必要があります。

1) 施設の老朽化の程度

機能変更の対象体育施設については、その老朽化の程度も考慮する必要があります。下表のように平成 28 年度の「南城市公共施設等総合管理計画」で調査された建築年度、その他令和 2 年度に実施した個別施設計画の調査結果等を考慮し再編の実施に反映します。

施設名称	地区	運営方法	施設類型 (小分類)	所属課	建築年度	建物棟数	総延床面積 (㎡)	主要建物老朽化度	平均収支 (円/年)	1㎡あたり 平均収支 (円/年)
玉城総合体育館	玉城	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	S58	1	3,600.00	68.1%	△ 12,164,079	△ 3,379
知念体育館	知念	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	S57	1	2,033.00	70.2%	△ 6,757,961	△ 3,324
さしきスポ・レクセンター	佐敷	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	H10	1	1,265.00	36.2%	△ 841,876	△ 666
南城市陸上競技場	玉城	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	H22	1	865.00	10.0%	△ 14,846,321	△ 17,163
玉城野球場	玉城	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	S55	0	0.00	0.0%	△ 1,483,171	0
知念屋外運動場	知念	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	H15	1	126.00	24.0%	△ 1,682,171	△ 13,351
志喜屋漁港多目的施設	知念	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	H9	1	57.00	38.3%	△ 1,602,204	△ 28,109
富祖崎公園	佐敷	直営	スポーツ・レクリエーション施設	都市建設課	S56～S63	6	226.34	68.0%	△ 1,687,071	△ 7,454
新開球場	佐敷	直営	スポーツ・レクリエーション施設	生涯学習課	S61	2	541.00	58.0%	△ 1,552,204	△ 2,869
大里内原公園	大里	直営	スポーツ・レクリエーション施設	都市建設課	H3	2	192.00	48.0%	△ 1,530,904	△ 7,973

出典：南城市公共施設等総合管理計画（平成 28 年度）

2) 代替機能の施設

主要な競技種目について同じ種目が実施できる体育施設を同時に機能変更や施設計画の変更を行うとその施設の変更新間はその種目の活動が制限されることとなります。そのため、代替施設を考慮した再編の実施方法を検討します。

3) 定期的な大会やイベント

南城市陸上競技場で行われるプロサッカーチームの合宿や少年サッカーの大会、また市内の多くの体育施設を使って開催されるスポーツ大会やスポーツ少年団、中学校の大会等は地域のスポーツ推進の点において重要な取り組みです。それらの運営に影響が少ないように段階的な再編の実施時期を考慮します。

4) 地域間のバランス

体育施設等の再編の背景は、機能が重複する体育施設の維持管理費の負担であり、再編の過程で地域間の利便性に著しい差が出ると市民の合意形成に至らない可能性があります。そのような差を極力少なくするような実施方法を検討します。

5) 2つの都市公園の施設

再編の対象となっている体育施設等には2つの都市公園内の施設が含まれています。それらの

公園は再整備の対象となっており、事業としては概ね5年以内と想定されています。この2か所の都市公園の再整備は市内体育施設全体の再編に大きな影響を及ぼすため、仮に2つの都市公園の再整備時期が変更されるような場合は、再編の段階的な実施も検討します。

6) 機能、施設配置計画等、運営改善の必要な期間

本調査における主要な検討課題は、各体育施設の再編に関する機能の検討ですが、同時に施設の配置や設備、運営に関しても検討し改善の方向性を提示しています。それらの改善に必要な期間について概略を把握し段階的な再編の実施に反映させます。



第5章 今後の進め方について

1. 今後の進め方について

本計画は、利用者の利用実態やニーズ、施設周辺人口等の将来の可能性から、本市全体の体育施設の機能再編を検討したものであり、1つの方向性を示したものです。今後再編をさらに具体化するためには次の点を検討することが必要です。

(1) 市民の合意形成

体育施設は市民の身近な施設であり、特に利用している市民にとっては、その施設の機能変更により不便さを感じ、受け入れられない場合も十分予想されます。それを回避するためには、市民に対して、機能変更の必要性とその内容、また機能変更によるメリット・デメリット等を詳細に説明する必要があり、今後その合意形成のための具体的な方法について検討します。

(2) 民間企業や関連産業の参加

今後、民間活力を利用するパーク PFI など PPP がさらに一般的になると思われます。その可能性を検討するため、民間企業や関連産業などと意見交換の場を設けることを検討します。

(3) 広域避難場所としての機能

対象の体育施設は広域避難場所としての機能も兼ねている施設も存在します。そのため、再編全体及びその段階的な再編の実施過程において、担当課と確認しその機能が失われないように、また失われる可能性がある場合は代替の機能について確認します。

(4) 関連計画等との整合性

個別施設については関連調査や計画が並行して進められ、個別施設計画では老朽化等を踏まえた各施設の今後の活用方法等について検討しています。また、2つの都市公園については市内の公園・緑地再整備計画も進められており、これらの関連計画との整合性を図ります。さらに、南城市陸上競技場周辺や南城市営新開球場周辺の体育施設については、将来的に一団の都市公園としての整備の可能性もあり、その流れとの調整も検討します。

(5) 周辺施設との連携

本計画の対象は市内の体育施設個々の機能再編ではありますが、周辺施設等と連携することでより利用率を高める場合や魅力ある機能となる場合もあります。例えば富祖崎公園のウォーキングコースは海沿いの護岸を通じ南城市営新開球場まで繋ぐことや、大里内原公園と大里城址公園間の遊歩道等を通じた連携が考えられ、今後対象施設以外との連携も視野に入れた検討を行います。

(6) 庁内の体制の構築

本計画で対象としている体育施設の管理は複数の担当課にわたり、またその機能は様々な施策に関連しています。そのため、今後この再編の課題を具体化するために、情報を共有し、必要に応じて様々な視点から議論を重ね、決定するため庁内体制の構築を行います。

(7) 管理体制の検討

本市の体育施設を始めとする運動やスポーツが可能な施設は、複数の課が管理しており市民には複雑でわかりにくい点もあります。そのため、運営に配慮しワンストップの窓口を設置するなど管理体制について検討します。

資 料 編

1. 計画策定の体制と経過
2. 南城市体育施設等再編基本計画諮問書・答申書

資料編

1. 計画策定の体制と経過

(1) スポーツ推進審議会名簿

氏名	団体名	備考
當山 全章	南城市体育協会 会長	会長
親川 英彦	スポーツ推進委員協議会 会長	
大湾 政芳	スポーツ少年団 本部長	副会長
竹下 晴康	南城市教育委員会 指導主事	
金城 道年	総合型地域スポーツクラブ	
永吉 盛哲	南城市役所市民部長	
城間 みゆき	南城市役所福祉部長	
糸数 義人	南城市役所企画部長	
玉城 勉	南城市土木建築部 部長	
宮城 正	南城市社会福祉協議会 事務局長	
座間味 洋貴	沖縄県スポーツ協会	

(2) 部会名簿

氏名	所属・職名
知念 俊樹	都市建設課
比嘉 貴大	健康増進課
生盛 にらい	生きがい推進課
普天間 秀人	子育て支援課
玉寄 兼明	教育指導課 指導主事
仲村 悟	政策調整室
宮城 要	観光商工課
仲村 孝士	企画課
大城 洋介	まちづくり推進課
池村 剛	財政課
眞志喜 朝太	総務課
宮城 響	施設整備課
比嘉 昌代	社会福祉協議会
當山 拓哉	南城市体育協会

(3) 策定経過

年	月 日	内 容 等
令和2年	11月24日	教育長から諮問
	12月10日 ～1月4日	体育施設利用者アンケート調査実施
	12月14日	第1回南城市体育施設等再編基本計画策定検討部会 議事 ・ 体育施設再編の調査結果と方向性について
令和3年	1月20日	第2回南城市体育施設等再編基本計画策定検討部会 議事 ・ 調査の目的・枠組みについて ・ 機能再編の方向について
	1月28日	第3回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・ 調査の目的・枠組みについて ・ 機能再編の方向について
	2月10日	第3回南城市体育施設等再編基本計画策定検討部会 議事 ・ 南城市体育施設等再編基本計画について
	2月17日	第4回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・ 南城市体育施設等再編基本計画について
	2月26日 ～3月16日	パブリックコメントの実施
	3月18日	第4回南城市体育施設等再編基本計画策定検討部会 議事 ・ パブリックコメントに対する対応と基本計画の修正について
	3月23日	第5回南城市スポーツ推進審議会 議事 ・ パブリックコメントに対する対応と基本計画の修正について
	3月29日	教育長へ答申

2. 南城市体育施設等再編基本計画諮問書・答申書

(1) 諮問書

南教生第690号
令和2年11月24日

南城市スポーツ推進審議会
会長 當山全章 殿

南城市教育委員会
教育長 上原 廣子

南城市体育施設等再編基本計画の策定について（諮問）

南城市体育施設等再編基本計画の策定について、南城市スポーツ推進審議会規則（平成18年南城市教育委員会規則第38号）第2条の規定により諮問いたします。

諮問事項

南城市体育施設等再編基本計画の策定について

諮問理由

第2次南城市総合計画の基本方針5（まちが整う）、基本施策2（公共施設の整備、施策1・公共施設と公園の整備）及び南城市公共施設等総合管理計画（公共施設の管理に関する基本方針）等に基づき、市内に点在する類似施設（体育施設等）について現状や今後の展望を踏まえ、機能及び配置等の再編方針を示す必要があるため。

(2) 答申書

南教生第1067号
令和3年3月29日

南城市教育委員会
教育長 上原 廣子 殿

南城市スポーツ推進審議会
会長 當山 全章

南城市体育施設等再編基本計画の策定について（答申）

令和2年11月24日付南教生第690号にて本審議会に諮問のありました「南城市体育施設等再編基本計画の策定」について、別紙のとおり答申いたします。

